

HIROSHIMA
SHUDO
UNIVERSITY

入学試験要項2026



広島修道大学

入試情報サイト

受験生は
必ずチェック!



入試情報サイトでは、受験生の皆さんに必要な情報をタイムリーに更新しています。
入試情報、イベント情報、重要なお知らせなどを公開しますので、随時ご確認ください。



出願も入試情報サイトから

インターネット出願は入試情報サイトからのログインが必要です。
出願方法、出願書類、入試Q&Aなど、出願期間が始まる前から時間に余裕をもって確認しましょう。



WEB入試対策コンテンツ

総合型選抜と学校推薦型選抜(公募)の入試対策資料や出願書類の見本も掲載。
一般選抜前の「WEB入試直前対策講座」も要チェック!



PICK UP CONTENTS

SHUDO×授業紹介動画

修大の学生リポーターが、各学科の学びやプロジェクトを紹介します。
修大ならではの学びのワクワクをお届けします!



動画の視聴はこちら



広島修道大学 授業紹介動画

検索

<https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>



こちらから
チェック!



CONTENTS

Part 1 入試制度

● イベント情報	03
● 募集人員	07
● アドミッション・ポリシー	08
● 入学試験制度と評価	15
● 入学試験スケジュール	31
● 各種入試制度	33
○ 一般選抜(前期日程)	33
○ 共通テスト利用選抜(前期日程)	45
○ 一般選抜(後期日程)	49
○ 共通テスト利用選抜(後期日程)	53
○ 総合型選抜	57
○ 学校推薦型選抜(公募・併願)	77
○ 学校推薦型選抜(公募・専願)	79
○ 特別選抜	95
・帰国生選抜	
・社会人選抜	
・外国人留学生選抜	

Part 2 出願ガイド

● 入学検定料割引制度	102
● インターネット出願の流れ	103
● 入学検定料のお支払い	105
● 書類の印刷・郵送	106
● インターネット出願Q&A	108

Part 3 共通事項

● 受験上の注意	109
● インターネット合否照会について	110
● 入学手続について	110
● 諸納付金について(2026年度)	111
● 奨学金制度	112
● 合格への道	113
● DATA 2025	120
● アクセス	130

■個人情報の取り扱いについて

出願・入学手続における登録情報および出願書類に記載されている、氏名・性別・生年月日・住所・写真・その他の個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」ならびに学校法人修道学園が定める「学校法人修道学園個人情報の保護に関する規程」および「個人情報の保護に関する方針」にもとづき、取得した個人情報の漏洩、流出、不正利用等がないよう必要かつ適正な管理を行い、入学試験の実施、入学手続、入学予定者に対して行う各種事業、入学者に対する入学後の教育指導および、これらに付随する業務のために使用するほか、個人が特定できない形に処理した上で、入学試験制度に関する各種統計処理等のために利用します。

また、上記業務の一部を外部業者等に委託し、個人データを提供する場合があります。その場合、本学が委託先に対し、契約等により必要な事項等を定めることで、当該個人データの安全管理が図られるよう必要かつ適切な監督を行います。

なお、本学の個人情報保護への取り組みについては、下記の2次元コードからご確認ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/privacy.html>



**この入学試験要項の記載事項は変更となる場合があります。
入学試験にかかわる最新情報は入試情報サイトで確認してください。**

[受験生・保護者対象入試説明会]、 [オープンキャンパス]

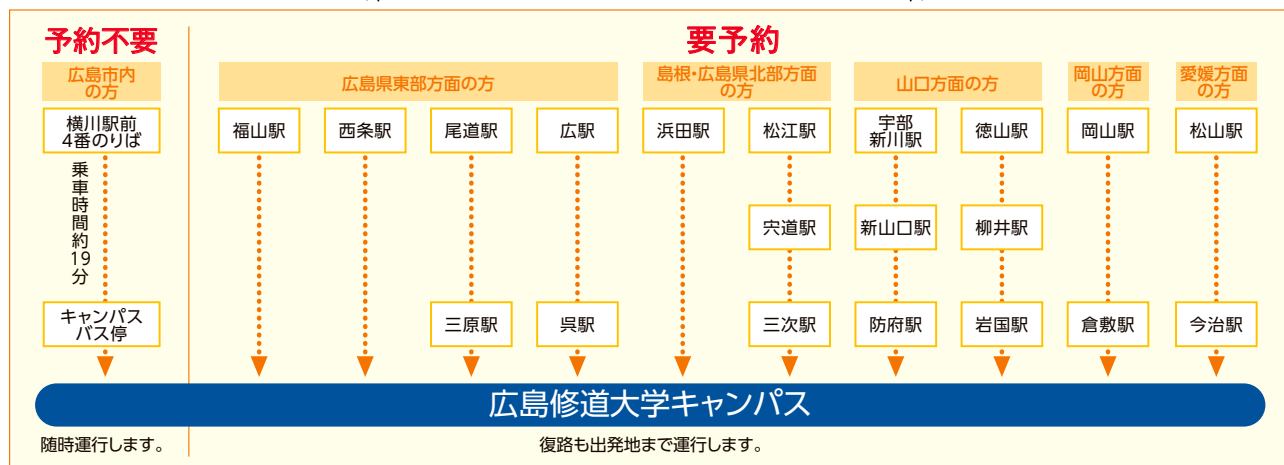
2025年度は本学キャンパスにて全4回の「入試説明会・オープンキャンパス」を開催いたします。
実際にキャンパスにお越しいただき、修大の雰囲気を感じ取っていただけるイベントです。ぜひご参加ください！



- 10:00～15:30(全4回共通) ●駐車場有 ●無料送迎バス運行(JR横川駅発着便・広島市外・県外発着便)
- 来場登録制(当日登録も可能。事前に登録のうえお越しいただくと、スムーズに入場できます。)



全日程で無料送迎バスを運行します



プログラム

学部学科プログラム

13学科の教員が入試対策・学部学科説明・模擬講義・体験プログラムを実施します。気になる学部学科のプログラムにはぜひ参加しましょう。

キャンパスツアー

最新式の調理設備を備えた9号館や日本図書館協会建築賞を受賞した図書館など学生スタッフがご案内します。

予備校講師による入試問題分析

一般選抜の受験を考えている方におすすめ！入試問題(国語・英語)の傾向と対策のコツについて、大手予備校講師が解説します。(7/19・7/20・8/24実施予定)

留学生と話そう！

留学生と交流できるコーナーです。留学・国際交流に興味がある方はお越しください！(7/19・7/20実施予定)

各種相談コーナー

教員に直接相談できる学部別相談コーナーをはじめ、在学生相談コーナー、就職相談コーナー、住まい・奨学金相談コーナー等でもスタッフがお待ちしております。

入試説明・大学概要説明

2026年度入試の概要と修大の学び、課外活動、就職支援などについて入学課員がご説明します。

※イベントの日程・時間・内容等は変更になる場合があります。最新の情報は入試情報サイトでご確認ください。

※日程・時間・開催の有無等は変更になる場合もありますので、本学入試情報サイトで確認のうえ、参加してください。

WEB入試直前対策講座

毎年好評のイベントを今年度もWEBで実施します。予備校講師による「本学一般選抜・共通テスト対策講座」をはじめ、一般選抜(前期)の対策・準備に役立つコンテンツを公開しますので、ぜひエントリーしてご参加ください。

イベント日程

12月1日(月)～ エントリー受付開始

12月8日(月)～ 特設ページ公開

コンテンツ

- 予備校講師による本学一般選抜・共通テスト対策講座動画
- 動画でわかる一般選抜(前期) など

参加者プレゼント

オープンキャンパスや入試相談会など、イベントへの参加者には

- ・ 修大過去問題集(赤本)
- ・ 修大オリジナルグッズをプレゼント!



※グッズは写真と異なる場合があります。
※プレゼント内容はイベントにより異なります。

入試相談会

入試相談会では、本学の職員が学びや学生生活、入試について丁寧にご説明します。お気軽にご相談ください。

中国地区

場所	日付	会場	時間
岡山	4月16日(水)	ジップアリーナ岡山 メインアリーナ	13:30～17:00
呉	4月30日(水)	呉阪急ホテル 4F 皇城の間	15:30～18:00
岡山	5月8日(木)	岡山コンベンションセンター	15:30～19:00
広島西	5月12日(月)	広島サンプラザ	16:00～18:30
広島	5月14日(水)	広島産業会館 西展示館	14:00～18:00
呉	5月21日(水)	ビュー・ポートくれ(呉海員会館)	16:00～18:30
福山	6月3日(火)	福山ニューキャッスルホテル	15:30～18:00
広島	6月4日(水)	基町クレド	15:30～18:30
岡山	6月11日(水)	コンベックス岡山	13:00～18:00
広島	6月11日(水)	広島産業会館	15:30～18:30
広島	6月14日(土)	NTTクレドホール	12:30～16:30
岩国	6月16日(月)	シンフォニア岩国	16:00～18:30
広島	6月17日(火)	NTTクレドホール	15:30～18:30
山口	6月18日(水)	山口市民会館	16:00～18:30
広島	7月10日(木)	広島産業会館	10:00～16:00
広島	7月21日(月・祝)	広島産業会館 西展示館	12:30～17:00
広島	9月17日(水)	基町クレド	15:30～18:30
広島	9月27日(土)	広島産業会館 西展示館	10:00～16:30
松江	10月24日(金)	松江テルサ	16:00～18:30
広島	11月5日(水)	広島産業会館 東展示館	15:30～18:00
岡山	11月6日(木)	岡山コンベンションセンター	15:00～18:30

四国地区

場所	日付	会場	時間
松山	6月4日(水)	アイテムえひめ	13:00～17:30
松山	6月8日(日)	TKP松山市駅前 カンファレンスセンター メイン会場5階ホール5A	12:00～17:00
高松	6月18日(水)	レクザムホール(香川県民ホール)	13:00～18:30

九州地区

場所	日付	会場	時間
福岡	9月18日(木)	ソラリア西鉄ホテル	15:00～18:30

LINE公式アカウント

各イベント情報、学部学科の学び、修大生の声など、
タイムリーな情報を配信しています。
大事なお知らせを見逃さないためにも、ぜひ登録してください。



登録は
こちらから!

2026年度 入試のポイント

学校推薦型選抜(公募・併願)の実施について

学校推薦型選抜(公募・併願)を実施します。

広島修道大学は「学校推薦型選抜(公募・併願)」を実施します。
年内に本学の合格発表があるため、
国公立大学等の他大学にチャレンジする受験生の方にもおすすめの入試制度です。

ポイント

他大学との併願が可能！

全学部・学科で他大学との併願が可能です。
例えば国公立大学等の他大学の合格発表を確認した後で、
本学への入学を決めることができます。

全学部・学科
対応

例	本学と併願して 他大学を受験する方	2025年 11月	12月	2026年 1月	2月	3月
		出願	試験	合格発表	一括手続または 第1次入学手続期間 12/8~12/17	他大学の合格発表後に 入学手続が可能！※1 第2次入学手続期間 2/24~3/10
学校推薦型選抜 (公募・併願)	広島修道大学					
一般選抜 (前期日程等) ※2	国公立大学			共通テスト	出願	試験
						合格発表
						入学手続期間
	私立大学			出願	試験	合格発表
						入学手続期間

※1 第1次入学手続を完了していないと、第2次入学手続はできませんので注意してください。

※2 他大学の入試スケジュールはあくまで参考です。

ポイント

試験科目は英語・国語の2科目！

試験科目は全学部・学科共通の問題を使用します。また、解答はすべてマークシート方式で実施します。

詳しくはP77～「学校推薦型選抜(公募・併願)」のページでチェック！

2026年度 入試の主な変更点

(1) 総合型選抜(国際コミュニティ学部) 指定資格方式の実施について(詳しくはP74参照)

国際コミュニティ学部の総合型選抜において、「指定資格方式」を新たに追加し、「課題図書方式」と「指定資格方式」の2方式で実施します。

[指定資格方式 試験内容]

試験内容等		時間	配点
資格	—	—	100点
出願書類	志望理由書、自己アピール書	—	10点
面接(個別)	*出願書類にもとづき行います。	10:00～	90点

(2) 学校推薦型選抜(公募・専願)(国際コミュニティ学部) 課題提出方式の実施について(詳しくはP91～92参照)

国際コミュニティ学部の学校推薦型選抜(公募・専願)において、「課題提出方式」を新たに追加し、「英語方式」「指定資格方式」「課題提出方式」の3方式で実施します。

[課題提出方式 試験内容]

試験内容等		時間	配点
出願書類	課題レポート(1,400字～1,600字)	—	40点
	志望理由書(800字程度)、自己アピール書(600字程度)	—	10点
面接(個別)	出願書類にもとづき行うとともに、提出した課題レポートについて説明を求めます。	10:00～	150点

(3) 学校推薦型選抜(公募・専願)(人文学部社会学科)の試験内容の変更について(詳しくはP83参照)

人文学部社会学科の学校推薦型選抜(公募・専願)において、試験内容および配点を変更します。

[学校推薦型選抜(公募・専願) 試験内容]

入試制度	試験内容等		時間	配点
学校推薦型選抜 (公募・専願)	語彙力試験	言語事項・日本語ボキャブラリーを出題 (HBもしくはBのシャープペンシルを必ず持参すること。)	10:00～10:50	50点
	英語力試験	読解・要約(英和辞典持込可、電子辞書持込不可)	11:10～12:00	50点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00～	100点

PICK UP CONTENTS

動画でわかる一般選抜(前期)

一般選抜(前期)の概要と経済的負担を大幅に軽減できる「検定料割引制度」について説明している動画を入試情報サイトに掲載しています。一般選抜(前期)へ出願予定の方は必見です。

一般選抜(前期)

入試日程

入試制度のポイント

スタンダード方式

高得点科目重視方式

共通テストプラス方式

検定料割引制度について

■ 複数出願割引

■ 3方式セット割引

■ 出願方法の例

修大からのお知らせ

動画でわかる一般選抜(前期)

入試制度のポイント

検定料割引制度

広島修道大学

POINT①▶1日につき3つの方式で選抜を実施

受験必須

スタンダード方式

併願可

高得点科目重視方式

併願可

共通テストプラス方式

POINT②▶1日につき最大2学科まで併願可能

2月1日～3日の全日程

1日につき2学科まで併願可能

全ての学科から進んで出願可能

第1志望学科・第2志望学科で1回の受験で同時に合格判定を受けることが可能

POINT③▶経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

複数出願割引

3方式セット割引

POINT④▶全日程で自宅から近い入学試験場で受験が可能

入学試験場(全14カ所)

※全学・全専願の両方に入学試験場を指定可能

※全専願・全専願・全専願に試験を実施

※全専願・全専願の両方で受験可能

※画面はイメージです

2026年度入学試験 募集人員

学部	学科	一般		共通テスト 利用		総合型	学校推薦型 (公募・併願)	学校推薦型 (公募・専願)	学校 推薦型 (指定校・ 附属校)	合計
		前期 A～C 日程	後期 日程	前期 日程	後期 日程					
商学部	商学科	70名	3名	8名	2名	活動実績重視方式 小論文重視方式 23名	10名	英語方式 指定資格方式 英語資格方式 8名	前期 31名 後期 若干名	155名
	経営学科	64名	2名	8名	2名	活動実績重視方式 小論文重視方式 20名	10名	英語方式 指定資格方式 英語資格方式 5名	前期 29名 後期 若干名	140名
	合計	134名	5名	16名	4名	43名	20名	13名	60名	295名
人文学部	社会学科	66名	2名	3名	1名	9名	2名	3名	9名	95名
	教育学科	47名	3名	4名	2名	12名	5名	10名	17名	100名
	英語英文学科	45名	5名	5名	2名	課題図書方式 課題探究方式 15名	5名	5名	18名	100名
	合計	158名	10名	12名	5名	36名	12名	18名	44名	295名
法学部	法律学科	75名	8名	15名	2名	ゼミナール方式 15名 スポーツ実績方式 芸術・文化実績方式 } 5名	15名	英語方式 小論文方式 5名 15名	40名	195名
	合計	75名	8名	15名	2名	20名	15名	20名	40名	195名
経済科学部	現代経済学科	59名	5名	5名	2名	11名	3名	英語方式 小論文方式 指定資格方式 英語資格方式 10名	20名	115名
	経済情報学科	59名	5名	5名	2名	11名	3名	英語方式 小論文方式 指定資格方式 英語資格方式 10名	20名	115名
	合計	118名	10名	10名	4名	22名	6名	20名	40名	230名
人間環境学部	人間環境学科	57名	3名	2名	1名	レポート方式 プレゼンテーション方式 15名 活動実績方式	8名	指定資格方式 5名	24名	115名
	合計	57名	3名	2名	1名	15名	8名	5名	24名	115名
健康科学部	心理学科	47名	3名	3名	2名	5名	3名	6名	11名	80名
	健康栄養学科	18名	3名	2名	2名	20名	5名	5名	25名	80名
	合計	65名	6名	5名	4名	25名	8名	11名	36名	160名
国際 コミュニティ 学部	国際政治学科	25名	2名	4名	2名	課題図書方式 指定資格方式 14名	8名	英語方式 指定資格方式 課題提出方式 10名	前期 10名 後期 若干名	75名
	地域行政学科	25名	2名	4名	2名	課題図書方式 指定資格方式 14名	8名	英語方式 指定資格方式 課題提出方式 10名	10名	75名
	合計	50名	4名	8名	4名	28名	16名	20名	20名	150名
総計		657名	46名	68名	24名	189名	85名	107名	264名	1,440名

広島修道大学のアドミッション・ポリシー

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1. 大学での学びに必要な基礎学力を有する人
2. 地域・国際社会における課題を自ら発見し解決していく意欲がある人
3. 主体性を持って多様な人々と協力し価値を創造する意欲がある人
4. 持続可能な社会の創出に積極的に貢献する意欲がある人

各学部・学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度と関連付けて明示し、合否判定にあたっては多面的・総合的に資質や意欲を評価・判定します。

商学部 THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

商学部では、世界、日本及び地域社会に関心を持つ人、商学、経営学に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協働して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的な学力として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度という学力の3要素を求めます。

2. 商学部の教育を通じて養う能力

商学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

商学部 商学科 THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

商学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、商学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようすることを重視します。商学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。商学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

(2) 思考力・判断力・表現力

商学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読み解き、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3) 主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2. 商学科の教育を通じて養う能力

商学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

商学部 経営学科 THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

経営学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、経営学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようすることを重視します。経営学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。経営学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

(2) 思考力・判断力・表現力

経営学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読み解き、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3)主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2.経営学科の教育を通じて養う能力

経営学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

人文学部 THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

人文学部は、現代社会の課題を理解する能力の育成、コミュニケーション能力の育成、そして情報リテラシーの習得を通して、地球的視野を持つ人材の養成と個性的、自律的な人間を育成することを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1.求める学生像

人文学部では、現代社会における諸現象・諸問題に関心を持つ人、教育という営みについて多様な視点から考察する意欲を持つ人、英語や英語圏の文化に強い関心と探究心を持つ人、多様な価値観を持つ人々と協力して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的学力として、各学科がそれぞれ定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性等を持つ人を求めます。

2.人文学部の教育を通じて養う能力

人文学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を通じて、ディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、個性的かつ自律的な「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

人文学部 THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

社会学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1.求める学生像

社会学科は、高等学校卒業程度の学力、すなわち入学後に学士課程教育を受けるに必要な学力を有し、次のような人を広く国内外から受け入れます。具体的には、(1)社会における諸現象・諸問題に関心があり、自ら調査し、考え、他者とコミュニケーションすることによって学ぼうとする人、(2)豊かな人間性を培うために、広い視野を有し、多角的な社会学的視点から実社会を理解しようと努める人、(3)社会学の視角・方法・理論を修得しようと努める人、(4)将来に関して目標を持ち、自己の人生を切り開く能力を身につけようとする人です。

社会学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における英語・国語・社会科・数学などの教科に関する知識・技能を習得している人。社会の構造、社会に生きる人々の意識や価値観を理解し、社会におけるさまざまな現象や問題・課題について理解・分析し、自身の考えを表現し、他者と議論する際に基礎となる能力を有する人。

(2)思考力・判断力・表現力

自ら社会的な課題や問題を発見し、その解決に取り組み、成果を社会において表現するのに必要な社会学的思考力・判断力・表現力を修得することに意欲がある人。

(3)主体性等

激しく変化していく現代社会のなかで多様な価値観を持つ他者に対して理解しようとする態度を備え、主体性を持って多様な人々と学びあい、相互理解をはかっている意欲がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、英語と国語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2.社会学科の教育を通じて養う能力

社会学科の教育を通じて養う能力は、以下のような能力です。

(1)社会学の知識に基づく視角・方法・理論の成り立ちと現代的展開を自ら学び考えることによって、実社会における現象や問題・課題について、社会学的に理解・分析し、自身の考えを表現できる能力。

(2)修得した社会学的知識に基づく視角・方法・理論を持って、自ら社会的な課題を発見し、社会問題の解決に取り組み、その成果を社会的に表現するために必要な社会学的思考力・判断力・コミュニケーション能力。

(3)激しく変動していく現代社会において、自ら身につけた社会学的知識を多様な科学や学問に照らしつつ、主体性を持って多様な人々と学びあう能力。

(4)国際化を進める社会で活躍できる確かなコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマに関して主体性を持って学問的に追求する能力。



人文学部

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES



教育学

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

教育学は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。教育学とは、ある社会・文化における人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかける教育という営みを対象とする学問です。そのため、教育学を学ぶ学生には、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する力を身につけることが必要です。

教育学が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

教育学の専門分野を学ぶために必要な高等学校までの基礎的・基本的な知識・技能を習得し、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成したり、文章や資料を読んだうえで、知識や経験に照らして自分の考えをまとめたりするなど、それぞれの教科の知識・技能を活用できる力を身につけている人。

(2) 思考力・判断力・表現力

教育学的な視点で自ら問題を発見し、課題解決のため教科等を横断した探究活動ができる力を身につけている人。

情報を多面的・多角的に精査し構造化することを通して、自分の考えを形成し、様々な方法で表現できる力を身につけている人。

(3) 主体性等

学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる態度が身についている人。

多様性を尊重する態度や互いの良さを生かして協働する力が身についている人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、国語については、高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

また、自ら問題を発見し、様々な情報を活用しながら、問題を解決し、それを発信できる言語能力を高めてきてください。

2. 教育学科の教育を通じて養う能力

教育学の学修方法は、「教える一学」に関連する理論と実践について、言語、身体、感覚の全てを視野に含みつつ、考察を行うことを基盤としています。その学修方法を通して、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する能力を身につけます。



人文学部

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES



英語英文学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

英語英文学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、言語や文化、とりわけ英語や英語圏の文化に強い関心と探究心があり、英語習得に必要な不可欠な努力を惜みず、英語で他者と積極的に交流し、多様な価値観を持つ他者とともに問題の解決に当たる協働性を備えていることを重視します。英語英文学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、英語圏の文学や英語学・応用言語学の文献読解、さらにこれを踏まえた論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識及び「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

言語や文化に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3) 主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

英語学習に関しては、英文法を一通り学習すること、正しい発音で大きな声で音読すること、英検等各種検定試験に積極的に挑戦することです。これらのことは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」等の育成に役立ちます。

2. 英語英文学科の教育を通じて養う能力

言語としての英語及び英語圏の文化の諸相に関する知識と、国際化を進める社会で活躍できる確かなコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマを学問的に追求し、主体性を持って協創する能力を身につけます。



法学部

THE FACULTY OF LAW



法律学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

法学部法律学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎的な学力を備えている人を様々な入学制度により選抜し、受け入れます。求める学生像は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人で、法と国家・社会の関わりに関心を持ち、社会に生じる問題について多様な価値観を尊重しつつ合理的な解決に向けて意欲的に学習し行動しようとする人です。

(1) 知識・技能

まず、国語の基礎学力を有する学生を求めます。法律学科で法解釈の素養を身につけるためには、正確に文章を読み解き、論理的に考えることがとりわけ重要です。次に、理数系科目の基礎学力を有する学生を求めます。法学に必要な論理的思考力は数学などの理数系科目の学習によって培われると考えられています。また、グローバル化した社会の中で法的素養を身につけるには、諸外国の法制度にも関心を持たなければなりません。そのため、高等学校における英語の教科に関する知識・技能を有する学生を求めます。さらに、今日の法制度を学ぶにあたって、歴史的な経緯を理解することも重要であるため、日本史・世界史の知識を有することも必要です。

(2)思考力・判断力・表現力

公正な社会の実現に努める意欲を持っており、様々な社会の諸現象や諸問題に強い関心があり、自ら調査し、事態の背景や推移を正確に理解し、問題解決に必要な情報を収集・蓄積することのできる学生、先入観や偏見にとらわれず、多様な考え方や価値観を学習・理解するとともに、多数の解決法を比較・選択したうえで、自分の意見を決定することのできる学生、文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現することのできる学生を求めます。

(3)主体性等

法律専門家・公務員・企業人など、将来の進路について明確な目標を持つよう模索し、主体的に学ぶことのできる学生、多様な立場や価値観を尊重し、他者の意見や価値観の相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有する学生を求めます。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

法律の学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって法学部法律学科への入学を希望する学生は、高等学校における科目の教科書レベルの知識を幅広くしっかりと習得していることが大切です。特に国語や数学、英語、歴史などの科目をしっかりと学んでください。また、新聞や様々な本を読むことにより、社会科学に関する幅広い知識を習得できるため、新聞や様々な本を読むことを強くおすすめします。

2.法律学科の教育を通じて養う能力

法律学科の教育目標を実現するために必要な法的知識と技能を修得し、法的課題の発見及び解決に取り組み、その成果を表現するために必要な法的思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協働して学びあう能力を養います。



経済科学部

THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1.求める学生像

経済科学部では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、次の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人です。

2.経済科学部の教育を通じて養う能力

経済科学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。



経済科学部

THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

現代経済学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1.求める学生像

現代経済学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。現代経済学科が求める学生像は、経済社会・経済問題・経済現象等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、現代経済学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

(2)思考力・判断力・表現力

経済問題や経済現象に対し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

(3)主体性等

経済問題や経済現象に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文系科・理系科を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、現代経済学科の大半の講義は修得できます。

2.現代経済学科の教育を通じて養う能力

現代経済学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働する姿勢を涵養し、「現代の経済社会を体系的に把握かつ科学的に分析する能力を有する人材」として養成します。



経済科学部

THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

経済情報学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1.求める学生像

経済情報学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。経済情報学科が求める学生像は、情報社会・情報科学・システム科学等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、経済情報学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

(2)思考力・判断力・表現力

情報科学やシステム科学の学修に際し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

(3)主体性等

情報科学やシステム科学に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文系科・理系科を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、経済情報学科の大半の講義は修得できます。

2.経済情報学科の教育を通じて養う能力

経済情報学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働する姿勢を涵養し、「経済社会の発展に貢献しうる情報処理能力及び論理的思考力を有する人材」として養成します。



人間環境学部

THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES



人間環境学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

人間環境学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎学力を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、環境問題に広く関心を持ち、その解決に向けて主体的に学習・行動し、持続可能な社会の構築に資する意欲を持つ人材を広く国内外から受け入れます。人間環境学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

- ・高等学校で学習する教科についての基礎的な知識を身につけている人
- ・高等学校等で学習する環境問題についての基礎的な知識を身につけている人
- ・基礎的な知識を伝達するために、外国語を含む基本的な言語運用能力を身につけている人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、理論的・体系的に考えることができる人
- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、問題解決に必要な情報を選択し、解決の方向性について自分の考えを持つことができる人
- ・外国語を含む基本的な言語運用能力を用いて、自分の考えを論理的にわかりやすく表現することができる人

(3) 主体性等

- ・地域社会から地球全体に至る様々な環境問題を自分自身の問題としてとらえ、問題解決のために学ぶ意欲・関心・態度を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、様々な活動に積極的に参加する意欲を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、多様な人々と対話し協働して活動することができる人

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

- ・環境問題に関連する文系・理系の枠組みを超えた専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと
- ・書籍や新聞等を読んで、環境問題をはじめとする国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと
- ・国内外の環境問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるようになっておくこと

2. 人間環境学科の教育を通じて養う能力

社会・文化・経済・政治・法律・自然等、多様な領域に関連させながら、環境問題を総合的に把握・分析するための知識と理解力を身につけ、環境問題を解決するための思考力や判断力を獲得します。そのうえで、多様な人々と協働・協創し、その実現に向けて主体的に行動する能力を身につけます。



健康科学部

THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

健康科学部では、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性)を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え、人間の「こころ」と「からだ」の仕組みと働きに関して、絶えざる興味を持った人を求めます。すなわち、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識・技能とともに、入学後の学修において必要な、思考の柔軟性、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して真摯に学ぶことができる人を求めます。

2. 健康科学部の教育を通じて養う能力

健康科学部では、人間の「こころ」と「からだ」の心理学的・生理学的・生物学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、健康の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。



健康科学部

THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES



心理学科

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

心理学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「こころの健康」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。心理学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における主要教科に関する基礎的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読み解き、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

「こころの健康」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読み解き、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3) 主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめです。

2. 心理学科の教育を通じて養う能力

心理学科では、人間の「こころ」の心理学的・生理学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、「こころの健康」の回復・保持・増進に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。



学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

健康栄養学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「人の健康と栄養」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。健康栄養学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における主要教科に関する基本的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読解し、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

「人の健康と栄養」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者と協働できる態度を有する人。

(3) 主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめします。

2. 健康栄養学科の教育を通じて養う能力

健康栄養学科では、「人と食」の多面的な学びをベースに、主たるテーマである「人の健康と栄養」を科学的に探究し、栄養士・管理栄養士として「人の健康の回復・保持・増進」に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。



学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

国際コミュニティ学部は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を受け入れます。選抜過程では、国際社会と地域社会に通底するダイナミクスを理解し、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していくための資質と能力を備えているかどうかを判断します。

国際コミュニティ学部が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、地域社会や国際社会のダイナミクスへの関心や問題意識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションの基礎となる英語の知識。

(2) 思考力・判断力・表現力

社会の持続的発展や平和の実現のために文献を読解し、それをもとに自ら考察できる思考力・判断力と、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3) 主体性等

多様な人々とのコミュニケーションを通じて社会における相互理解を進め、様々な人々との協働を通じて国際社会・地域社会が抱える課題の解決に向けて取り組む能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。さらに、英語は国際社会を理解し世界の人々とつながるために必要です。

2. 国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力

国際コミュニティ学部のディプロマ・ポリシーに掲げる目的を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。



学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

国際政治学科は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を受け入れます。選抜過程では、地域社会と連動する国際社会の政治的ダイナミクスを理解することで、日本と世界各国・各地域との架け橋となろうとする志向を備えているかどうかを判断します。

国際政治学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点と国際的な政治・文化・歴史への知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の知識。

(2) 思考力・判断力・表現力

政治的・社会的な出来事や問題に気づき、その事象や問題を理解するために

文献を読解し、それをもとに自ら考察する思考力・判断力、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3) 主体性等

多様な価値観の共存を探りながら、主体性を持って人々とつながりを生む能力。同時に自らの意思を明確に表明しつつ、様々な国の人々と協力して課題解決を目指す能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語・英語の基礎学

力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の国々に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

2. 国際政治学科の教育を通じて養う能力

国際政治や世界の国々に関する知識を習得し、国際共通語である英語の力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決を目指すことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

国際コミュニティ学部 地域行政学科

THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める学生像

地域行政学科は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、受け入れます。選抜過程では、国際社会と連動する地域社会のダイナミクスを理解し、政治・行政・政策の知識をもとに地域社会の発展に貢献する志向を備えているかどうかを判断します。

地域行政学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点と政治・行政や生活者としての知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションの基礎となる英語の知識。

(2) 思考力・判断力・表現力

政治や社会の問題を解決するために文献を読解し、それをもとに自ら考察する思考力・判断力、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3) 主体性等

多様な価値観の共存を探りながら、主体性を持って多様な人々と人間関係を創造する能力及び自らの意思を明確に表明しつつ相互理解を図り、地域と協働して課題解決を目指し、社会の発展に貢献する能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の地域社会に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

2. 地域行政学科の教育を通じて養う能力

政治学、行政学、政策学等に関する知識を習得し、地域の価値・魅力に気づく力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決に取り組むことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

広島修道大学の入学試験制度と評価



商学部

THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES



商学科

商学部商学科の入学試験制度と評価

商学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

商学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、商学科で学ぶことの意義についてしっかりと興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文（資料小論文）、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文（資料小論文）を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、出身学校調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜[活動実績重視方式]では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜[小論文重視方式]では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

学校長から推薦され、商学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、出身学校調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、出身学校調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

商学科への進学実績をともなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し商学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて学力の3要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

総合型選抜[活動実績重視方式]と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。



商学部

THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES



経営学科

商学部経営学科の入学試験制度と評価

経営学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点

を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

経営学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、経営学科で学ぶことの意義についてしっかりと興味・関心を持っている

生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文(資料小論文)、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、出身学校調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜[活動実績重視方式]では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜[小論文重視方式]では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

学校長から推薦され、経営学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、出身学校調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、出身学校調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

経営学科への進学実績をとまなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し経営学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面

接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて学力の3要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

総合型選抜[活動実績重視方式]と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本語・総合科目の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(別表) 商学科・経営学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (○は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 (活動実績重視方式)	○	・小論文 ・面接 ・出身学校調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
	総合型選抜 (小論文重視方式)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語方式)	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (指定資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等の証明書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

人文学部社会学科の入学試験制度と評価

社会学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、思考力・判断力・表現力及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

社会学科での学修に意欲を持つ者で、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として個別学力検査と面接に基づいて、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して学生を選抜します。個別学力検査では、語彙力試験および英語力試験により言語運用能力を評価します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として面接に基づいて、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及

び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 社会人選抜

社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、出身学校調査書の内容、社会人としての活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

(8) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(9) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(10) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(別表) 社会学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程、後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題小論文 ・出身学校調査書	◎	・課題小論文 ・面接 ・志望理由書	◎	・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・語彙力試験・英語力試験 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・語彙力試験・英語力試験 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

人文学部 教育学科

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

人文学部教育学科の入学試験制度と評価

教育学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、筆記試験に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。また、集団討論に基づいて思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績に基づいて、日本語運用能力を評価します。そのうえで、面接に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価します。

外国人留学生選抜では、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(8) 社会人選抜

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の学力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、

入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

社会人選抜では、資料小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査と小論文に基づいて、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

編入学試験・学士入学試験では、個別学力検査と小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(別表) 教育学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・出身学校調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・面接 ・志望理由書	○	・集団討論 ・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・小論文 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書



人文学部英語英文学科の入学試験制度と評価

英語英文学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、英語力試験に基づいて基礎となる英語能力を評価します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重

点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、個別学力検査に基づいて基礎となる英語能力及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接に基づいて、主体性と、口頭による思考力・判断力・表現力を評価します。また、出願書類に基づき、取得した英語資格も加味します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校

調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

志望理由書に基づいて英語英文学科で学ぶことの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(別表) 英語英文学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・英語力試験 ・面接 ・出身学校調査書 ・活動報告書	◎	・英語力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・個別学力検査(英語) ・英語資格・検定 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

法学部 THE FACULTY OF LAW 法律学科

法学部法律学科の入学試験制度と評価

法学部法律学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」に重

点を置き、特定の課題に関するゼミナール(ゼミナール方式の場合)・社会問題についての小論文(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、面接(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、活動報告書(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置き、英語試験(英語方式)・資料小論文試験(小論文方式)、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

(5)学校推薦型選抜(指定校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で、社会問題についての小論文及び社会問題に関する3分間説明、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(6)学校推薦型選抜(附属校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(附属校)では、学力の3要素全てを同等の比重で、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)

す)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(7)帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜(ゼミナール方式)と同じ方式で実施します。

(8)外国人留学生選抜

主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、資料小論文試験、日本留学試験のスコア、面接、出願書類等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(9)編入試験・学士入学試験

第3学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、英語試験・資料小論文試験、面接、成績証明書、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(別表)法律学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法(◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 (ゼミナール方式)	○	・ゼミナール ・出身学校調査書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨
	総合型選抜 (スポーツ実績方式) (芸術・文化実績方式)	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校調査書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・志望理由書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 (公募・専願) (英語方式)	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (公募・専願) (小論文方式)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書



経済科学部現代経済学科の入学試験制度と評価

現代経済学科は、以下の入学試験制度ごとに、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1)一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書等によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点

を置いて評価・判定します。

(2)共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書等によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3)総合型選抜

講義理解力試験で現代経済学を学ぶ際に必要な思考力・判断力・表現力を評価し

ます。また、面接・志望理由書等に基づいて、現代経済学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書等に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書に基づく知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書による知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

修学実績をともなう高校等を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。



経済科学部経済情報学科の入学試験制度と評価

経済情報学科は、以下の入学試験制度ごとに、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書等によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書等によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

講義理解力試験で経済情報学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・志望理由書等に基づいて、経済情報学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書等に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書に基づく知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・

推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書に基づく知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書による知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

修学実績をともなう高校等を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験

の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(別表) 現代経済学科・経済情報学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・講義理解力試験 ・出身学校調査書	◎	・講義理解力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語方式)	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (小論文方式)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (指定資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書



人間環境学部人間環境学科の入学試験制度と評価

人間環境学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を得点化して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表

現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、総合型選抜(レポート方式)、総合型選抜(プレゼンテーション方式)、総合型選抜(活動実績方式)があります。

総合型選抜(レポート方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、共通のテーマに関するレポート、レポートに関する質疑応答審査、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(レポート方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜(プレゼンテーション方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、共通のテーマに関するプレゼンテーション審査、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、出身学校調査書(高等学校

での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(プレゼンテーション方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜(活動実績方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、高等学校等での活動実績、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、面接、志望理由書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(活動実績方式)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜(公募)(指定資格方式・専願)があります。

学校推薦型選抜(公募)(指定資格方式・専願)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語と数学の資格・検定、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募)(指定資格方式・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

(別表) 人間環境学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法(◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 (レポート方式)	◎	・共通のテーマに関する 筆記試験 ・レポートに関する 質疑応答審査 ・出身学校調査書 ・レポート	◎	・共通のテーマに関する 筆記試験 ・レポートに関する 質疑応答審査 ・志望理由書 ・レポート	○	・レポートに関する 質疑応答審査 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 (プレゼンテーション方式)	○	・共通のテーマに関する 筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・プレゼンテーション資料	◎	・共通のテーマに関する 筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 (活動実績方式)	○	・共通のテーマに関する 筆記試験 ・面接 ・出身学校調査書 ・活動実績	○	・共通のテーマに関する 筆記試験 ・面接 ・活動実績 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校調査書 ・活動実績 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願) (指定資格方式)	◎	・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等証明書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜 (指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書



健康科学部心理学科の入学試験制度と評価

心理学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。そのうえで、集団活動試験及び集団討論に基づいて、問題解決のための柔軟な思考力・情報収集力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、分析結果を論理的な文章と適切な図表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者とともに取り組む協働性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

志望理由書に基づいて、心理学科で学修することを強く希望していることを確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づき、知識・技能、身の周りの日常的な問題に気づく観察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書及び出身学校長の推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と協働性等を評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素である、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性に注目し、出身学校長の推薦書等に基づく評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び協働性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び協働性等を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評

価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び協働性等を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認し、面接によって知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働力及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語、小論文、面接の試験科目を課して、第3年次に入学するために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を有しているかを多面的・総合的に評価します。(2026年度は実施しません。)

(別表)心理学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型 選抜	総合型選抜	○	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・出身学校調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・志望理由書	◎	・集団活動試験 ・集団討論 ・志望理由書
学校推薦型 選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力試験 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力試験		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

健康科学部 THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

健康栄養学科

健康科学部健康栄養学科の入学試験制度と評価

健康栄養学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1)一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合格ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合格判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2)共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3)総合型選抜

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、課題図書のトピックスに関するレポート、自身のレポートを端的に表現する資料を用いたプレゼンテーション及び質疑応答で審査を行います。その審査結果及び出身学校調査書に基づき、多面的・総合的に評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4)学校推薦型選抜(公募)

【専願】

学校長から推薦され、健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを志望理由書に基づいて確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づいて、知識・技能、身の周りの日常的問題に気づく観

察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書及び出身学校長の推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と他者との協働性等を評価します。学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5)学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して強い関心を持ち、入学を希望していることを確認したうえで面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び他者との協働性を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6)学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認し、面接によって知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性、協働性及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(別表) 健康栄養学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 (公募・専願)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書



国際コミュニティ学部国際政治学科の入学試験制度と評価

国際政治学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性等に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績(英語の資格・検定のみなし得点を含む。)と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、入試制度の区分に応じた評価方法に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

総合型選抜(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性

等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

総合型選抜(課題図書方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、入試制度の区分に応じた評価方法に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

【専願】

学校推薦型選抜(公募・専願)(英語方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(課題提出方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・

判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校・前期)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校・前期)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(指定校・後期)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、面接等によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(8) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(9) 外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

国際コミュニティ学部 地域行政学科

THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

国際コミュニティ学部地域行政学科の入学試験制度と評価

地域行政学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性等に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績(英語の資格・検定のみならず得点を含む。)と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、入試制度の区分に応じた評価方法に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

総合型選抜(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

総合型選抜(課題図書方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、入試制度の区分に応じた評価方法に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

【専願】

学校推薦型選抜(公募・専願)(英語方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(課題提出方式)では、学力の3要素のうち、思考

力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

(別表) 国際政治学科・地域行政学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
			比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)		◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)		◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)		◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型 選抜	総合型選抜 (課題図書方式)		○	・小論文 ・出身学校調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	総合型選抜 (指定資格方式)		◎	・出身学校調査書 ・資格・検定の証明書 ・自己アピール書	○	・面接 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
学校推薦型 選抜	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語方式)		◎	・個別学力検査(英語) ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・自己アピール書	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (指定資格方式)		◎	・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等の証明書 ・自己アピール書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (課題提出方式)		○	・課題レポート ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・自己アピール書	◎	・課題レポート ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜(公募・併願)		◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜 (指定校)	国際政治学科 (前期日程・後期日程)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
		地域行政学科						
	学校推薦型選抜(附属校)		○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

MEMO

アドミッション・
ポリシー

入学試験制度と
評価

一般前期

共通テスト利用
前期

一般後期

共通テスト利用
後期

総合型

学校推薦型
(公募)

特別

出願ガイド

合格への道

2026年度 入学試験スケジュール

			2025年 9月	10月	11月	12月
総合型選抜 (全学部・学科) ▶P57～ Web インターネット 出願	●商学部 ●経済科学部 ●人間環境学部 ●健康科学部		出願期間 《インターネット 出願受付》 9/24～10/3 ※帰国生選抜は 郵送	試験日 10/25 合格発表 11/1	入学手続期間 (手続選択制) 《一括手続》 11/5 11/14 (分割手続(第1次)) 11/5 11/14	
	●人文学部 ●法学部 ●国際コミュニティ学部					
帰国生選抜 ▶P95～						
学校推薦型 選抜(公募) ▶P77～ Web インターネット 出願	専願	全学部・学科			出願期間 《インターネット 出願受付》 11/1 11/12	試験日 11/29 合格発表 12/5 入学手続期間 (手続選択制) 《一括手続》 12/8～12/17 《分割手続(第1次)》 12/8～12/17
	併願	全学部・学科				
学校推薦型 選抜(指定校) (全学部・学科) Web インターネット 出願	後期 日程	●商学部 ●国際コミュニティ学部 国際政治学科			出願期間 《インターネット 出願受付》 11/1～11/12	試験日 11/30 合格発表 12/5 入学手続期間 (手続選択制) 《一括手続》 12/8～12/17 《分割手続(第1次)》 12/8～12/17
		●商学部 ●国際コミュニティ学部 国際政治学科 出願期間 《インターネット出願受付》 商学部:12/8～12/17 《郵送受付》 国際政治学科:12/8～12/25				
一般選抜 (全学部・学科) Web インターネット 出願 前期日程 ▶P33～ 後期日程 ▶P49～	前期A日程 全学部・学科					
	前期B日程 全学部・学科					
	前期C日程 全学部・学科					
	後期日程 全学部併願制					
共通テスト 利用選抜 (全学部・学科) Web インターネット 出願	前期日程 ▶P45～ 全学部併願制					
	後期日程 ▶P53～ 全学部併願制					
社会人選抜 ●人文学部社会学科 ●人文学部教育学科 ●人間環境学部 ▶P99～ 外国人留学生選抜 (全学部・学科)						出願期間 《郵送受付》 社会人:12/8～12/17 外国人留学生:12/8～12/25

	2026年 1月	2月	3月
			入学手続期間 (手続選択制) 《分割手続(第2次)》 2/24～3/3
			入学手続期間(手続選択制) 《分割手続(第2次)》2/24～3/10
			入学手続期間 (手続選択制) 《分割手続(第2次)》 2/24～3/3
	試験日 合格発表 1/10 1/15	入学手続期間 《一括手続》 2/16～2/20	
		試験日 2/1	入学手続期間(手続選択制)
出願期間 《インターネット出願受付》 1/5～1/20	試験日 2/2	合格発表 2/13	《一括手続》 2/16～2/20 《分割手続(第1次)》 2/16～2/20 《分割手続(第2次)》3/4～3/23
	試験日 2/3		
		出願期間 《インターネット出願受付》 2/13～2/25	試験日 3/9 合格発表 3/14 入学手続期間 《一括手続》3/16～3/23
出願期間 《インターネット出願受付》 1/5～1/20	個別学力 検査は ありません	合格発表 2/13	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》2/16～2/20 《分割手続(第1次)》2/16～2/20 《分割手続(第2次)》3/4～3/23
		出願期間 《インターネット出願受付》 2/13～2/25	個別学力検査は ありません 合格発表 3/14 入学手続期間 《一括手続》3/16～3/23
試験日 合格発表 1/10 1/15		入学手続期間 《一括手続》 2/16～2/20	

★インターネット出願初日のみ8:45～受付開始。受付最終日の登録は15:00まで、検定料入金は16:00までです。



インターネット出願

一般選抜 (前期日程)

試験日・試験地・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	方式	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
						一括手続	分割手続
全学部 全学科	《インターネット出願受付》 2026年 1/5(月)～1/20(火) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	2026年 A日程 2/1 (日)	受験必須 スタンダード方式	広島 (本学) 福山 三原 山口市 周南市 岡山 松江 浜田 松山 今治 高松 福岡 北九州	2026年 2/13 (金)	2026年 2/16(月)～ 2/20(金) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2026年 2/16(月)～ 2/20(金) 締切日消印有効
		B日程 2/2 (月)	併願可 高得点科目重視方式 共通テストプラス方式				《第2次入学手続》 2026年 3/4(水)～ 3/23(月) 締切日必着
		C日程 2/3 (火)	全日程共通で 3方式を実施				

POINT
01

1日につき3つの方式で選抜を実施します！

①スタンダード方式【受験必須】

どの日程でも**受験必須**とし、英語+国語+選択科目の**3科目の合計点**で合否判定をします。

②高得点科目重視方式【併願可】

スタンダード方式で受験した3科目のうち**2科目で判定**します。**得意科目を活かして併願**できます。

③共通テストプラス方式【併願可】

スタンダード方式の**高得点科目**、共通テストの**高得点科目**、**英語資格を活かして併願**できます。

受験必須 スタンダード方式

英語の配点は150点の学科と100点の学科があります。国語と選択科目の配点は全学科100点です。

$$\begin{array}{c}
 \text{英語 } 150\text{点} \\ \text{または} \\ 100\text{点}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{国語 } 100\text{点}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{選択科目 } 100\text{点}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 350\text{点満点} \\ \text{または} \\ 300\text{点満点}
 \end{array}$$

併願可 高得点科目重視方式

スタンダード方式で受験した3科目のうち、**2科目**を使用して合否判定をします。

(例) 英語と国語の得点が高かった場合、選択科目の得点は合否判定に使用しません。(詳細36ページ)

$$\begin{array}{c}
 \text{英語} \\ 63\text{点}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{国語} \\ 60\text{点}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 \text{英語・国語の合計} \\ 123\text{点で判定}
 \end{array}$$

併願可 共通テストプラス方式

スタンダード方式と大学入学共通テスト両方の**高得点科目**、**英語資格を活かして併願**できます。

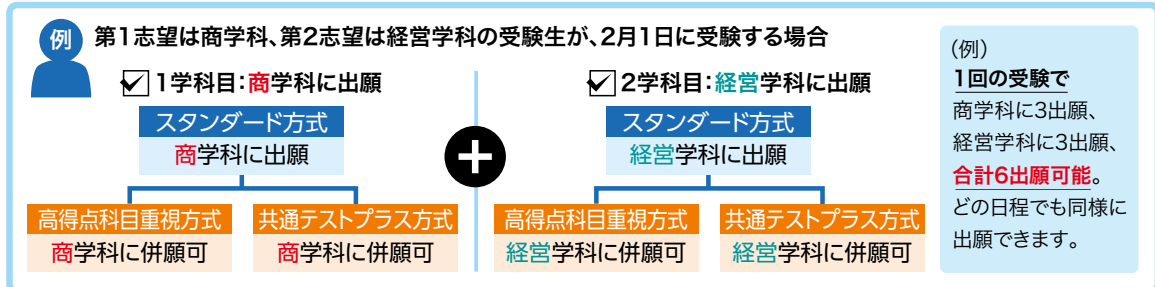
$$\begin{array}{c}
 \text{スタンダード方式} \\ 100\text{点} \times 2\text{科目}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{共通テスト} \\ 100\text{点} \times 2\text{科目}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 \text{両試験合計} \\ 400\text{点満点}
 \end{array}$$

指定する英語資格を取得していれば、共通テストの英語の得点に換算します。(詳細37ページ)

POINT
02

1日につき2学科まで併願できます！

2月1日から3日までの全日程において、**1日につき2学科まで併願**できます。各日程において、**すべての学科から選んで**出願可能です。これにより、第1志望学科に加えて、第2志望学科まで、**1回の受験で同時に**合否判定を受けることが可能です。さらに、3つの方式を組み合わせると、**1回の受験で1学科につき3出願可**（2学科出願すると、1回の受験で最大6出願可。3日間で最大18出願可）となり、受験機会が広がります。



併願の注意点

高得点科目重視方式と共通テストプラス方式は、スタンダード方式で受験した科目の得点を利用します。このため、スタンダード方式を受験せずに、高得点科目重視方式のみの出願や、共通テストプラス方式のみの出願はできません。また、**高得点科目重視方式と共通テストプラス方式において出願できる学科は、スタンダード方式に出願した学科となります**。

POINT
03

経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度（詳細は102ページ）

「スタンダード方式」「高得点科目重視方式」「共通テストプラス方式」の3つの方式を、同一日・同一学科に出願すると**3方式セット割引**が適用されます。また、**スタンダード方式は2出願目から大幅に値引きされます**。

※割引制度は、**1度の出願登録**で、複数出願する場合のみ、適用されます。

追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

POINT
04

全日程で自宅から近い入学試験場で受験が可能！

本学の他に、西日本の各地に入学試験場を設置。全試験場、同じ時間、同じ問題で試験を実施します。自宅から近い試験場を利用すれば、交通費や宿泊費などの経済面はもちろん、精神面でも余裕ができます。

入学試験場のご案内



出願資格

次のいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2025年11月21日(金)までに本学入学センターへ問い合わせください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

学科・方式毎の配点について

POINT スタンダード方式、高得点科目重視方式、共通テストプラス方式の配点は、学科・方式により「**英語を重視するパターン①**」と、「**受験科目全てを同等の比重で扱うパターン②**」の2パターンに分かれます。出願する学科・方式がどちらのパターンになっているのかをよく確認して出願してください。

スタンダード方式

パターン①：英語の配点は**150点**、国語と選択科目の配点は100点。
パターン②：英語、国語、選択科目の配点は**すべて100点**。

高得点科目重視方式 共通テストプラス方式

パターン①：**英語は必ず合否判定に使用**し、他に受験した科目のうち**高得点1科目**を使用。
パターン②：受験した科目のうち、**高得点2科目**を使用。

学科・方式別 配点パターン表

学科	スタンダード方式		高得点科目重視方式		共通テストプラス方式	
	①英語150点	②全科目100点	①英語+1科目	②高得点2科目	①英語+1科目	②高得点2科目
商	●	—	—	●	—	●
経営	●	—	—	●	—	●
社会	●	—	●	—	●	—
教育	—	●	—	●	—	●
英語英文	●	—	●	—	●	—
法律	—	●	—	●	—	●
現代経済	—	●	—	●	—	●
経済情報	—	●	—	●	—	●
人間環境	—	●	—	●	—	●
心理	—	●	—	●	—	●
健康栄養	—	●	—	●	—	●
国際政治	●	—	●	—	●	—
地域行政	—	●	—	●	—	●

必須

スタンダード方式 2/1(日)・2/2(月)・2/3(火)

必ず3科目を受験してください

POINT

1日程につき2つの学科に出願できます。各日程において、**すべての学科から選んで**出願できます。どの日程でも受験必須とし、**英語+国語+選択科目の3科目の合計点**で判定します。

■英語の配点は**150点の学科と100点の学科**があります。国語と選択科目は全学科100点です。

パターン① 英語**150点** 【対象】商学科、経営学科、社会学科、英語英文学科、国際政治学科

パターン② 英語**100点** 【対象】教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科

英語 **150点**
または
100点

+

国語 **100点**

+

選択科目 **100点**

=

350点満点
または
300点満点

試験内容 (試験科目は全学科共通とし、共通の問題を使用します)

受験	教科/試験科目	試験日	出題範囲	配点	時間
必須	国語		現代の国語、言語文化(漢文を除く)	100点	10:20~11:30(70分)
必須	外国語 英語		英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	150点または100点	13:00~14:10(70分)
選択科目1科目	世界史	2/1(日)	歴史総合(主に世界史分野)、世界史探究	100点	15:00~16:10(70分)
	地理歴史	2/2(月)	歴史総合(主に日本史分野)、日本史探究		
	地理	2/3(火)	地理総合、地理探究		
	公民		政治・経済		
	数学		数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ		
	理科		化学基礎・生物基礎		
	生物	2/1(日)、2/2(月)	生物基礎・生物		

* 当日は、9:50までに試験室に入室してください。 * 数学と理科以外の科目は、全部または一部マークシート方式で実施します。

併願

高得点科目重視方式

スタンダード方式での3科目受験が必須

POINT

スタンダード方式で受験した3科目のうち、**2科目を使用して**判定します。高得点科目を重視するので、**得意な科目を活かして**受験できます。高得点科目の使用方法は、学科により**2パターン**に分かれます。

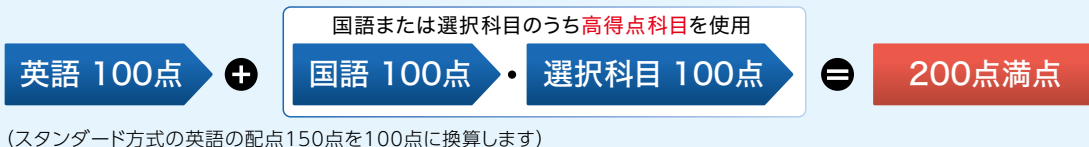
スタンダード方式に
出願した学科で併願可

パターン①

「英語」は必ず合否判定に使用し、「国語と選択科目」は**高得点1科目**を使用。

1科目100点×2科目の合計200点満点で判定。

【対象】社会学科、英語英文学科、国際政治学科

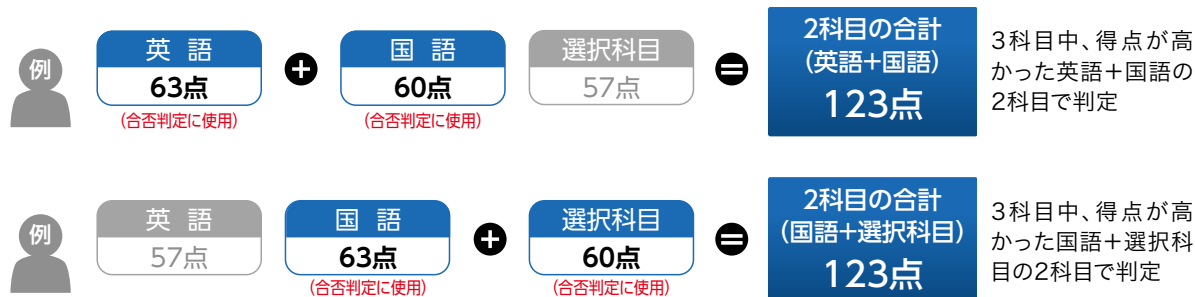
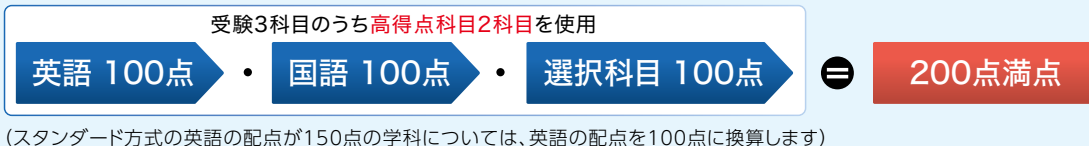


パターン②

「英語」、「国語」、「選択科目」のうち、**高得点2科目**を合否判定に使用。

1科目100点×2科目の合計200点満点で判定。

【対象】商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科



「得意な科目」を活かして合格をつかもう！

(例)「スタンダード方式」と「高得点科目重視方式」に出願したAさんの場合

スタンダード方式	
英語(100点満点)	55点
国語(100点満点)	50点
日本史(100点満点)	70点
合計点(300点満点)	175点 (得点率58.3%)
合格最低点	180点(得点率60%)

不合格

高得点科目重視方式		
英語	高得点科目	55点
国語		50点
日本史	高得点科目	70点
合計点(200点満点)		125点 (得点率62.5%)
合格最低点		120点(得点率60%)

合格

高得点科目の点数が
使用され、合格へ！

Aさんはスタンダード方式では得点率58.3%で不合格でしたが、得意科目を活かすことができる高得点科目重視方式では得点率62.5%になり、合格することができました。得意な科目を活かせることがこの制度のメリットです。

POINT1

得意科目を活かせる!

「スタンダード方式で受験した2科目」と「大学入学共通テストで受験した2科目」の合計点で合否判定をします。高得点科目重視方式と同様に得意な科目を活かして受験することができます。

スタンダード方式に
出願した学科で併願可

POINT2

英語資格を活用できる!

本学が指定する英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて大学入学共通テストの英語の得点を「満点の8割または満点」に換算します(みなし得点)。合否判定には、大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。

これにより、得意な科目だけでなく、英語資格も活かして受験することができます。

英語の資格検定を利用する場合、共通テストの「英語」の受験は任意とし、受験していない場合は、みなし得点を合否判定に使用します。

英語資格 みなし得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)(CBTタイプも可)	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※英検は、従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にする。

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

※TOEICは、S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを使用する。

POINT3

高得点科目の使用方法是、学科により2パターンに分かれます。

パターン①

「英語」は必ず合否判定に使用し、「国語と選択科目」は高得点1科目を使用。

【対象】社会学科、英語英文学科、国際政治学科

スタンダード方式(100点×2科目)

「英語100点」+「国語・選択科目のうち高得点1科目100点」
(英語の配点150点を100点に換算)

+

大学入学共通テスト(100点×2科目)

「英語100点」+「他に受験した科目のうち高得点1科目100点」
(英語と国語の配点は、200点を100点に換算)

=

両試験の合計
400点満点
で合否判定

パターン②

受験した科目のうち、高得点2科目を使用。

【対象】商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科

スタンダード方式(100点×2科目)

「英語、国語、選択科目」のうち
高得点2科目200点
(英語の配点が150点の学科は、英語の配点を100点に換算)

+

大学入学共通テスト(100点×2科目)

「受験した科目」のうち
高得点2科目200点
(英語と国語の配点は、200点を100点に換算)

=

両試験の合計
400点満点
で合否判定

共通テストプラス方式 試験内容・配点

パターン① 【対象】 社会学科、英語英文学科、国際政治学科

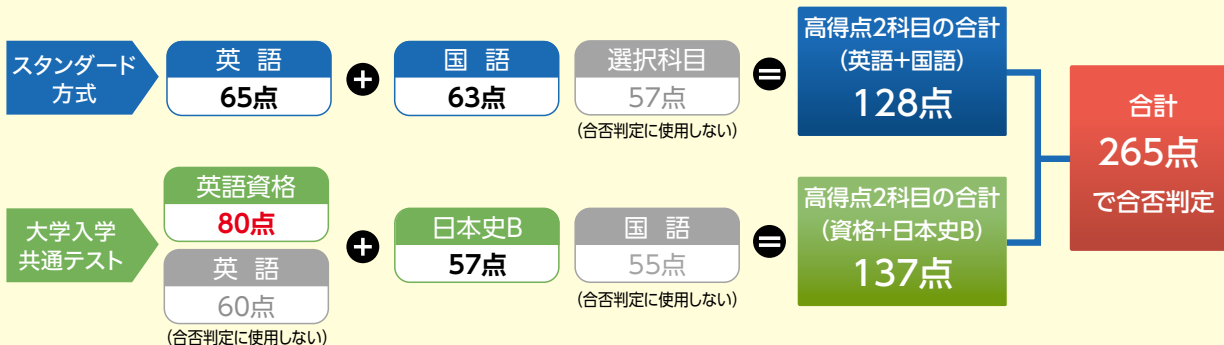
試験種別	受験	教科／試験科目		出題範囲	配点	備考
一般選抜 (スタンダード方式)	必須	外国語	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	100点	英語は必ず合否判定に使用し国語と選択科目は高得点の1科目を使用 スタンダード方式の英語の配点150点を100点に換算
	必須	国語		現代の国語、言語文化(漢文を除く)	100点 ×1科目	
	選択科目1科目	地理歴史	世界史	歴史総合(主に世界史分野)、世界史探究		
			日本史	歴史総合(主に日本史分野)、日本史探究		
		地理	地理総合、地理探究			
		公民	政治・経済			
		数	数学		数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ	
理	科	化学・生物	化学基礎・生物基礎			
		生 物	生物基礎・生物			
試験種別	受験	教科		科目	配点	備考
大学入学 共通テスト	必須	外国語		「英語」	100点	英語は必ず合否判定に使用し他に受験した科目のうち高得点の1科目を使用
	いずれか1科目	国語		「国語」近代以降の文章および古典(古文、漢文)	100点 ×1科目	
		地理歴史・公民	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」			
			数 学 ①	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」		
		数 学 ②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」			
		理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情 報		「情報Ⅰ」			

パターン② 【対象】 商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科

試験種別	受験	教科/試験科目	出題範囲	配点	備考
一般選抜 (スタンダード方式)	必須	外国語 英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	100点 ×2科目	受験した3科目のうち高得点の2科目を合否判定に使用 スタンダード方式の英語の配点が150点の学科については、英語の配点を100点に換算
	必須	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く)		
	選択科目1科目	世界史	歴史総合(主に世界史分野)、世界史探究		
		日本史	歴史総合(主に日本史分野)、日本史探究		
		地理	地理総合、地理探究		
		政治・経済	政治・経済		
		数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ		
大学入学 共通テスト	必須	外国語	「英語」	100点 ×2科目	受験した科目のうち高得点の2科目を合否判定に使用 英語はリーディング100点、リスニング100点、合計200点を100点に換算 国語は200点を100点に換算
	いずれか2科目	国語	「国語」近代以降の文章および古典(古文、漢文)		
		地理歴史・公民	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」「地理総合/歴史総合/公共」		
		数学①	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」		
		数学②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」		
		理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」		
		情報	「情報Ⅰ」		

「得意な科目」と「英語資格」を活かして合格をつかもう!

(例) 「英検2級(みなし得点80点)」を取得しており、共通テストの英語が60点(100点換算後)だった場合



試験場案内

※三原試験場のみ、出願時の先着順とし、人数制限を設けます。

広島修道大学(本学) 広島市安佐南区大塚東1-1-1

全日程

※試験場の下見はできますが、建物内に入ることはできません。また、本学以外の試験場およびその周辺には、駐車場がありませんので、公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って集合してください。

※検定料入金後の試験場の変更はできません。出願の際は、間違いのないようご注意ください。



アストラムライン 県庁前駅		約36分	アストラムライン		約32分	アストラムライン		約18分	アストラムライン		約19分	アストラムライン		約37分	アストラムライン	
広島駅		約3分	新白鳥駅		約25分	大町駅		約18分	大町駅		約19分	大町駅		約37分	大町駅	
広島バスセンター		約5分	JR可部線		約7分	JR可部線		約18分	JR可部線		約19分	JR可部線		約37分	JR可部線	
西広島駅		約7分	横川駅		約24分	横川駅		約19分	横川駅		約19分	横川駅		約37分	横川駅	
広島港		約30分	本通		約24分	本通		約19分	本通		約19分	本通		約37分	本通	
マイカー利用		約30分	マイカー利用		約24分	マイカー利用		約19分	マイカー利用		約19分	マイカー利用		約37分	マイカー利用	

※曜日によって運行されないものもありますので十分注意してください。

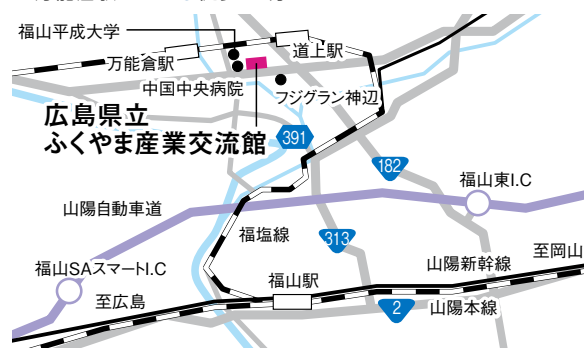
広島修道大学



福山試験場

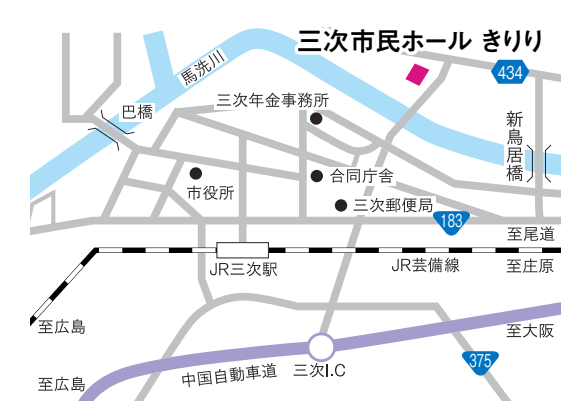
広島県立ふくやま産業交流館(ビッグ・ローズ)
福山市御幸町上岩成正戸476-5

JR福山駅から ●バスで30分、「ビッグ・ローズ前」下車
JR万能倉駅から ●徒歩20分



三次試験場

三次市民ホール きりり 三次市三次町111-1
JR三次駅から ●徒歩20分

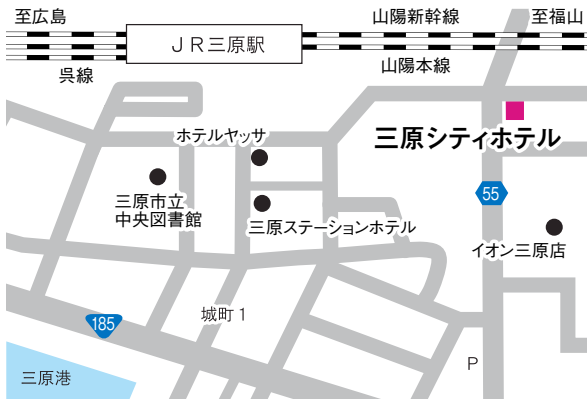


三原試験場

※三原試験場のみ、出願時の先着順とし、人数制限を設けます。

三原シティホテル 三原市城町2-2-2

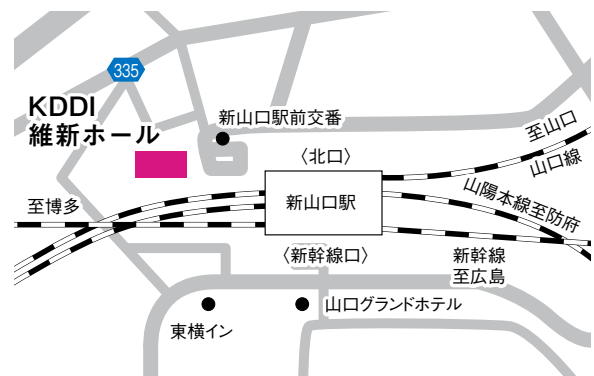
JR三原駅から ●徒歩3分



山口市試験場

KDDI維新ホール 山口市小郡令和1-1-1

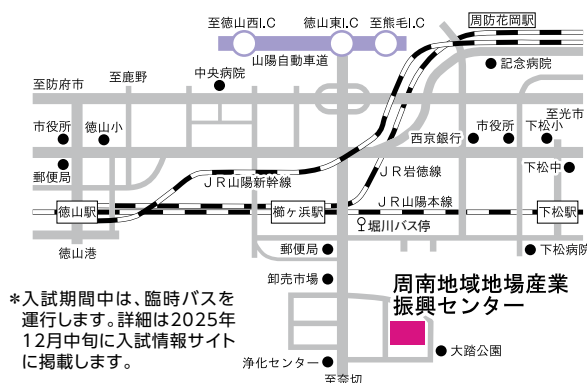
JR新山口駅北口から ●直結



周南市試験場

周南地域地場産業振興センター 周南市鼓海2-118-24

JR櫛ヶ浜駅から ●徒歩25分

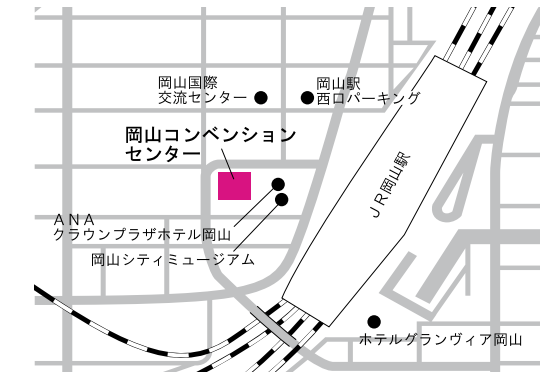


*入試期間中は、臨時バスを運行します。詳細は2025年12月中旬に入試情報サイトに掲載します。

岡山試験場

岡山コンベンションセンター
岡山市北区駅元町14-1

JR岡山駅中央改札口から ●徒歩3分



松江試験場

島根県民会館 松江市殿町158

JR松江駅から ●バスで10分、「県民会館前」下車



浜田試験場

いわみーる 浜田市野原町1826-1

JR浜田駅から ●バスで10分 大学線「いわみーる」下車

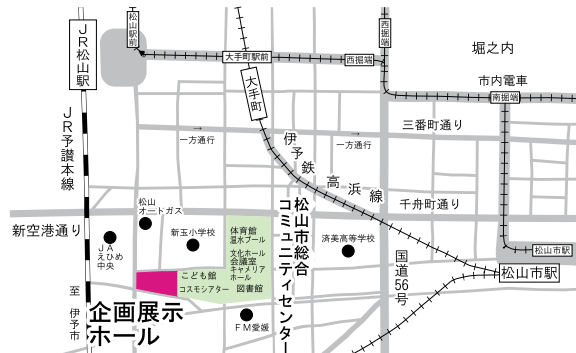


松山試験場

松山市総合コミュニティセンター
企画展示ホール 松山市湊町7-5

JR松山駅から ●徒歩10分

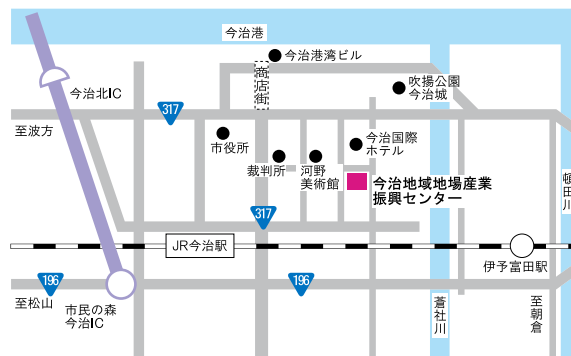
伊予鉄電車高浜線松山市駅から ●徒歩10分



今治試験場

今治地域地場産業振興センター
(じばさんセンター) 今治市旭町2-3-5

JR今治駅から ●徒歩10分



高松試験場

サンポートホール高松 高松市サンポート2-1

JR高松駅から ●徒歩3分

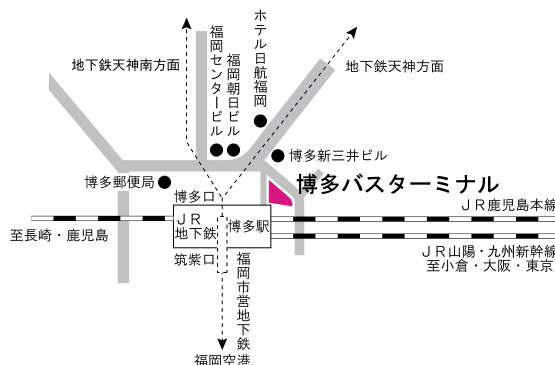
ことでん高松築港駅から ●徒歩5分



福岡試験場

博多バスターミナル 9階
福岡市博多区博多駅中央街2-1

JR博多駅「博多口」から ●徒歩1分

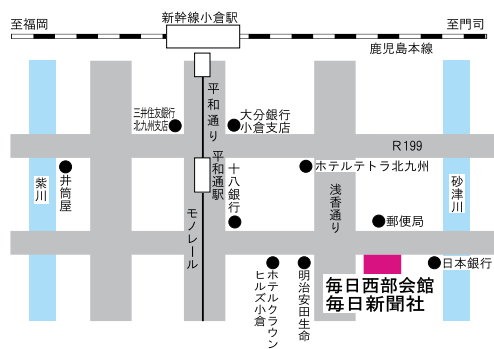


北九州試験場

毎日西部会館 [(株)毎日ビルディング]
北九州市小倉北区紺屋町13-1

JR小倉駅から ●徒歩9分

都市モノレール線平和通駅から ●徒歩5分



MEMO

アドミッション・
ポリシー

入学試験制度と
評価

一般前期

共通テスト利用
前期

一般後期

共通テスト利用
後期

総合型

学校推薦型
(公募)

特別

出願ガイド

合格への道

全学部共通事項

受験上の注意は109ページを参照してください。

1. 選抜方法

- (1) 英語、国語および選択科目の合計得点と出身学校調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。
- (2) A日程、B日程、C日程・方式の募集人員は、日程ごとの受験者数に応じて、按分します。
- (3) A日程、B日程、C日程・方式それぞれ別に可否を判定します。
- (4) 英語、国語および選択科目の得点は「中央値補正法」により、問題難易差による得点差を調整します。

2. 入学検定料

1出願で27,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス15,000円となります。
高得点科目重視方式と共通テストプラス方式を同時に出願すると、3方式セット割引の対象となり入学検定料がさらに割引されます。
詳細は102ページを参照してください。
※提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

3. 出願期間・出願方法

出願は、インターネット出願でのみ受け付けます。

【出願期間】2026年1月5日(月)～1月20日(火) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) インターネット出願で出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
- (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
- (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください。(締切日消印有効)
※インターネット出願での出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。
その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。
インターネット出願からダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。
写真票はカラー印刷し、当日持参してください。

- (1) 出願シート(共通テストプラス方式に出願する者は、大学入学共通テスト成績請求票を貼付)
- (2) 資格・検定等の証明書(写)(共通テストプラス方式で英語資格を利用する者のみ)
- (3) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)

※前期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。合格証書ではありませんのでご注意ください。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年11月21日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。
大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

6. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。



7. 合格発表

1. 合格発表について

(1) 合格発表日：2026年2月13日（金）10:00（予定）

合格者に「合格通知書」と「入学手続き類」を速達で郵送します。

なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、2月17日（火）を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

(2) 可否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの可否照会画面から可否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。

2. 補欠者の繰り上げ合格について（全学部対象）

一般選抜（前期日程）スタンダード方式を対象に、以下の要領で補欠者の繰り上げ合格を通知します。ただし、補欠者の繰り上げ合格は、入学手続きの状況により欠員の発生が想定される場合に限り行うものであり、繰り上げ合格を行わない（補欠者の繰り上げ合格者がいない）場合もあります。よって、補欠者全員が繰り上げ合格となるものではありません。

(1) 補欠者の発表日

2026年2月13日（金）10:00（予定）

補欠者に「補欠者通知書」を速達で郵送します。

(2) 補欠者確認の補助手段について

上記1の(2)と同様に、出願の際に登録したマイページの可否照会画面から補欠者であることを確認できます。

(3) 補欠者の繰り上げ合格発表日

■ 1回目：2026年2月21日（土）15:00（予定）

繰り上げ合格者に、「合格通知書」と「入学手続き類」を速達で郵送します。また、本学入試情報サイトにて、補欠者の繰り上げ合格について掲載します（インターネットによる可否照会は使用しません）。

■ 2回目：2026年3月24日（火）10:00～（予定）

繰り上げ合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

【注意点】

① 補欠者は、本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。

② 補欠者の繰り上げ合格は、欠員が充足した時点で終了します。

③ 欠員の状況により、補欠者以外の受験生を対象とし、追加合格を通知する場合があります。その場合も、電話連絡により入学の意思を確認します。注意点は、上記①②と同様です。

*「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続き期間終了後の入学手続きは一切認めませんので、ご注意ください。
*合格発表、補欠者の発表、補欠者の繰り上げ合格および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

8. 入学試験成績（一般選抜）の開示について

本学では、希望者（受験者本人）に対して、入学試験の成績を次のように開示します。

(1) 受付期間／2026年4月6日（月）～4月17日（金）

(2) 開示する入試制度および内容 ＜一般選抜＞ 個人入試科目別（得点調整後）成績

(3) 開示対象者 一般選抜を受験して不合格となった者

(4) 開示手続きについて

① 入試成績開示申請の受付

成績開示希望の旨を上記期間内に、本学入学センターに申し出てください。申し出を受けて、本学より「入試成績開示申請書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ、上記期間内に提出してください。

郵送で提出する場合、封筒に「入試成績開示申請書在中」と明記し、本学入学センター宛に郵送してください。**締切日必着です。郵送に要する日数を確認し、申し出てください。**受付期間最終日またはその前日に申し出た場合、開示ができなくなることがあります。

② 入試成績の開示

入試成績開示を許可した者に、「入試成績開示決定通知書」を発送します。

入試成績開示は、受験生本人（代理は不可）であることを確認のうえ、本学（入学センター）で行います。

受験票および本人が確認できる書類を持参してください。



インターネット出願

共通テスト利用選抜 (前期日程)

試験日・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
				一括手続	分割手続
全学部 全学科	《インターネット出願受付》 2026年 1/5(月)～1/20(火) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	本学での個別学力 検査はありません 大学入学共通テスト 2026年 1/17(土)・1/18(日)	2026年 2/13(金)	2026年 2/16(月)～ 2/20(金) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2026年 2/16(月)～ 2/20(金) 締切日消印有効 《第2次入学手続》 2026年 3/4(水)～ 3/23(月) 締切日必着

出願資格

次のいずれかに該当する者で令和8年度大学入学共通テスト(2026年1月17日(土)、18日(日)に実施)において本学が指定する教科・科目を受験する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2025年11月21日(金)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。



インターネット出願をご利用ください。

受験生のみなさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

入試制度の特徴・入試日程

1月に実施される大学入学共通テストの成績と出身学校調査書で多面的・総合的に評価・判定する入試です。

本学の個別学力検査はありません。一般選抜(前期日程)との併願が可能のほか、全学部・学科に併願できるのも、この入試の特徴です。

01 大学入学共通テストの成績を利用

大学入学共通テストに出願し、2026年1月17日(土)・18日(日)に実施される試験を受験してください。

大学入学共通テストにおいて、必ず本学が指定した科目を受験してください。

02 全学部・学科の併願が可能

7学部13学科すべての学部・学科で併願できます。(最大13出願可能)

03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

複数出願割引

2出願目から割引されます

1出願のみ
15,000円



1出願追加毎に
+5,000円

最大13
出願可能

割引制度は、一度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

POINT

みなし得点

**「英語」の資格・検定試験で基準を満たせば、
「英語」の得点を満点の8割または満点にします。**

本学が指定する英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて「大学入学共通テストの英語の得点」に換算。

合否判定には、大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。

英語の資格・検定を利用する場合、共通テストの「英語」の受験は任意とし、受験していない場合は、みなし得点を合否判定に使用します。

英語資格の得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)(CBTタイプも可)	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※英検は、従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にする。

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

※TOEICは、S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを使用する。

経済科学部を除く全学科

*本学での個別学力検査はありません

商学部
THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES
商学科 経営学科

人文学部
THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES
社会学科 教育学科 英語英文学科

法学部
THE FACULTY OF LAW
法律学科

人間環境学部
THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES
人間環境学科

健康科学部
THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES
心理学科 健康栄養学科

国際コミュニティ学部
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES
国際政治学科 地域行政学科

配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください

外国語 200点 + 国語 200点 + 選択科目 100点 = 500点満点

試験内容

受験	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	200点	「英語」はリーディング100点・リスニング100点 ※英語英文学科のみ、外国語は「英語」に限定する
必須	国語	「国語」近代以降の文章および古典(古文,漢文)	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」 「歴史総合,世界史探究」「公共,倫理」 「公共,政治・経済」「地理総合/歴史総合/公共」	選択科目 1科目 100点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する
	数 学 ①	「数学I,数学A」「数学I」		
	数 学 ②	「数学II,数学B,数学C」		
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」		
	情 報	「情報I」		
合 計			「外国語」+「国語」+「選択1科目」の3科目合計 500点満点	

経済科学部
THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

現代経済学科

経済情報学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください

外国語 200点 + 国語 200点 + 地理歴史・公民 200点 + 数学・理科・情報のうち最高得点1科目200点 = 600点満点

試験内容

受験	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	200点	「英語」はリーディング100点・リスニング100点
選択科目1科目	国語	「国語」近代以降の文章および古典(古文,漢文)	選択科目 1科目 200点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する (100点の科目は200点に換算)
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」 「歴史総合,世界史探究」「公共,倫理」 「公共,政治・経済」「地理総合/歴史総合/公共」		
選択科目1科目	数 学 ①	「数学I,数学A」「数学I」	選択科目 1科目 200点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する (100点の科目は200点に換算)
	数 学 ②	「数学II,数学B,数学C」		
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」		
	情 報	「情報I」		
合 計			「外国語」+「選択科目2科目」の3科目合計 600点満点	



全学部共通事項

1. 選抜方法

大学入学共通テストの得点および出身学校調査書を資料として、多面的・総合的に評価・判定します。

2. 入学検定料

1出願で15,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス5,000円となります。

(例)	2出願	20,000円	3出願	25,000円
-----	-----	---------	-----	---------

※全学部・学科に併願可能です。

※提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

3. 出願期間・出願方法

出願は、インターネット出願でのみ受け付けます。

【出願期間】2026年1月5日(月)～1月20日(火) ※出願初日のみ8:45～受付開始

(1) インターネット出願で出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)

(2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)

(3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)。

※インターネット出願での出願方法および入学検定料のお支払いについては101～108ページを参照してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。インターネット出願からダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

(1) 出願シート(所定欄に大学入学共通テスト成績請求票を貼付) ※カラー印刷

(2) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)

(3) 資格・検定等の証明書(写)(英語資格を利用する者のみ)

※**前期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通**で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。**合格証書ではありませんのでご注意ください。**

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年11月21日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

6. 合格発表

合格発表日: 2026年2月13日(金) 10:00(予定)

(1) 合格者には、「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。

なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、2月17日(火)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

(2) 可否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの可否照会画面から可否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。

(3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合に限り、追加合格を発表することがあります。

なお、追加合格がある場合は、2026年2月21日(土) 15:00に本学入試情報サイトで発表する予定です。

※「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。

※合格発表および追加合格に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。



インターネット出願



一般選抜 (後期日程)

試験日・試験地・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間 ※一括手続のみ
全学部 全学科	《インターネット出願受付》 2026年 2/13(金)～2/25(水) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	2026年 3/9(月)	広島 (本学)	2026年 3/14(土)	2026年 3/16(月)～ 3/23(月) 締切日必着

試験時間

1時限目	10:20～11:30(70分)	国語
2時限目	13:00～14:10(70分)	英語

*当日は、9:50までに所定の試験室に入室してください

出願資格

次のいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2026年2月2日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

インターネット出願をご利用ください。

受験生のみなさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

入試制度の特徴・入試日程

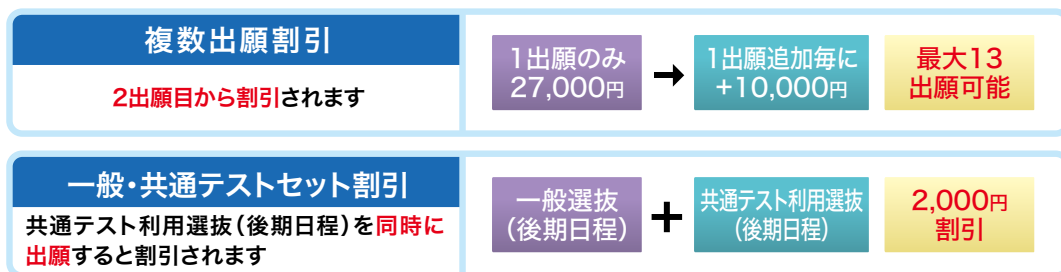
01 学部・学科間で併願が可能

すべての学部・学科に出願できる併願制です。
1回の受験で最大13の学部・学科に出願できます。
共通テスト利用選抜（後期日程）との併願も可能です。

02 全学部、2科目で入試を実施

試験の結果と出身学校調査書で多面的・総合的に評価・判定します。
試験科目は全学部共通で、英語と国語の2科目で実施します。

03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度（詳細は102ページ）



割引制度は、1度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。
追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

配点

*必ず2科目を受験してください

商学部

商学科／経営学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

人文学部

社会学科／教育学科／英語英文学科

英語 150点 + 国語 100点 = 250点満点

法学部

法律学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

経済科学部

現代経済学科／経済情報学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

人間環境学部

人間環境学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

健康科学部

心理学科／健康栄養学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

国際コミュニティ学部

国際政治学科／地域行政学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

試験内容

受験	教科	試験科目	出題範囲	時間
必須	外国語	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	70分
必須	国語	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）	70分

全学部共通事項

受験上の注意は109ページを参照してください。

1. 試験地

広島修道大学(本学)キャンパス

＜注＞試験会場の下見はできますが、建物内に入ることはできません。本学キャンパスの詳細については、39ページをご覧ください。

2. 選抜方法

英語、国語の合計得点および出身学校調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。

なお、筆記試験で合否ラインの得点帯の受験生については、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、筆記試験の得点に加点したうえで合否判定します。加点する点数は、0点・1点・2点の三段階で評価します。評価する出身学校調査書の記載事項は、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録(生徒会、学校行事の活動)、指導上参考となる諸事項(学習における特徴等、行動の特徴、特技等、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等、取得資格・検定、表彰・顕彰等の記録)等です。

3. 入学検定料

1出願で、27,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス10,000円となります。

(1回の受験で最大13の学部・学科に出願可能)

共通テスト利用選抜(後期日程)を同時に出願すると、一般・共通テストセット割引の対象となり、入学検定料が2,000円割引されます。

＊提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

＊前期日程を受験された方で、補欠者の繰り上げ合格等により後期日程の受験をとりやめても、入学検定料は返還いたしません。

4. 出願期間・出願方法

出願は、インターネット出願でのみ受け付けます。

【出願期間】2026年2月13日(金)～2月25日(水) ※出願初日のみ8:45～受付開始

(1) インターネット出願で出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)

(2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)

(3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)

※インターネット出願での出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

＊出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。

その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

5. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。

インターネット出願からダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

写真票はカラー印刷し、当日持参してください。

(1) 出願シート

(2) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)

※後期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。合格証書ではありませんのでご注意ください。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。



6. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2026年2月2日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

7. 感染症（インフルエンザなど）について

試験日当日に感染症（インフルエンザやはしかなど）にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。

8. 合格発表

(1) 合格発表日：2026年3月14日(土) 10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。

なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、3月18日(水)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

(2) 合格確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの可否照会画面から可否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。

(3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合、以下の要領で追加合格を通知します。

■ 1回目：2026年3月24日(火) 10:00～(予定)

■ 2回目：2026年3月27日(金) 10:00～(予定)

追加合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

【注意点】

① 本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。

② 追加合格は、欠員が充足した時点で終了します。

* 「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。

* 合格発表および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

9. 入学試験成績（一般選抜）の開示について

本学では、希望者（受験者本人）に対して、入学試験の成績を次のように開示します。

(1) 受付期間／2026年4月6日(月)～4月17日(金)

(2) 開示する入試制度および内容

＜一般選抜＞ 個人入試科目別（選択科目得点調整後）成績

(3) 開示対象者

一般選抜を受験して不合格となった者

(4) 開示手続きについて

① 入試成績開示申請の受付

成績開示希望の旨を上記期間内に、本学入学センターに申し出てください。申し出を受けて、本学より「入試成績開示申請書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ、上記期間内に提出してください。

郵送で提出する場合、封筒に「入試成績開示申請書在中」と明記し、本学入学センター宛に郵送してください。**締切日必着ですので、郵送に要する日数を確認し、申し出てください。**受付期間最終日またはその前日に申し出た場合、開示ができなくなることがあります。

② 入試成績の開示

入試成績開示を許可した者に、「入試成績開示決定通知書」を発送します。

入試成績開示は、受験生本人（代理は不可）であることを確認のうえ、本学（入学センター）で行います。

受験票および本人が確認できる書類を持参してください。



インターネット出願

共通テスト利用選抜 (後期日程)

試験日・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間 ※一括手続のみ
全学部 全学科	《インターネット出願受付》 2026年 2/13(金)～2/25(水) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	※本学での個別学力 検査はありません 大学入学共通テスト 2026年 1/17(土)・1/18(日)	2026年 3/14(土)	2026年 3/16(月)～ 3/23(月) 締切日必着

出願資格

次のいずれかに該当する者で令和8年度大学入学共通テスト(2026年1月17日(土)、18日(日)に実施)において本学が指定する教科・科目を受験する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2026年2月2日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。



インターネット出願をご利用ください。

受験生のみなさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

入試制度の特徴・入試日程

1月に実施される大学入学共通テストの成績と出身学校調査書で多面的・総合的に評価・判定する入試です。

本学での個別学力検査はありません。2月中旬から出願が始まるため、それまでの受験結果に応じての出願が可能です。

一般選抜(後期日程)との併願も可能です。

01 大学入学共通テストの成績を利用

大学入学共通テストに出願し、2026年1月17日(土)・18日(日)に実施される試験を受験してください。

大学入学共通テストにおいて、必ず本学が指定した科目を受験してください。

02 全学部・学科の併願が可能

7学部13学科すべての学部・学科で併願が可能です。(最大13出願可能)

03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

複数出願割引

2出願目から割引されます

1出願のみ
15,000円



1出願追加毎に
+5,000円

最大13
出願可能

一般・共通テストセット割引

一般選抜(後期日程)を
同時に**出願**すると割引されます

一般選抜
(後期日程)



共通テスト利用選抜
(後期日程)

2,000円
割引

割引制度は、一度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。

追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

POINT

みなし得点

**「英語」の資格・検定試験で基準を満たせば、
「英語」の得点を満点の8割または満点にします。**

本学が指定する**英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて「大学入学共通テストの英語の得点」に換算。**

合否判定には、**大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。**

英語の資格・検定を利用する場合、共通テストの「英語」の受験は任意とし、受験していない場合は、みなし得点を合否判定に使用します。

英語資格の得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)(CBTタイプ可)	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※英検は、従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にする。

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

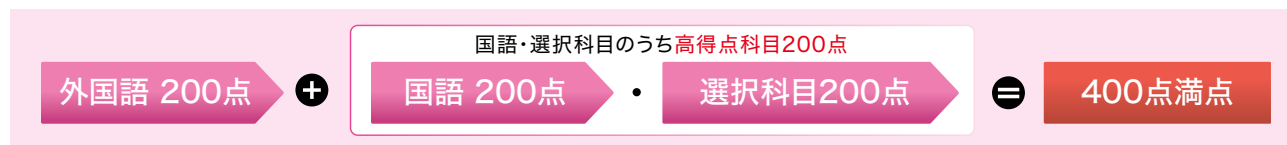
※TOEICは、S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを使用する。

全学部・全学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された**2科目**を受験してください



試験内容

受験	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	200点	「英語」はリーディング100点・リスニング100点 ※英語英文学科のみ、外国語は「英語」に限定する
選択科目1科目	国語	「国語」近代以降の文章および古典(古文,漢文)	選択科目 1科目 200点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する (100点の科目は200点に換算)
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」 「歴史総合,日本史探究」 「歴史総合,世界史探究」 「公共,倫理」「公共,政治・経済」 「地理総合/歴史総合/公共」		
	数 学 ①	「数学I,数学A」「数学I」		
	数 学 ②	「数学II,数学B,数学C」		
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」		
	情 報	「情報I」		
合 計			「外国語」+「選択科目1科目」の2科目合計 400点満点	



全学部共通事項

1. 選抜方法

大学入学共通テストの得点および出身学校調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。

2. 入学検定料

1出願で15,000円です。**2出願目以降は、1出願追加毎にプラス5,000円となります。**

※全学部・学科に併願可能です。
一般選抜(後期日程)を同時に出願すると、一般・共通テストセット割引の対象となり、入学検定料が2,000円割引になります。

(例) 2出願	20,000円
3出願	25,000円

*提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

*前期日程を受験された方で、補欠者の繰り上げ合格等により後期日程の受験をとりやめても、入学検定料は返還いたしません。

3. 出願期間・出願方法

出願は、インターネット出願でのみ受け付けます。

【出願受付期間】2026年2月13日(金)～2月25日(水) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) インターネット出願で出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
- (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
- (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)。

※インターネット出願での出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。
インターネット出願からダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

- (1) 出願シート(所定欄に大学入学共通テスト成績請求票を貼付) ※カラー印刷
- (2) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)
- (3) 資格・検定等の証明書(写)(英語資格を利用する方のみ)

※後期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。
合格証書ではありませんのでご注意ください。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2026年2月2日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

6. 合格発表

(1) 合格発表日: 2026年3月14日(土) 10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。

なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、3月18日(水)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

(2) 可否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの可否照会画面から可否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。

(3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合、以下の要領で追加合格を通知します。

■ 1回目: 2026年3月24日(火) 10:00～(予定)

■ 2回目: 2026年3月27日(金) 10:00～(予定)

追加合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

【注意】

① 本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。

② 追加合格は、欠員が充足した時点で終了します。

*「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。

*合格発表および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。



インターネット出願

総合型選抜

入試制度の特徴

01 広島修道大学入学を第一志望とする専願入試

広島修道大学で学びたいという意思を強く持つ方が対象です。
合格した場合には入学する意思を明確に持っていることが出願条件になります。
2つ以上の学部・学科・方式は併願できません。

02 自己推薦で自分の能力・特技をアピール

自己推薦で受験できる入試制度です(学校長の推薦は必要ありませんが、出身学校調査書は必要です)。
出願資格や選抜方法は学部・学科によって異なりますのでよく確認してください。

03 合格者には本学独自の入学準備学習プログラムを用意

大学生活へのスムーズなスタートを目的として、独自の入学準備学習プログラムを実施します。
合格後、入学までに行う学習で、「キャンパス学習」と「通信課題学習」で構成されています。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科・方式		募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》						
								一括手続	分割手続					
商 学 部	商 学 科	活動実績重視方式	23名	《インターネット出願受付》 2025年 9/24(水)～ 10/3(金) ※出願初日のみ 8:45～受付開始 ※最終日の登録は 15:00まで、 検定料入金は 16:00まで 締切日消印有効	2025年 10/25 (土)	広島 (本学)	2025年 11/1(土)	2025年 11/5(水)～ 11/14(金) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 11/5(水)～ 11/14(金) 締切日消印有効					
		小論文重視方式												
	経営学科	活動実績重視方式	20名											
		小論文重視方式												
人 文 学 部	社 会 学 科		9名							10/26 (日)				
	教 育 学 科		12名											
	英語英文 学 科	課 題 図 書 方 式	15名											
		課 題 探 究 方 式												
法 学 部	法律学科	ゼミナール方式	15名							10/26 (日)				
		スポーツ実績方式	5名											
		芸術・文化実績方式												
経 済 学 部	現 代 経 済 学 科		11名							10/25 (土)			2025年 11/5(水)～ 11/14(金) 締切日消印有効	《第2次入学手続》 2026年 2/24(火)～ 3/3(火)
	経 済 情 報 学 科		11名											
人間環境学部	人間環境 学 科	レ ポ ー ト 方 式	15名		10/25 (土)									
		プレゼンテーション方式												
		活 動 実 績 方 式												
健康科学部	心 理 学 科		5名		10/25 (土)									
	健 康 栄 養 学 科		20名											
国際コミュニティ 学部	国際政治 学 科	課 題 図 書 方 式	14名		10/26 (日)									
		指 定 資 格 方 式												
	地域行政 学 科	課 題 図 書 方 式	14名											
		指 定 資 格 方 式												



TOPICS!

インターネット出願をご利用ください。

受験生のみなさんの出願にかかる時間の負担を軽減します。

本学所定の出願書類は、本学入試情報サイトの出願ページからダウンロードしてください(詳細は106ページ)。

イベントに参加しよう!

来場型イベント「受験生・保護者対象入試説明会」と「オープンキャンパス」を実施します。入試対策に役立つプログラムもありますので、総合型選抜の受験を考えている方は、積極的に参加しましょう。

「受験生・保護者対象入試説明会」「オープンキャンパス」

受験生・保護者対象
入試説明会6/22
(日)オープンキャンパス
第1回7/19
(土)オープンキャンパス
第2回7/20
(日)オープンキャンパス
第3回8/24
(日)

イベントの詳細はP03～P04へ!



総合型選抜の課題・課題図書・テーマを発表!!

総合型選抜では、事前に課題やテーマを発表する学科があります。今年度は受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]以降に発表。本学の入試情報サイトにも掲載します。受験予定の方は、必ずチェックしてください。

■過去の課題

●人文学部 教育学科(課題図書)

- 2025 『勉強の価値』(森博嗣 著/幻冬舎)
2024 『やらかした時にどうするか』(畑村洋太郎 著/筑摩書房)

●人文学部 英語英文学科(課題図書)

- 2025 Alex Raynham and Rachel Bladon, *Global Issues*, Oxford Bookworms
2024 Edith Wharton, *Ethan Frome*, Oxford Bookworms

●人文学部 英語英文学科(課題探究)

- 2025 あなたはTaylor Swiftのメッセージにどう答えますか?

●法学部 法律学科(課題)

- 2025 「わが国において積極的な安楽死は合法化すべきだろうか。そのメリットとデメリットを検討した上で、あなたの考えをまとめてみよう。」

【参考文献】

『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』(安藤泰至 著/岩波書店)
※その上で、十分な立論のために必要な範囲で、様々な資料に当たってください。例えば、最近の文献としては以下のようなものがあります。(あくまでも例示です。)

『安楽死が合法の国で起こっていること』(児玉真美 著/筑摩書房)

『尊厳死および安楽死を求める権利』(松井茂記 著/日本評論社)

『安楽死・尊厳死の現在』(松田純 著/中央公論新社)

- 2024 「赤ちゃんポストを全国的にも設置すべきか否か、そのメリットとデメリットを踏まえてあなたの考えをまとめてみよう。また、実親により育てられない子の命を救う方法としてほかにどんな方法があるか考えてみよう」

【参考文献等】

『なぜ、わが子を残すのかー「赤ちゃんポスト」10年の真実』(NHK取材班/NHK出版)

『熊本市ホームページ』(「このとりのゆりかご」第5期検証報告についての各種資料)

『法務省・厚生労働省通達』(内密出産制度に関する通達「妊婦がその身元情報を医療機関の一部の者のみに明らかにして出産したときの取扱いについて」)

●経済科学部(講義理解力試験テーマ)

- 2025 「若者はどこに住み、働くのか?」
2024 サッカー観戦チケットのビジネスモデル

●人間環境学部(レポート方式・プレゼンテーション方式のテーマ)

- 2025 「農林水産業が環境に与える影響を一つ取り上げ、私たちはどのように取り組むべきか、あなたの意見をまとめてください」
2024 生活物資の大量生産・大量消費に関する問題の一つ取り上げ、私たちはどのように取り組むべきか、あなたの意見をまとめてください

●健康科学部 心理学科(課題図書)

- 2025 『人間関係ってどういう関係?』(平尾 昌宏 著/筑摩書房)
(筆記試験の出題範囲: 第1章～第7章(コラムを除く))
(集団活動試験の出題範囲: 全て)
2024 『心のなかにどうなっているの? 高校生の「なぜ」に答える心理学』(日本青年心理学会 著/若松養亮 編/福村出版)
(筆記試験の出題範囲: 第3部 第11章～第23章)
(集団活動試験の出題範囲: 全章)

●健康科学部 健康栄養学科(課題レポート)

- 2025 「近年では、食の多様化が著しく、食の外食化や保健機能食品などの活用が増加しています。このような社会において、将来、栄養士・管理栄養士を目指すあなたは、食の多様化についてどのように捉えているか、あなたの考えを述べてください。」
2024 a～gの語から3つ以上を組み合わせ、あなたがこれまでに取り組んできたこと、および大学で取り組みたいことについて標題を付けて述べてください。
[a.食育 b.食品(開発・衛生含む) c.調理 d.生活習慣病 e.運動 f.心理 g.SDGs]

●国際コミュニティ学部 国際政治学科(課題図書)

- 2025 『SDGs時代の国際協力』(西村幹子、小野道子、井上儀子 著/岩波書店)
2024 『ロシア点描: まちかどから見るプーチン帝国の素顔』(小泉悠 著/PHP出版)

●国際コミュニティ学部 地域行政学科(課題図書)

- 2025 『街路樹は問いかける』(藤井英二郎、海老澤清也、富内匡、水眞洋子 著/岩波書店)
(出題範囲: 序章、1章、4章、終章から出題いたします。ただし、それらの章の中で述べられている街路樹の剪定に関する具体的な技術や手法については出題いたしません。)
2024 『買い物難民対策で田舎を残す』(村上稔 著/岩波書店)

入学準備学習プログラムについて

総合型選抜に合格し入学手続をされた方を対象に、入学までの期間を利用し、「入学準備学習プログラム」を実施します。このプログラムの目的は、「本学での学びにむけた姿勢や知識を身に付け、入学後の学習をスムーズにスタートできるようになること」であり、大学において対面で実施する「キャンパス学習」と、自宅で課題を学習し提出する「通信課題学習」で構成されています。**合格者は、入学までの期間、入学準備学習に取り組んでください。**詳しい日程・内容等は、合格者に別途送付します。

試験内容

試験内容等	時間	配点
小論文(資料小論文)	10:00～11:00	50点
面接(個別:20分程度) 面接の内容は大きく以下の2つを軸として実施します(各々10分程度)。 ①高校時代に行った「ユニークな活動」を中心とした自己アピールを3分程度で行います。その後それに対する質疑を行います。なお、自己アピールは口頭で行うものとし、メモや情報機器の使用、パフォーマンス、資料の配付は認めません。 ②志望理由、大学在学中に力を入れたいこと、将来の希望、およびそれらに関連する社会・経済などに関する質問をします。	12:00～	50点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	—	100点

配点



選抜方法／記述試験、面接の結果および出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

次の①～②すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にものつ者
 - (2) 次のa～cのいずれかに該当し、かつ下記の募集要件のいずれかひとつを満たす者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む)で、その所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**
- なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。(この出願資格について、その所属する教育施設の教育課程を2025年3月以降に修了した者または2026年3月に修了見込みの者は、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください)

【募集要件】

- ①**スポーツ活動の分野**
スポーツ活動(学内外を問わない)で、高校生として優秀な実績をあげた者(レギュラーとして出場し、県大会8位以上の実績を目安とします)
- ②**文化・芸術・学問活動の分野**
文化・芸術・学問の分野(学内外を問わない)で、高校生として優秀な実績をあげた者(団体競技参加の場合、県大会入賞以上の実績を目安とします)(個人競技参加の場合、250名にひとりの割合で選出される実績を目安とします)
- ③**生徒会活動の分野**
所属する高校の生徒会活動において、中心的な役割(会長・副会長・書記等)を果たした者。生徒会役員(委員長等)およびクラス代表以上の役職を、1年間以上務めた者を目安とします。
- ④**ボランティア活動の分野**
ボランティア活動を継続して行った者。ただし、活動は必ず自発的なものでなくてはならず、高校の活動の一環として行われたもの(例えば学校行事としての地域清掃)は含みません。また、活動は社会的なものでなければならず、家庭内や親族に対して行った活動(老人・病人に対する介護・看病等)は含みません。

⑤海外留学等活動の分野

高等学校等在学中に海外留学等経験がある者(3週間以上の海外留学等の経験がある者を目安とします)

⑥その他活動の分野

上記①～⑤のいずれの分野にも該当しないが、上記実績に相当する活動実績をあげた者

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,500字程度)
以下の①～④の内容を盛り込んで、まとめてください。なお、内容の順序は問いません。
 - ①商学科または経営学科を志望する動機、理由
 - ②高校時代に活動したことで学んだもの、身についたもの
 - ③将来の進路
 - ④広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)
 - d. 活動報告書(該当する分野の全てに記入、作成してください)
 - e. 活動実績を裏付ける客観的資料
新聞記事、大会・コンクール等の冊子、印刷物、賞状等の写しを提出してください。本人の出場・参加が確認できる資料(例えばスコアブック等)も添付してください。**資料はA4判にして提出してください。**
- (注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

試験内容等	時間	配点
小論文(資料小論文)	10:00~11:30	120点
面接(集団) 高校時代に力を入れたこと、志望理由、大学在学中に力を入れたいこと、将来の希望、およびそれらに関連する社会・経済などに関する質問をします。	12:30~	40点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	—	40点

配点

小論文120点 + 面接(集団)40点 + 出願書類40点(志望理由書・活動報告書) = 200点満点

選抜方法／記述試験、面接の結果および出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 社会情勢にいつも関心を持つこと

毎日、新聞の一面や国際面に目を通したり、ニュース番組を見たりするようにしましょう。経済やビジネスばかりでなく、政治や社会の動きにも注意。

2 自分の頭で考え、自分の言葉で語れること

1で知ったことについて自分なりにまとめて、自分の感想を書いてみましょう。文章にすることは自分の考えを整理する上で効果的です。

3 自分の知識を増やし、自分の考えを鍛えること

2ができるようになるために、新聞などに載る専門家のコメントや論説を読んだり、ニュース解説・特集番組を見たりして参考にしましょう。

4 自分の将来の夢を持つこと

将来自分がこうなりたいというイメージを育て、人に明確に伝えられるようにしましょう。「夢」は生きてゆく上で、強力なパワーになります。

出願資格

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもの者
- (2) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**
- (3) 学内における課外活動において継続して活動を行った者または、その他の活動を行った者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。(この出願資格について、その所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**は、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください)

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,500字程度)
以下の①~④の内容を盛り込んで、まとめてください。なお、内容の順序は問いません。
 - ①商学科または経営学科を志望する動機・理由
 - ②高校時代に活動したことや学んだもの、身についたもの
 - ③将来の進路
 - ④広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)
 - d. 活動報告書(該当する分野の全てに記入、作成してください)
- (注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

試験内容等	時間	配点
課題小論文 課題資料に関する設問：各50点。 課題資料はオープンキャンパスで配付します。 ※参考資料として、試験当日課題資料を配付します。（英和辞典持込可、電子辞書持込不可）	10:00～12:00	100点
面接(集団) *出願書類にもとづき行います。	13:30～	100点

配点

課題小論文100点

+

面接(集団)100点

=

200点満点

(出願書類を加味します)

選抜方法／出願書類・面接、課題に関する試験の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 身の回りのさまざまな出来事に広く関心を持つ

テレビ、新聞、雑誌などの世の中のニュースや出来事はもちろんのこと、自分の身近なところで起こっている出来事や問題など、さまざまな事象に好奇心を持って接しましょう。

2 関心を持ったことを徹底的に調べる

興味を持った事象や出来事に関して、本を読むことは大変重要です。また、本を読むだけでなく、実際に街や現場に出かけ、自分で観察し経験しつつ考えることも大切です。

3 常識にとらわれず、多角的に物事を見る

自分で集めた情報を基に、既存の価値観や常識にとらわれることなく、多様な視点から考え、これまでと違った「社会の見方」が出来るように心がけましょう。

4 自分の考えを他の人に対して明快に伝える

自分自身の「社会の見方」を他の人たちに理解してもらえよう、データや情報を整理し、論理的に考え、筋道を立てて分かりやすく説明できるように訓練しましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

- 本学人文学部社会学科入学を強く希望し、合格した場合は入学する意思を明確にもつ者
- 次のa～dのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
 - 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- 出願シート(カラー印刷)
- 出身学校調査書
- 志望理由書
学業以外に関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、社会学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。(1,000字程度)
- 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a, cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。



総合型選抜

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表!試験日
10/26(日)

人文学部

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES



教育学科

試験内容

試験内容等		時間	配点
筆記試験	課題図書の内容の読解、要約、分析、論述の能力を問います。課題図書の持ち込みは不可とします。	10:00～10:45	100点
集団討論	少人数のグループに分かれ、課題図書の内容から出題されるテーマについてお互いに意見を出し合いながら合意形成を図ります。課題図書の持ち込みは不可とします。	11:00～12:00	70点
面接(個別)	課題図書に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。	13:30～	30点

配点

筆記試験100点

+

集団討論70点

+

面接30点

=

200点満点

選抜方法／筆記試験、集団討論、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 課題図書を熟読しましょう。

まずは課題図書の内容の理解に努める必要があります。その際、文章の構成を把握することを心がけてみましょう。目次や見出し、キーワードに着目し、節・段落ごとに内容をまとめ、それらを図示することが効果的です。

2 考えながら読みましょう。

筆記試験の論述問題や集団討論では論理的・教育的な考えをもつ必要があります。自身で「問い」を立てて読むことを心がけてみましょう。図書の内容をすべてうのみにせず、著者の考えを批評するという「著者と対話する」意識が重要です。

3 自身の考えを他者に伝える経験を積みましょう。

集団討論では合意形成(意見の一致)を図ります。その際、自身の意見をわかりやすく述べる必要があります。自身の考えを文字に起こすなどして推敲した上で他者に伝えて、フィードバックを受けてみましょう。

4 ディスカッションの経験を積みましょう。

集団討論では、他者の発言に耳を傾ける、質問する、意見をまとめるなど、合意形成を目指す言動が必要となります。また、議論の進行や多様な意見に合わせて自身の考えの中から適切な意見を選んで発言する必要もあります。授業や課外活動でこれらを心がけてみましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

- (1) 本学人文学部教育学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa～dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者で高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,200字程度)
これまでに学業以外で特に関心を持って取り組んできたこと(海外留学なども含む)を関連させながら教育学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
 - d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
- (注)a, cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表!

試験内容

試験内容等		時間	配点
英語力試験 課題図書をあらかじめ提示し、それを出題範囲として文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテストを実施します。	文章構成力(ライティングを含む)・ 読解力・リスニングテスト	10:00~11:10	100点
面接(個別) 課題図書に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。 また、面接には課題図書の一部の音読を含みます。		12:30~ (1人15分程度)	50点

配点

英語力試験 文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテスト 100点 + 面接(個別)50点 = 150点満点
※課題図書の音読を含む

選抜方法／英語力試験、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 文法を意識する

英文の文型を正確に把握しましょう。また動詞の形(時制・仮定法など)から、その意味を確実にとらえましょう。

2 文章の流れをとらえる

文脈情報を活用し、それぞれの指示詞の内容をとらえ、ストーリーや論理の流れを理解しましょう。

3 和訳の練習をする

実際に訳文を書く練習をしておきましょう。分かったつもりでもいざ訳すとなると意外にできないものです。

4 音読の練習をする

音とイントネーションに気をつけながら、英語を声に出して読んでみましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

(1) 本学人文学部英語英文学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa~dのいずれかに該当する者

- a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
- b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
- d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(800字程度)
- d. 活動報告書
 - ① 高校時代、あなたはどのような活動をしてきましたか。生徒会、クラブ活動、ボランティア活動、地域活動、海外留学などを自由に、その内容を記入してください。
 - ② 各種英語技能検定試験および特別な能力や技能・資格を修得している場合は、それを記入してください。
 - ③ その他、自分の得意なこと、自分の長所などを自由に書いてください。
- e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。



受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
探究課題発表!



人文学部

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES



英語英文学科

課題探究方式

試験日

10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
英語力試験 レポート(日本語2,000字以内あるいは英語1,000ワード以内) ショートスピーチ(英語) … 英語のショートスピーチ試験を2分程度実施します。あらかじめ提示された探究課題について自由に話してください。また、ショートスピーチの後、英語での質疑応答があります。	ショートスピーチ (英語)	10:00～ (質疑応答を含め 5分程度)	100点
面接(個別) 探究課題に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。 また、面接には探究課題に関する資料(課題資料)の一部の音読を含みます。		12:30～ (1人15分程度)	50点

配点

英語力試験 レポート、ショートスピーチ(英語) 100点 + 面接(個別)50点 = 150点満点

※課題資料の音読を含む

選抜方法／英語力試験、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

探究課題は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 探究課題について調べる

書籍、雑誌、新聞、インターネットなどで情報収集し、自分の考えについてメモを集めましょう。

2 意見をまとめる

自分の印象や経験を世界の出来事の中に位置づけ、客観的な情報に基づき、意見をまとめましょう。

3 レポートは分かりやすく

何を伝えるかを整理しましょう。伝える順序、伝え方を工夫し、分かりやすいレポートを作成しましょう。

4 英語で話す練習をする

高校の先生、友人、家族などに自分の英語を聞いてもらい、質問に英語で答える練習しましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

(1) 本学人文学部英語英文学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確に持つ者

(2) 次のa~dのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者

b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者

c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)

d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- 出願シート(カラー印刷)
- 出身学校調査書
- 志望理由書(800字程度)
- 活動報告書

- 高校時代、あなたはどのような活動をしてきましたか。生徒会、クラブ活動、ボランティア活動、地域活動、海外留学などを自由に、その内容を記入してください。
- 各種英語技能検定試験および特別な能力や技能・資格を修得している場合は、それを記入してください。
- その他、自分の得意なこと、自分の長所などを自由に書いてください。

e. レポート

- あらかじめ提示された探究課題について、図書、雑誌、新聞、インターネット等で調べ、日本語2,000字以内あるいは英語1,000ワード以内のレポートを作成してください(レポート末尾に本文の文字数あるいは語数を記載してください)。試験当日、このレポートに関し、質疑応答を実施します。
- レポートはA4判用紙を使用してください(パソコン等の使用可)。
- レポートの冒頭に議題、氏名を明記してください。図表を使用する場合、図表は文字数に含めません。
- レポートは、2025年10月3日(金)(消印有効)までに入学センターに郵送してください(提出後の訂正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。

f. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a, c, dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題および参考文献、参照物の詳細発表!



法学部
THE FACULTY OF LAW

法律学科

ゼミナール方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
ゼミナール	課題について、参考文献等をもとに事前に自己の見解をまとめ、ゼミナール報告要旨を作成します。ゼミナールでは、報告要旨にもとづいて自己の見解を説明した後、集団討論を行います。ゼミナールでは、参考文献等(参照物)を利用することができます。(見解説明1人あたり5分・集団討論45分)	10:00~	100点

※ 試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

ゼミナール(見解説明+集団討論) 100点



100点満点

選抜方法／出願書類、ゼミナール報告要旨、自己の見解説明および集団討論の状況にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

ゼミナール方式では、課題について事前に作成した報告要旨にもとづいて自己の見解を説明した後、集団討論を行います。課題および参考文献、参照物の詳細等については、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 試験当日の進行や評価のポイントについては、本学入試情報サイトでの説明に加えて、入試説明会、オープンキャンパスでの関連する企画等への参加や個別相談の利用が参考になるので、これらのイベントに参加することを強くお勧めします。

2 あらかじめ発表される総合型選抜の課題について、各自で事前に学習を行い、それをふまえて自己の見解をゼミナール報告要旨(A4用紙1枚・本学所定の用紙)に適切にまとめましょう。

3 ゼミナールでは、冒頭に各自が5分ずつ、事前に作成したゼミナール報告要旨にもとづいて自己の見解説明を行います。見解説明では、報告要旨を使いながら自分の考えを適切にまとめて報告する能力が評価されます。

4 各自の見解説明の後、大学教員の司会で集団討論を行います。集団討論では、積極的な発言、教員の質問や他の人の意見に対する確かな応答、発言の論理性などが評価されます。

出願資格

ゼミナール方式

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了(2026年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)この出願資格については2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

ゼミナール方式

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(日本語800字程度)
これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。
 - d. ゼミナール報告要旨(A4用紙1枚)
課題について参考文献等をもとに事前に自己の見解をまとめ、ゼミナール報告要旨を作成してください。
 - e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
- (注) a, c, dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。ゼミナール報告要旨をパソコンで作成する場合は、原稿を所定用紙の枠内に直接印字または貼付してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、試験に活用します。

ゼミナール方式、スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式共通

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。(法律学科全方式共通)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	活動報告書	—	50点
社会問題についての小論文・面接(個別)	*面接は出願書類にもとづき行います。出願書類「社会問題についての小論文」のコピー(面接時に配付)を参照できます。このコピーは面接終了時に回収します。	10:00~	50点

※ 試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

活動報告書50点 + 社会問題についての小論文・面接(個別)50点 = 100点満点

選抜方法／出願書類および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

スポーツ実績方式および芸術・文化実績方式では、公認部活動団体の活動において挙げた成績および日々の練習状況をあわせて50点、現代社会に対する問題意識およびこれに関する面接をあわせて50点の100点満点で評価します。

- 試験当日の進行や評価のポイントについては、入試情報サイトでの説明に加えて、入試説明会、オープンキャンパスでの関連する企画等への参加や個別相談の利用が参考になるので、これらのイベントに参加することを強くお勧めします。
- 毎日、新聞などを読み、現在の社会で何が起きているのかをチェックしておきましょう。異なる観点からさまざまなことが述べられているはずです。できるだけ多くの記事をスクラップし、自分なりにまとめてみましょう。
- とくに自分が興味や関心を抱いた事柄については、関連する文献などを探しこれらもまとめておきましょう。スポーツ活動や芸術・文化活動で培った根気強さを生かし、「読む」「書く」習慣を入学前につけておきましょう。
- 面接試験では、「話す」「説明する」ことが求められます。自分がやってきたスポーツ活動や芸術・文化の活動・社会問題に関する調査研究などを正しく簡潔に説明できるようにしておきましょう。
- スポーツ活動や芸術・文化活動の実績は、これを証明する書類(賞状・新聞記事など)のほかに、顧問の先生等に証明をしていただく必要があります。過去の記録などをよく整理しておいてください。

出願資格

スポーツ実績方式

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 高等学校または中等教育学校後期課程の公認部活動団体のスポーツ活動において優秀な実績をあげた者で、次のa~cのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了(2026年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

(注1)この入試制度の選考対象となるスポーツ活動は、硬式野球、軟式野球、体操競技・新体操、水泳、陸上競技、サッカー、フットサル、アメリカンフットボール、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、卓球、ソフトボール、ローイング、ヨット、ボクシング、レスリング、柔道、空手道、剣道、弓道、アーチェリー、駅伝、ラグビー、スキー、スケート・アイスホッケー、なぎなた、登山、少林寺拳法、スカッシュ等とします。

(注2)注1にあげたもの以外に、次のa~cのいずれかに該当する競技も、この入試制度の選考対象とします。

- 全国高等学校総合体育大会における開催競技
- 全国高等学校体育連盟に競技専門部を持つ競技
- 国民体育大会における開催競技(過去3年間に1回以上、正式競技、公開競技、デモンストレーションとしてのスポーツ行事のいずれかに選ばれたもの)

(注3)出願を希望する競技(スポーツ活動)が選考対象となるものかどうかについては、2025年9月8日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。この期限を過ぎた問い合わせには応じられません。

芸術・文化実績方式

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 高等学校または中等教育学校後期課程の公認部活動団体の芸術・文化活動において優秀な実績をあげた者で、次のa~cのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

- 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了(2026年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- (注1)この入試制度の選考対象となる芸術・文化活動は、演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠刺繍舞、郷土芸能、マーチングバンド・パントフリン、ダンスドリル、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首競技かるた、新聞、文芸、自然科学等とします。
- (注2)出願を希望する芸術・文化活動が選考対象となるものかどうかについては、2025年9月8日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。この期限を過ぎた問い合わせには応じられません。

出願書類

スポーツ実績方式／芸術・文化実績方式

- 出願シート(カラー印刷)
 - 出身学校調査書
 - 志望理由書(日本語800字程度)
これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。
 - 活動報告書
これまでのスポーツ活動または芸術・文化活動についての実績を記入してください。この報告書は、顧問の先生等その活動を証明できる方の署名、捺印が必要です。
 - 活動実績を証明する資料(賞状、新聞記事、大会パンフレット(抜粋)のコピーなど)をA4判にして提出してください。
 - 社会問題についての小論文(日本語800字程度)
あなたが考える社会問題について日本語800字程度にまとめてください。
- (注) a、c、d、fは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類d・fは採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
講義テーマ発表!



経済科学部
THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES



現代経済学科



経済情報学科

試験日

10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
講義理解力試験 講義(ビデオ等を使用することもある)を聴き、その内容が理解できたか、簡単な試験を行います。 試験は講義で配布する資料およびメモ用紙を持ち込んでよいこととします。	10:00~12:00 講義 50分程度 試験 50分程度	100点
面接(個別) 主に、次の2点に関して面接を行います。 ①経済科学部現代経済学科または経済情報学科を志望する理由 ②高校時代に行ったユニークな活動 面接は質疑応答の形式で行います。メモ(A4用紙1枚)を持ち込んでよいこととします。	13:00~ (20分程度)	50点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	—	50点

配点

講義理解力試験
100点

+

面接(個別)
50点

+

出願書類(志望理由書、活動報告書)
50点

=

200点満点

選抜方法／講義理解力試験、出願書類および面接にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

講義テーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 日頃から経済問題に関心を 持ちましょう

日頃から新聞やテレビのニュースなどから経済問題に触れる機会を増やしておきましょう。疑問を感じたならば、すぐに調べる習慣をつけることも知識を蓄えていくうえで重要なことです。

2 調べるとしても… どうやって?

入試説明会・オープンキャンパスでは、経済科学部の先生がブースにいますので、遠慮せずに質問してみてください。的確なアドバイスはもちろん、総合型選抜に役立つヒントを与えてもらえるかもしれません。

3 問題の相互関係について 考えよう

ひとつひとつの問題は、まったく独立に発生しているのではなく、意外と相互関係がある場合が多いものです。今調べている問題はこれまで自分が調べた問題と何らかのつながりがないか考えてみましょう。

4 調べたことをまとめよう

調べたことをまとめる習慣をつけておきましょう。自分の言葉で文章にすることにより、さらに理解が深まります。できれば、書いた文章を先生や友人に読んでもらい自分の言いたいことが相手に伝わっているかチェックしておくとかんべきです。

講義理解力試験について

1 講義理解力試験は、特に準備は要りません。よくわかる」と評判の先生が、丁寧に講義します。真剣に聴けば、さっとよくわかります。音声が、学校の授業を、よく聴いて、しっかり理解するよう努力しましょう。

2 試験には講義で取ったメモを持ち込むことができます。講義を聴きながら、しっかりメモを取りましょう。赤青黄など、色鉛筆(カラーマーカー)もあると、もしかしたら役に立つかも?

面接について

1 面接では、特に「これまでにに行ったユニークな活動」を話してください。活動の種類や内容は、特に限定しません。緊張することなくしっかり「自己推薦」してください。

2 面接には、メモ(A4サイズ1枚、両面使用可)を持ち込むことができます。けれども、メモを「読む」のはダメです。必要な時だけ「見る」ようにしましょう。熱心であることを伝えることができれば、合格が近づきます。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- 1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確に持つ者
 - 2) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- ただし、a、b、cいずれの場合も、英語・国語・数学いずれか1教科の学習成績の状況が**3.7**以上の者は、全体の学習成績の状況が**3.3**以上でよい。
- なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、その所属する教育施設(修了見込みの者)を2025年3月以降に修了した者または2026年3月に修了見込みの者は、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(800字程度)
経済科学部現代経済学科または経済情報学科を志望する理由を説明してください。
 - d. 活動報告書(これまでのユニークな活動について報告してください)
この報告書は、**顧問の先生等その活動を証明できる方の署名、捺印が必要です。**
 - e. 活動実績を証明する資料(資料は**A4判にしてください**)
dの活動を証明する書類(新聞記事、大会・コンクールの冊子、印刷物等)の写しを提出してください。
- (注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
- 出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。



受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
共通のテーマ発表!



試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
	レポート(3,000字以内) ※本文の文字数についてレポート末尾に記入してください。	—	100点
筆記試験	共通のテーマに関連する基礎的な知識を問います。なお、レポートの持ち込みは不可とします。	10:00~10:30	50点
レポートに関する 質疑応答審査	事前に提出したレポート内容についての教員による質疑への応答(15分程度)をもって審査します。なお、レポートの持ち込みは不可とします。	11:00~ (質疑応答15分程度)	40点

配点



選抜方法 レポート、質疑応答審査、筆記試験、志望理由書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

共通のテーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 共通のテーマについて調べましょう。

- 共通のテーマに関連する本を読んだり、ニュース、報道番組を見て、その内容をメモにまとめてみましょう。
- 自分の意見をまとめてみましょう。

2 自分の考えを正確に伝える工夫をしましょう。

- 自分の意見を自分の言葉で表現できるようにしましょう。
- 自分の意見と他の意見の違いや、自分の意見の根拠が説明できるようにしておきましょう。

3 レポートを作成しましょう。

- 担任の先生、友人、家族に自分の意見を聞いてもらいましょう。
- 聞いてくれた人からの質問に答えられる練習をしましょう。
- それをレポートとしてまとめてみましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 次のa~cのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- 出願シート(カラー印刷)
 - 出身学校調査書
 - 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
 - レポート
 - あらかじめ提示された共通のテーマについて、図書、雑誌、新聞等で調べ、3,000字以内のレポートを作成してください。また、本文の文字数について、レポートの末尾に記入してください。
 - 試験当日、このレポートに関し、教員による質疑応答を実施します。
 - レポートの冒頭に論題、氏名を明記してください。なお、図表を使用する場合、この図表は文字数に含めません。
 - レポートは、2025年10月3日(金)までに(消印有効)、入学センターに郵送してください(提出後の修正は、一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。
- (注) a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
共通のテーマ発表!



人間環境学部

THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES



人間環境学科

プレゼンテーション方式

試験日

10/25(土)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
筆記試験	共通のテーマに関連する基礎的な知識を問います。なお、プレゼンテーション資料の持ち込みは不可とします。	10:00~10:30	50点
プレゼンテーション 審査	あらかじめ提示されたテーマについて、所定の時間でプレゼンテーション(5分程度)を行い、その後、教員による質疑への応答(10分程度)をもって、審査します。	11:00~ (15分程度)	140点

配点

出願書類(志望理由書)
10点

+

筆記試験
50点

+

プレゼンテーション審査
140点

=

200点満点

選抜方法／プレゼンテーション審査、筆記試験、志望理由書および出身学校調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

共通のテーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。
本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 共通のテーマについて調べましょう。

- 共通のテーマに関連する本を読んだり、ニュース、報道番組を見て、その内容をメモにまとめてみましょう。
- 自分の意見をまとめてみましょう。

2 分かりやすい発表資料を作りましょう。

- 調べたことやデータを整理し、原稿を作りましょう。
- 発表時間を考え、話す分量や図表の見やすさを工夫しましょう。

3 プレゼンテーションの練習をしましょう。

- 担任の先生、友人、家族に発表を聞いてもらいましょう。
- 聞いてくれた人からの質問に答えられる練習をしましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
 - d. プレゼンテーション資料
 - ① あらかじめ提示された共通のテーマについて、パソコン(マイクロソフト社パワーポイント)、模造紙、画用紙を使って、発表を行います。
 - ② プレゼンテーション方法について、志望理由書の所定の欄(最下段)に、志願者が実施するプレゼンテーションの方法を具体的に記入してください。
 - ③ プレゼンテーション資料の1枚目に論題、氏名を明記してください。
 - ④ 発表に使用するパワーポイントのファイルを保存したUSBメモリ、模造紙、画用紙等は2025年10月3日(金)までに(消印有効)入学センターに郵送してください(提出後の修正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。
- (注) a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
共通のテーマ発表!



人間環境学部

THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES



人間環境学科

活動実績方式

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
	活動実績書・活動実績証明資料	—	100点
筆記試験	共通のテーマに関連する基礎的な知識を問います。レポート、プレゼンテーションは課しません。	10:00~10:30	50点
面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	11:00~(15分程度)	40点

配点



選抜方法／活動実績、筆記試験、面接、志望理由書および出身学校調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 環境問題と持続可能性について調べましょう。

- 環境問題だけではなく最近話題の「SDGs」についても普段から関心を持つようにしましょう。

2 読解力を養いましょう。

- 文章を読み解き、その意図や背景についても理解するよう努力しましょう。

3 表現力を身につけましょう。

- 自分の考えを自分の言葉で筋道をたてて表現できるようにしましょう。

出願資格

次の①~②すべてに該当する者

- ① 本人人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - ② 次のa~cのいずれかに該当し、かつ下記の募集要件のいずれかひとつを満たす者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

【募集要件】

活動実績書に、募集要件①~⑦のうち、いずれかひとつを選択し記入してください。選択した募集要件においては、もっともその実績をアピールできると考える活動一つを記入してください。

①環境に関する活動

高等学校在学中に、環境保護活動、環境に関するボランティア活動を1年間以上継続し、これらに複数回以上参加した経験がある者。
※ただし、高等学校の活動の一環として行われたものや家庭内や親族に対して行った活動は除きます。

②環境コンテスト

高等学校在学中に、国・地方自治体や環境団体等が実施する環境関連のコンテスト等に中心的な役割を果たして出場した者。なお、高校生として優秀な成績(奨励賞や特別賞等を含む)をあげた者については加点評価します。

③スポーツ活動

文化・芸術・学問の分野で、学内外を問わず、高等学校在学期間を通じて継続的に活動した者。なお、各種団体等主催の試合・競技会等に選手・競技者等として出場し、高校生として優秀な成績をあげた者については加点評価します。

④文化・芸術・学問活動

文化・芸術・学問の分野で、学内外を問わず、高等学校在学期間を通じて継続的に活動した者。なお、各種団体等主催のコンクールやコンテストへ出場し、高校生として優秀な成績をあげた者については加点評価します。学問活動の分野は、高等学校在学中に14日以上海外留学経験を含むものとします。

⑤生徒会活動

高等学校在学中に、生徒会活動で中心的な役割(会長・副会長・書記等)を1年間以上務めた者、またはクラス代表以上の役職を、1年間以上務めた者。

⑥資格取得

高等学校在学中に、各種団体等が主催する資格試験や検定試験等を受験し、合格している者、または高校生として優秀な成績をあげた者。

⑦その他(社会的活動等で自己推薦できるもの)

高等学校在学中にアピールすることができる社会的活動等を継続的に複数回行った者。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(800字程度)
本人人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
- d. 活動実績書
高校時代に勉強と同時にやってきた主要な活動について、その内容を記入してください。
- e. 活動実績を証明する資料
活動実績を証明する資料のコピーをA4判にして提出してください。

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。活動実績書、志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！



健康科学部
THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

心理学科

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
出願書類(志望理由書)	—	20点
筆記試験 課題図書の内容に関連する基礎的な知識を問います。なお課題図書の持ち込みは不可とします。	10:00~10:20	50点
集団活動試験 少人数のグループに分かれ、課題図書の内容から出題される課題についてお互いに意見を出し合いながらその解を導きます。課題図書・自筆のメモ(A4用紙1枚・両面使用可)の参照可とします。なお、この活動時間内に、課題の解ならびにその根拠を示したプレゼンテーション資料を作成します。	10:30~11:50	80点
集団討論 集団活動試験で作成したプレゼンテーション資料にもとづき、グループごとに討論内容のまとめを発表し、質疑応答を行います。	12:00~12:40	50点

配点



選抜方法 出願書類(志望理由書)、筆記試験、集団活動試験、および集団討論の結果に重点を置き、出身学校調査書にもとづく知識等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 課題図書をしっかり読み込みましょう。

筆記試験では主に多肢選択方式によって課題図書の内容に関連する基礎的な知識を問います。一般常識だけでは正解を見つけることは困難でしょう。試験日までに課題図書を繰り返し読み込むことが必要です。

2 自分の意見を積極的に表明する態度を養いましょう。

集団活動試験ではグループディスカッションを通じてあるひとつの課題を解決していきます。自分の意見を積極的に述べることが必要です。ただし「積極的発言＝他者の意見の完全否定」ではないことをココロに留めておきましょう。

3 メモをとる習慣を身につけましょう。

集団活動試験ではディスカッションを行うため、他の人の発言内容や議論の流れを正確に理解することが大切になります。メモを取ることはその役に立ちます。常日頃からメモを取る習慣を身につけ、正しい情報伝達と情報収集心がけましょう。

4 簡潔・明瞭に伝える技術を養いましょう。

集団討論では先の集団活動試験の中で得られた結論をグループごとに紹介し、その内容をもとに議論を進めます。限られた時間の中での議論になります。他者への質問や自らの意見を述べる際は、簡潔・明瞭を心がけましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学健康科学部心理学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,200字程度)
本学健康科学部心理学科を志望する理由および大学卒業後の進路について現在考えていることの2点について説明してください。
 - d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
- (注)a, cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表!



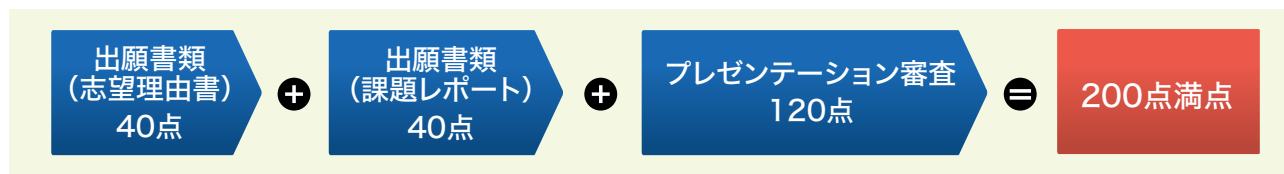
健康栄養学科

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
出願書類(志望理由書)	—	40点
出願書類(課題レポート)	—	40点
プレゼンテーション審査 あらかじめ提示された課題図書の内容から出題されるトピックスについて、所定の時間でプレゼンテーション(3分程度)を行い、その後教員による質疑への応答(12分程度)をもって、審査します。	10:00～ (15分程度)	120点

配点



選抜方法 出願書類(志望理由書、課題レポート)、プレゼンテーション審査、出身学校調査書にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 世の中の状況・動きに 日ごろから関心を持ちましょう。

現在の我が国が抱える健康問題、健康増進の方策、保健・福祉行政の動きなどについて日ごろから関心を持ち、毎日、新聞に目を通すだけでなく、ニュース番組を見たり、雑誌・書籍・ネット等も利用している調べましょう。

2 一つの考えに固執することなく、 様々な方向から考えましょう。

固定観念(一つの考え)に固執すると、それに隠された別の問題や基準を見落としてしまいます。必要ないと思って多少でも関連しそうな情報には必ず目を通し、最後にまとめるまで大事に取っておきましょう。

3 自分で考え、 自分の言葉で語りましょう。

情報をそのまま右から左では十分な理解ができていません。他者の言葉そのままでは相手には伝わりません。自分の頭で考え(整理し)、自分の言葉にすることが、他者に伝えるためには不可欠なステップです。

4 発表の内容を十分に検討し、 質問に対して明確に答えられるよう練習しましょう。

調べたことや考えを整理し、図表等を用いて時間を守った発表ができるようにしましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

- (1) 本学健康科学部健康栄養学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa～dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,200字程度)
本学健康科学部健康栄養学科を志望する理由および大学卒業後の進路について現在考えていることの2点について説明してください。
 - d. 課題レポート(1,200字程度)
 - e. プレゼンテーション資料(A4用紙1枚・片面)
 - ①あらかじめ提出した課題レポートの内容について、A4用紙1枚にまとめたプレゼンテーション資料を使って、発表を行います。
 - ②プレゼンテーション資料の作成にあたっては、パソコン等の使用も可とします。
 - ③図表を転載する場合は、必ず出典を明記してください。
 - ④プレゼンテーション資料は、2025年10月3日(金)までに(消印有効)入学センターに郵送してください(提出後の修正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません。)
 - f. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
- (注) a, c, dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表!

試験内容

試験内容等		時間	配点
小論文	課題図書に関する小論文 *課題図書の読解・要約・分析を求める論述問題や、課題図書に関する基礎的知識を問う設問を出題します。 *課題図書の持ち込み不可。	10:30~12:00	100点
出願書類	志望理由書、自己アピール書	—	10点
面接(個別)	*出願書類にもとづき行います。	13:00~	90点

※ 選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

小論文100点

+

出願書類10点

+

面接(個別)90点

=

200点満点

選抜方法／出願書類、課題図書に関する小論文および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

- 1** 著者の意見やその理由づけなど、課題図書の内容をしっかりと理解しましょう。読むだけでなく、課題図書の内容を、章ごとに文章にまとめたり、家族や友人に説明をしてみましょう。実際に表現をすることで、理解できているかどうかを確認することができます。
- 2** 課題図書を読んでわからなかったことや関心を持ったことを、調べてみましょう。課題図書で取り上げられている問題の背景を、より深く正確に理解することにつながります。また、わからないことを調べる力を伸ばすことができます。
- 3** 課題図書が取り上げる問題や著者の意見に対する、自分自身の意見や考えをまとめてみましょう。文章で書いてみたり、家族や友人に説明することで、自分の意見や考えが伝わるかどうかを確かめてみましょう。
- 4** オープンキャンパスでの「入試対策講座」や「個別相談」を積極的に活用してください。これらに参加することで、総合型選抜では何が求められ、どのように準備をすればよいのかを、より具体的につかんでください。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~eのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - c. 高等専門学校第3学年を修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)
 - d. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)
 - e. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(800字程度)

志望理由書に記載されている1)~4)の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。

*志望理由書に記載する事項

- 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
- 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
- 3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
- 4) 大学卒業後の進路について考えていること。

d. 自己アピール書(600字程度)

*自己アピール書に記載する事項

以下の1)~3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。記入できない項目があれば、空欄のまま結構です。

- 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
- 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
- 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。学力の3要素のうち特に思考力・判断力・表現力および主体性を多面的・総合的に評価します。

試験内容

試験内容等		時間	配点
資格	—	—	100点
出願書類	志望理由書、自己アピール書	—	10点
面接(個別)	*出願書類にもとづき行います。	10:00～	90点

※ 選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

資格100点

+

出願書類10点

+

面接(個別)90点

=

200点満点

選抜方法／面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

次の(1)～(3)すべてに該当する者

- (1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa～eの資格を1つ以上有する者
 - a. ニュース時事能力検定試験 準2級以上
 - b. 世界遺産検定 4級以上
 - c. 実用英語技能検定(英検) 準2級以上
 - d. 英検CSEスコア 1,728点以上
 - e. GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上※オフィシャルスコアに限る
- (3) 次のa～eのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - c. 高等専門学校第3学年を修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)
 - d. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)
 - e. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(800字程度)
志望理由書に記載されている1)～4)の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。
***志望理由書に記載する事項**
 - 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
 - 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
 - 3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
 - 4) 大学卒業後の進路について考えていること。
- d. 自己アピール書(600字程度)
***自己アピール書に記載する事項**
以下の1)～3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。
記入できない項目があれば、空欄のまま結構です。
 - 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
 - 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
 - 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。
- e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
- f. 資格・検定等の証明書(写)
出願資格の証明書等のコピーをA4判にて提出してください。

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。学力の3要素のうち特に知能・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。

全学部共通事項

受験上の注意は109ページを参照してください。

1. 入学検定料

30,000円

2. 出願方法

出願は、インターネット出願でのみ受け付けます。

【出願期間】2025年9月24日(水)～10月3日(金) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) インターネット出願で出願登録する(最終日の登録締切時間は**15:00**)
 - (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は**16:00**)
 - (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、**速達・簡易書留**で早急に郵送してください(**締切日消印有効**)。
- ※インターネット出願での出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

*提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。出願にあたってはよく確認して手続きしてください。

*出願書類の送付は郵送に限ります(締切日消印有効)。

*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

3. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

4. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。

5. 出身学校調査書について(出願前3カ月以内に発行されたもの)

- ① 高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校または通常の課程による12年の学校教育課程在学中の者は、第3学年第1学期までの成績が記入されたもので、学校長が証明し、厳封したものを提出してください。
- ② 高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校または通常の課程による12年の学校教育課程を卒業(修了)した者は、すべての成績が記入されたもので、出身学校長が証明し、厳封したものを提出してください。

③ 高等学校卒業程度認定試験合格者または合格見込みの者は、「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を提出してください。合格証書ではありませんのでご注意ください。

※上記③については、人文学部、法学部(ゼミナール方式)、健康科学部、国際コミュニティ学部のみ。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

6. 合格発表

合格発表日:2025年11月1日(土)10:00(予定)

(1) 合格者には、「**合格通知書**」と「**入学書類類**」を速達で郵送します。なお、「合格通知書」等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、11月6日(木)を過ぎても届かない場合は本学入学センターへ問い合わせてください。

(2) 合否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの合否照会画面から合否結果を確認することができます。詳細につきましては110ページを確認してください。

***合格発表に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。**

7. 入学手続

入学手続について

【一括手続】または【分割手続】のいずれかを選択し、手続をしてください。

【一括手続】 手続期間/2025年11月5日(水)～11月14日(金)(締切日消印有効)

手続内容/(入学金の納入)、(前期分諸納付金の納入)、(インターネット入力)および(手続書類の提出)

【分割手続】 第1次入学手続

手続期間/2025年11月5日(水)～11月14日(金)(締切日消印有効)

手続内容/(入学金の納入)、(インターネット入力)および(手続書類の提出)

第2次入学手続

手続期間/2026年2月24日(火)～3月3日(火)

手続内容/(前期分諸納付金の納入)

***一括手続、分割手続ともに、2026年2月24日(火)～3月16日(月)の期間内に卒業証明書(原本)または高等学校卒業程度認定試験合格証明書(原本)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日消印有効)。**

***入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。**

***入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。**

入学金および諸納付金については111ページを参照してください。



学校推薦型選抜(公募・併願)

入試制度の特徴

01 出身学校長の推薦が必要

出願には出身学校長の推薦が必要です。

02 他大学との併願が可能な学校推薦型選抜

全学部・学科で、他大学との併願が可能な公募・併願を実施します。例えば、国公立大学の合格発表を確認した後に、本学への入学を決めることができます。

※他大学との併願はできますが、本学の公募入試内で他学科との併願はできません。

03 英語と国語の2科目で入試を実施

試験科目は全学科共通とし、共通の問題を使用します。解答は、両科目ともマークシート方式のみです。

英語100点 + 国語100点 = 200点満点

試験内容

受験	試験科目	出題範囲	試験時間	配点
必須	英語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II	10:00～11:10(70分)	100点
必須	国語	現代の国語、言語文化(古文・漢文を除く)	11:50～13:00(70分)	100点

※当日は、9:40までに試験室に入室してください。

※英語は、同じ試験日・試験時間で実施する、公募・専願「英語方式」の英語と同じ問題を使用します。

選抜方法

英語、国語の合計点と、出身学校調査書及び出身学校長の推薦書を資料として、多面的・総合的に評価・判定します。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科	募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
							一括手続	分割手続
商 学 部	商学科	10名	《インターネット出願受付》 2025年 11/1(土)～ 11/12(水) ※出願初日のみ 8:45～受付開始 ※最終日の登録は 15:00まで、 検定料入金は 16:00まで 締切日消印有効	2025年 11/29 (土)	広島 (本学)	2025年 12/5(金)	2025年 12/8(月)～ 12/17(水) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 12/8(月)～ 12/17(水) 締切日消印有効
	経営学科	10名						
人 文 学 部	社会学科	2名						
	教育学科	5名						
	英語英文学科	5名						
法 学 部	法律学科	15名						
経 済 科 学 部	現代経済学科	3名						
	経済情報学科	3名						
人間環境学部	人間環境学科	8名						
健 康 科 学 部	心理学科	3名						
	健康栄養学科	5名						
国際コミュニティ学部	国際政治学科	8名						
	地域行政学科	8名						

インターネット出願をご利用ください。

受験生のみなさんの出願にかかる時間の負担を軽減します。

本学所定の出願書類は、本学入試情報サイトの出願ページからダウンロードしてください。

出願書類

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書

※a.bは本学所定用紙です。出身学校長の推薦書は、検定料入金前でも入試情報サイトからダウンロードできます。

※出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 出身学校長の推薦を受けた者

(2) 次のa～cいずれかに該当する者

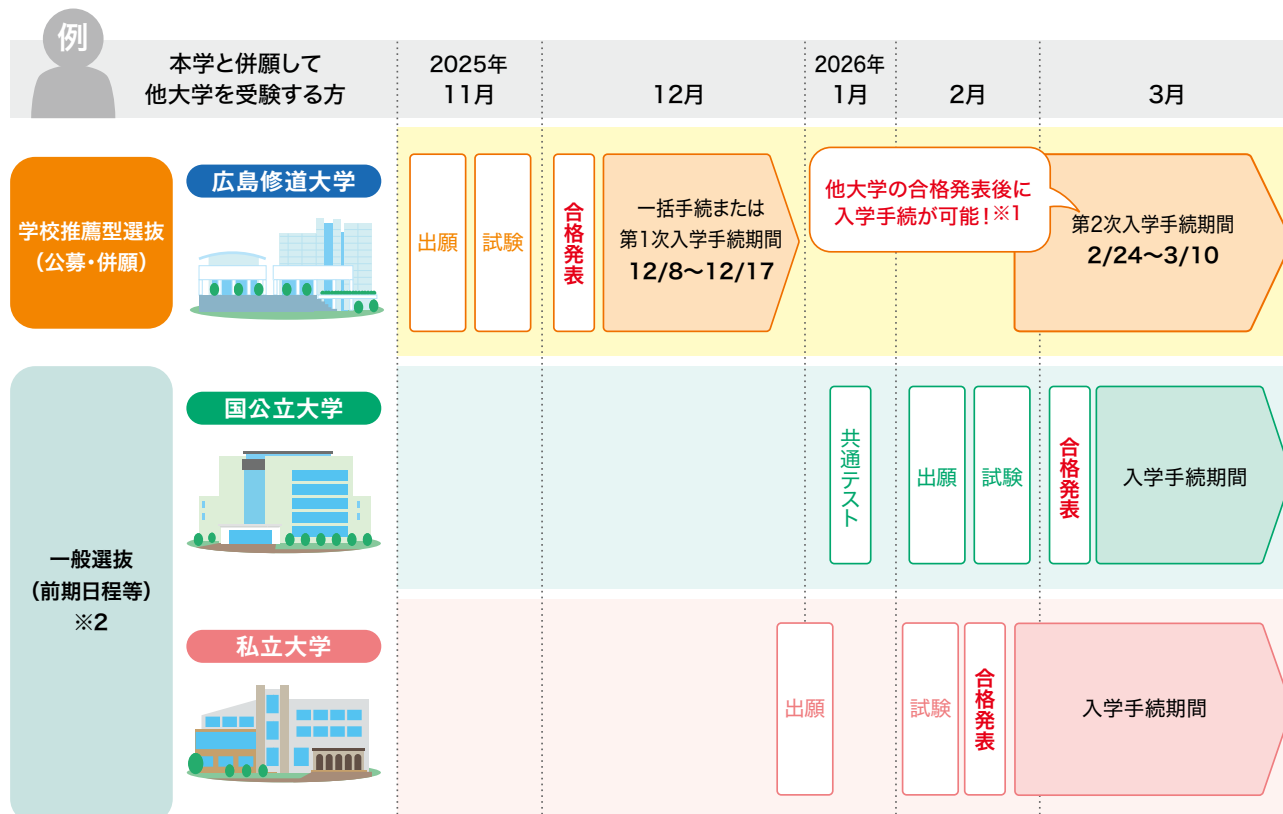
- a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
- b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者
- c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。

この出願資格について2026年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

TOPICS!

他大学の合格発表を確認した後に、本学への入学を決めることができます。



※1 第1次入学手続を完了していないと、第2次入学手続はできませんので注意してください。

※2 他大学の入試スケジュールはあくまで参考です。



学校推薦型選抜(公募・専願)

入試制度の特徴

01 出身学校長の推薦が必要

出願には出身学校長の推薦が必要です。

高校の「学習成績の状況」が出願基準となり、高校での成績や取得資格が評価されます。

02 専願制

広島修道大学で学びたいという意思を強く持つことが大切です。合格した場合には入学する意思を明確に持っていることが出願条件になります。2つ以上の学部・学科・方式は併願できません。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科・方式		募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
								一括手続	分割手続
商 学 部	商学科	英語方式	8名	《インターネット出願受付》 2025年 11/1(土)～ 11/12(水) ※出願初日のみ 8:45～受付開始 ※最終日の登録は 15:00まで、 検定料入金は 16:00まで 締切日消印有効	2025年 11/29 (土)	広島 (本学)	2025年 12/5(金)	2025年 12/8(月)～ 12/17(水) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 12/8(月)～ 12/17(水) 締切日消印有効
		指定資格方式							
		英語資格方式							
	経営学科	英語方式	5名						
		指定資格方式							
		英語資格方式							
人 文 学 部	社会学科		3名						
	教育学科		10名						
	英語英文学科		5名						
法 学 部	法律学科	英語方式	5名						
		小論文方式	15名						
経 済 科 学 部	現代経済 学科	英語方式	10名						
		小論文方式							
		指定資格方式							
		英語資格方式							
	経済情報 学科	英語方式	10名						
		小論文方式							
		指定資格方式							
	英語資格方式								
人間環境学部	人間環境学科	指定資格方式	5名						
健 康 科 学 部	心理学科		6名						
	健康栄養学科		5名						
国際コミュニティ 学部	国際政治学科	英語方式	10名						
		指定資格方式							
		課題提出方式							
	地域行政学科	英語方式	10名						
		指定資格方式							
	課題提出方式								

TOPICS!

インターネット出願をご利用ください。

受験生のみなさんの出願にかかる時間の負担を軽減します。

本学所定の出願書類は、本学入試情報サイトの出願ページからダウンロードしてください。

※「出身学校長の推薦書」は、検定料入金前でもダウンロードできます(6月中旬予定。詳細は106ページ)。

イベントに参加しよう!

来場型イベント「受験生・保護者対象入試説明会」と「オープンキャンパス」を実施します。
入試対策に役立つプログラムもありますので、学校推薦型選抜(公募)の受験を考えている方は、積極的に参加しましょう。

「受験生・保護者対象入試説明会」「オープンキャンパス」

受験生・保護者対象
入試説明会

6/22
(日)

オープンキャンパス
第1回

7/19
(土)

オープンキャンパス
第2回

7/20
(日)

オープンキャンパス
第3回

8/24
(日)

イベントの詳細はP03~P04へ!



法学部・経済科学部・国際コミュニティ学部の各テーマ・課題は 受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で発表

法学部小論文方式のテーマおよび参考文献、経済科学部小論文方式のテーマ、国際コミュニティ学部課題提出方式の課題は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学入試情報サイトにも掲載します。試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので関連する企画等への参加を強くお勧めします。

過去の課題

●法学部小論文方式(小論文テーマおよび参考文献)

2025テーマ:「LGBTの権利保障」

参考文献:『同性婚法制化のためのQ&A』
「結婚の自由をすべての人に」(訴訟全国弁護士連絡会/岩波書店)
『SOGIをめぐる法整備はいま』
(LGBT法連合会/かもがわ出版)

2024テーマ:「日本における外国人労働者問題への向き合い方」

参考文献:『知っておきたい入管法 増える外国人と共生できるか』
(浅川晃広 著/平凡社)
『「移民国家」としての日本——共生への展望』
(宮島喬 著/岩波書店)

●経済科学部小論文方式

2025テーマ:A.「新NISA」

B.「ひろしまスタジアムパーク(エディオンピースウイング広島)」

2024テーマ:A.「生成AI」

B.「ひろしまゲートパーク(旧広島市民球場跡地)」

●国際コミュニティ学部

国際政治学科課題探究方式※

2025テーマ:「アメリカ大統領と選挙」

2024テーマ:「SDGsと国際協力」

●国際コミュニティ学部

地域行政学科課題探究方式※

2025テーマ:「減便・廃止が相次ぐ地方の
公共交通をどうするか」

2024テーマ:「人口が減少しても持続できる
地域とするには、どうなればよいか」

※2026年度入試より、方式を変更しております。

入学準備学習プログラムについて

学校推薦型選抜(公募・専願)に合格し入学手続をされた方を対象に、入学までの期間を利用し、入学準備学習プログラムを実施します。このプログラムの目的は、「本学での学びにむけた姿勢や知識を身に付け、入学後の学習をスムーズにスタートできるようになること」であり、大学において対面で実施する「キャンパス学習」と、自宅で課題を学習し提出する「通信課題学習」で構成されています。**合格者は、入学までの期間、入学準備学習に取り組んでください。**詳しい日程・内容等は、合格者に別途送付します。

試験内容

方式	試験内容・出題範囲等		時間	配点
英語方式	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	10:00～11:10	100点
	出願書類	志望理由書(1,000字程度)	—	30点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	12:30～	30点
指定資格方式	資格	評価する資格・検定等一覧を参照 学科試験は実施しません。	—	100点
	出願書類	志望理由書(1,000字程度)	—	30点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00～	30点
英語資格方式	資格	学科試験は実施しません。	—	100点
	出願書類	志望理由書(1,000字程度)	—	30点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00～	30点

配点

英語方式	英語 100点	+	出願書類(志望理由書) 30点	+	面接(集団) 30点	=	160点満点
指定資格方式	資格 100点	+	出願書類(志望理由書) 30点	+	面接(個別) 30点	=	160点満点
英語資格方式	資格 100点	+	出願書類(志望理由書) 30点	+	面接(個別) 30点	=	160点満点

選抜方法

英語方式	……………	英語、面接、志望理由書および出身学校調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
指定資格方式	……………	資格・検定等申請書、志望理由書、出身学校調査書および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。申請書には保有している全ての資格・検定等について、最もよい級、点数を記入してください。『評価する資格・検定等一覧』において、1つの分野で複数の資格・検定を保有している場合は、最も高い資格・検定を1つ評価します。
英語資格方式	……………	資格・検定等の証明書、志望理由書、出身学校調査書および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願書類

英語方式 a. 出願シート(カラー印刷) b. 出身学校長の推薦書 c. 出身学校調査書 d. 志望理由書(1,000字程度) 商学部(商学科または経営学科)を志望する動機・理由を書いてください。 (注) a、b、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。	を申請し、証明書のコピーをA4判にして提出してください。ただし、同じ資格・検定等において複数の級を取得している場合は、最もよい級・点数を申請してください。 f. 志望理由書(1,000字程度) 商学部(商学科または経営学科)を志望する動機・理由を書いてください。 (注) a、b、d、fは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。資格・検定等申請書、志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
指定資格方式 a. 出願シート(カラー印刷) b. 出身学校長の推薦書 c. 出身学校調査書 d. 資格・検定等申請書 本学が評価対象とする資格・検定等を現在取得している者は、その全ての資格・検定等を申請してください。 e. 資格・検定等の証明書(写) 取得している資格・検定等を、「資格・検定等申請書」で全て申請するとともに、証明書のコピーをA4判にして提出してください(ITパスポート試験は、試験結果レポートでも可)。 1つの分野で複数の資格・検定等を保有している場合でも、全ての資格・検定等	英語資格方式 a. 出願シート(カラー印刷) b. 出身学校長の推薦書 c. 出身学校調査書 d. 資格・検定等の証明書(写) 出願の資格要件の証明書のコピーをA4判にして提出してください。 e. 志望理由書(1,000字程度) 商学部(商学科または経営学科)を志望する動機・理由を書いてください。 (注) a、b、eは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。



学校推薦型選抜(公募・専願)



商学部

THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

商学科

経営学科

専願

試験日

11/29(土)

出願資格

英語方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.6**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.6**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.6**以上の者

指定資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本商工会議所 リテールマーケティング(販売士)検定2級以上
 - b. 日本商工会議所 簿記検定2級以上
 - c. 全国商業高等学校協会 簿記実務検定1級
 - d. 全国商業高等学校協会 情報処理検定 プログラミング部門1級
 - e. 全国商業高等学校協会 情報処理検定 ビジネス情報部門1級
 - f. 情報処理推進機構 基本情報技術者試験合格
 - g. 情報処理推進機構 応用情報技術者試験合格
 - h. 情報処理推進機構 ITパスポート試験合格
 - i. 全国商業高等学校協会 英語検定1級
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
 - b. 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

(4) 次のいずれかに該当する者

- a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
- b. 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

英語資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検)準2級以上
(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
 - b. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
 - c. ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
 - d. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W)625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
 - e. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
 - f. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
 - g. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
 - h. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
 - i. アリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール)4.0以上
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
 - b. 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

指定資格方式では、様々な資格・検定を評価! 出願資格とは別に、以下の分野の資格を取得している場合は評価の対象になります。

評価する資格・検定等一覧

■流通ビジネス

- ・日本FP協会 ファイナンシャル・プランナー 3級以上(一部合格も可)
- ・全国旅行業協会 国内旅行業務取扱管理者 合格
- ・日本商工会議所 リテールマーケティング(販売士)検定 2級以上

■簿記会計

- ・全国商業高等学校協会 簿記実務検定 2級以上
- ・日本商工会議所 簿記検定 3級以上
- ・全国経理教育協会 簿記能力検定 2級以上

■経営情報

- ・全国商業高等学校協会 情報処理検定 プログラミング部門 1級
- ・全国商業高等学校協会 情報処理検定 ビジネス情報部門 1級

■情報技術

- ・情報処理推進機構 基本情報技術者試験 合格
- ・情報処理推進機構 応用情報技術者試験 合格
- ・情報処理推進機構 ITパスポート試験 合格

■秘書技能

- ・実務技能検定協会 秘書技能検定 3級以上

■英語実務

- ・日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検)準2級以上
(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
- ・日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
- ・ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
- ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W)625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
- ・Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
- ・日本英語検定協会 TEAP 135点以上
- ・日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
- ・ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
- ・アリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール)4.0以上
- ・全国商業高等学校協会 英語検定 2級以上
- ・日本商工会議所 日商ビジネス英語検定(日商商業英語検定も可)3級以上

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設(修了見込みの者)および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。(全方式共通)

試験内容

学科	試験内容等		時間	配点
社会学科	語彙力試験	言語事項・日本語ボキャブラリーを出題(HBもしくはBのシャープペンシルを必ず持参すること。)	10:00～10:50	50点
	英語力試験	読解・要約(英和辞典持込可、電子辞書持込不可)	11:10～12:00	50点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00～	100点
教育学科	小論文	資料小論文*読解・要約・分析・論述(英和辞典持込可、電子辞書持込不可)	10:00～12:00	100点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00～	100点

配点

社会学科	語彙力試験50点	+	英語力試験50点	+	面接(集団)100点	=	200点満点
教育学科	小論文100点	+	面接(個別)100点	=	200点満点		

選抜方法

社会学科	……………	出願書類志望理由書・面接、語彙力試験、英語力試験の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。
教育学科	……………	面接、小論文の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

社会学科

- 次の(1)～(3)すべてに該当する者
- (1) 本学人文学部社会学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - (2) 出身学校長の推薦を受けた者
 - (3) 次のa～cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

教育学科

- 次の(1)～(3)すべてに該当する者
- (1) 本学人文学部教育学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - (2) 出身学校長の推薦を受けた者
 - (3) 次のa～cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設(修了見込みの者)および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

社会学科

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校長の推薦書
 - c. 出身学校調査書
 - d. 志望理由書(1,000字程度)
学業以外に関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、社会学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
- (注) a、b、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
- 出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

教育学科

- a. 出願シート(カラー印刷)
 - b. 出身学校長の推薦書
 - c. 出身学校調査書
 - d. 志望理由書(1,200字程度)
これまでに学業あるいはそれ以外で特に関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)を関連させながら教育学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
- (注) a、b、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
- 出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

試験内容

試験内容・出題範囲等		時間	配点
英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	10:00～11:10	150点
面接(個別)	出願書類にもとづき行います。なお、次の英語資格を取得している場合は10点加算します。 (ただし、満点は超えない)	12:30～	50点

面接で加算対象となる英語資格

実施主体名	資格・検定試験名	10点加算
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)※1	2級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上
	TEAP	225点以上
	TEAP CBT	420点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)(CBTタイプも可)※2	930点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)/TOEIC(S&W)※3	1,150点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上

※1:英検は、従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします。
 ※2:GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は960点以上とします。
 ※3:TOEICは、(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。

配点

英語 150点	+	面接(個別) 50点	=	200点満点
---------	---	------------	---	--------

選抜方法

／記述試験(英語)、面接、志望理由書および出身学校調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

- 次の(1)～(3)すべてに該当する者
- 本学人文学部英語英文学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - 出身学校長の推薦を受けた者
 - 次のa～cのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの**全体の学習成績の状況が3.5以上かつ「英語」の学習成績の状況が3.8以上の者**
 - 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の**全体の学習成績の状況が3.5以上かつ「英語」の学習成績の状況が3.8以上の者**
 - 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の**全体の学習成績の状況が3.5以上かつ「英語」の学習成績の状況が3.8以上の者**

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- 出願シート(カラー印刷)
 - 出身学校長の推薦書
 - 出身学校調査書
 - 志望理由書(1,000字程度)
これまでに、学業あるいはそれ以外で特に関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、ならびに英語英文学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
 - 資格・検定等の証明書(写)
資格・検定等の証明書のコピーをA4判にして提出してください。
※加算申請する者のみ
- (注) a、b、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
- 出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
小論文方式のテーマおよび参考文献発表!

試験内容

方式	試験内容・出題範囲等		時間	配点
英語方式	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	10:00~11:10	100点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	30点
小論文方式	小論文	資料小論文 *読解・要約・論述問題を出題	10:00~11:10	100点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	30点

※ 試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

英語方式	英語100点	+	面接(個別)30点	=	130点満点
小論文方式	小論文100点	+	面接(個別)30点	=	130点満点

選抜方法

英語方式	…………	記述試験(英語)、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
小論文方式	…………	記述試験(小論文)、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

英語方式・小論文方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

- b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設(修了見込みの者)および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

英語方式・小論文方式

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)

(注) a、b、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

志望理由書についての注意

- (1) これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、留学経験を通して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。
- (2) 志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。



試験内容

方式	試験内容・出題範囲等		時間	配点
英語方式	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ	10:00~11:10	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	50点
	出願書類	志望理由書(800字程度)	—	50点
小論文方式	小論文	小論文(テーマ方式) *予め指定されたテーマ2つから1つを選び、そのテーマについて調べたことを600字以内、そのテーマと経済等との関係について自分が考えることなどを600字以内、合計1,200字以内で論述してください。本学所定の用紙で400字以内のメモを持込可とします。	10:00~11:30	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	50点
	出願書類	志望理由書(800字程度)	—	50点

配点

英語方式	英語100点	+	面接(集団)50点	+	出願書類(志望理由書)50点	=	200点満点
小論文方式	小論文100点	+	面接(集団)50点	+	出願書類(志望理由書)50点	=	200点満点

選抜方法

英語方式	…………	記述試験(英語)、出願書類および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
小論文方式	…………	記述試験(小論文)、出願書類および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(現代経済学科・経済情報学科共通)

英語方式・小論文方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 出身学校長の推薦を受けた者
- 次のa、bのいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業または2026年3月に卒業見込みの者で、全体(2026年3月卒業見込みの者は第3学年第1学期まで)の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
ただし、a、bいずれの場合も、英語・国語・数学いずれか1教科の学習成績の状況が**3.7**以上の者は、全体の学習成績の状況が**3.3**以上でよい。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設(修了見込みの者および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

英語方式・小論文方式

- 出願シート(カラー印刷)
- 出身学校長の推薦書
- 出身学校調査書
- 志望理由書(800字程度)

経済科学部(現代経済学科または経済情報学科)を志望する理由と自己PRを書いてください。

(注) a、b、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
指定資格方式	出願書類	志望理由書(1,500字程度)、資格・検定等申請書	—	150点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00～	50点
英語資格方式	出願書類	志望理由書(1,500字程度)、資格・検定等申請書	—	150点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00～	50点

配点

指定資格方式 英語資格方式	出願書類(志望理由書、資格・検定等申請書)150点	+	面接(集団)50点	=	200点満点
------------------	---------------------------	---	-----------	---	--------

選抜方法

指定資格方式 英語資格方式	……………	出願書類、資格および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
------------------	-------	-------------------------------------

出願資格(現代経済学科・経済情報学科共通)

指定資格方式	英語資格方式
次の(1)～(4)すべてに該当する者 (1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者 (2) 出身学校長の推薦を受けた者 (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者 a. 日本商工会議所 簿記検定2級以上 b. 全国商業高等学校協会 簿記実務検定1級 c. 全国商業高等学校協会 情報処理検定プログラミング部門1級 d. 情報処理推進機構 ITパスポート試験合格 e. 情報処理推進機構 基本情報技術者試験合格 f. 情報処理推進機構 応用情報技術者試験合格 (4) 次のa、bのいずれかに該当する者 a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月に卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が3.8以上の者 b. 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月に修了見込みの者で、かつその所属する教育施設のエ教育課程の第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が3.8以上の者	次の(1)～(4)すべてに該当する者 (1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者 (2) 出身学校長の推薦を受けた者 (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者 a. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検)準2級以上 (従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします) b. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上 c. ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上 ※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。 d. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W)625点以上 ※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。 e. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上 f. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上 g. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上 h. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上 i. プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール)4.0以上 (4) 次のa、bのいずれかに該当する者 a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月に卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が3.8以上の者 b. 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月に修了見込みの者で、かつその所属する教育施設のエ教育課程の第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が3.8以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

指定資格方式・英語資格方式	
a. 出願シート(カラー印刷) b. 出身学校長の推薦書 c. 出身学校調査書 d. 資格・検定等申請書 e. 資格・検定等の証明書(写) 出願資格の証明書等のコピーをA4判にして提出してください。 (ITパスポート試験は、試験結果レポートでも可) f. 志望理由書(1,500字程度) ①志望理由および学びたいこと ②資格取得を通じ、高校時代に学んだことや培ってきたもの	③大学卒業後の進路や将来の夢について ④その他アピールしたいことがあれば、それを記してください。 (注) a、b、d、fは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。資格・検定等申請書、志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。 出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。



試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
指定資格方式	出願書類	資格・検定等の証明書(写)	—	150点
	出願書類	志望理由書(800字程度)	—	50点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00~	

配点

指定資格方式

出願書類(資格・検定等の証明書)
150点

+

出願書類(志望理由書)+面接(個別)
50点

=

200点満点

選抜方法

指定資格方式

…………

資格・検定等の証明書(写)、面接、志望理由書、推薦書および出身学校調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

指定資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本数学検定協会 実用数学技能検定 2級以上
 - b. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検) 準2級以上
(従来型、CBT、1 day S-CBT、2 days S-Interviewを対象にします)
 - c. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
 - d. ペンネッセコーポレーション GTEC(4技能) (CBTタイプも可) 680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
 - e. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W) 625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
 - f. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
 - g. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
 - h. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
 - i. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
 - j. プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール) 4.0以上
- (4) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 国際バカロレア(IB)カリキュラムのDiploma Program(DP)を2025年3月に修了し最終試験6科目に合格した者、または2026年3月までにその見込みの者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設(修了見込みの者)および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

指定資格方式

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 資格・検定等の証明書(写)
出願資格の証明書等のコピーを**A4判**にして提出してください。
- e. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。

(注) a、b、eは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封して郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

学科	試験内容等		時間	配点
心 理 学 科	小論文	資料小論文 *英文を含む読解・要約、図表等のデータの分析と論述 *英和辞典持込可、電子辞書持込不可	10:00～11:40	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00～	100点
健 康 栄 養 学 科	小論文	資料小論文 *英文を含む読解・要約、図表等のデータの分析と論述 *英和辞典持込可、電子辞書持込不可	10:00～11:40	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00～	100点

配点

心 理 学 科	小論文 100点	+	面接(集団) 100点	=	200点満点
健康栄養学科	小論文 100点	+	面接(集団) 100点	=	200点満点

選抜方法／出願書類・面接、小論文の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(心理学科・健康栄養学科共通)

次の(1)～(3)すべてに該当する者

(1) 本学健康科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 出身学校長の推薦を受けた者

(3) 次のa～cのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者(かつ健康栄養学科は生物基礎および化学基礎を履修している者)

b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者(かつ健康栄養学科は生物基礎および化学基礎を履修している者)

c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設のエデュケーション(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者(かつ健康栄養学科は生物基礎および化学基礎を履修している者)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について2026年3月にその所属する教育施設のエデュケーションを修了見込みの者および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)

b. 出身学校長の推薦書

c. 出身学校調査書

d. 志望理由書(1,000字程度)

これまでに、学業あるいはそれ以外で特に関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、ならびに心理学科または健康栄養学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。

(注) a、b、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

89

2026 Hiroshima Shudo University



学校推薦型選抜(公募・専願)

アドミッション・ポリシー

入学試験制度と評価

一般前期

共通テスト利用前期

一般後期

共通テスト利用後期

総合型

学校推薦型(公募)

特別

出願ガイド

合格への道



国際コミュニティ学部
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

国際政治学科
地域行政学科

専願

試験日
11/29(土)

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
指定資格方式	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00～	90点
	出願書類	志望理由書(800字程度)、自己アピール書(600字程度)	—	10点
	資格	出願資格欄参照	—	100点

※ 選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

指定資格方式	面接(個別)90点	+	出願書類(志望理由書、自己アピール書)10点	+	資格100点	=	200点満点
--------	-----------	---	------------------------	---	--------	---	--------

選抜方法

指定資格方式	……………	面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
--------	-------	----------------------------------

出願資格(国際政治学科・地域行政学科共通)

指定資格方式

次の(1)～(4)すべてに該当する者

- (1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa～pの資格を1つ以上有する者
 - a. 日本ニュース時事能力検定協会 ニュース時事能力検定試験 準2級以上
 - b. 地図地理検定 基礎以上
 - c. 歴史能力検定協会 歴史能力検定(歴検) 3級以上
 - d. 世界遺産アカデミー 世界遺産検定 4級以上
 - e. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検) 準2級以上
(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
 - f. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
 - g. ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可) 680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
 - h. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W) 625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。

- i. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
- j. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
- k. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
- l. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
- m. プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール) 4.0以上
- n. 日本国際連合協会 国際連合公用語英語検定試験 C級以上
- o. 日本数学検定協会 実用数学技能検定 2級以上
- p. ベネッセコーポレーション Literas論理言語力検定(語彙・読解力検定も可) 準2級以上

(4) 次のa～cのいずれかに該当する者

- a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設のエデュケーション(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設のエデュケーション(修了見込みの者および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

指定資格方式

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)
志望理由書に記載されている1)～4)の事項について記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。
※志望理由書に記載する事項
 - 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
 - 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
 - 3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
 - 4) 大学卒業後の進路について考えていること。
- e. 自己アピール書(600字程度)
※自己アピール書に記載する事項
以下の1)～3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてく

ださい。記入できない項目があれば、空欄のまま結構です。

- 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
- 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
- 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

- f. 資格・検定等の証明書(写)
出願資格の証明書等のコピーをA4判にして提出してください。
(注) a、b、d、eは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。
志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

方式	試験内容・出題範囲等		時間	配点
英語方式	英語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II	10:00～11:10	100点
	出願書類	志望理由書(800字程度)、自己アピール書(600字程度)	—	10点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30～	90点
課題提出方式	出願書類	課題レポート(1,400字～1,600字)	—	40点
		志望理由書(800字程度)、自己アピール書(600字程度)	—	10点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行うとともに、提出した課題レポートについて説明を求めます。	10:00～	150点

※ 選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

英語方式	英語100点	+	出願書類(志望理由書、自己アピール書)10点	+	面接(個別)90点	=	200点満点
課題提出方式	出願書類(課題レポート)40点	+	出願書類(志望理由書、自己アピール書)10点	+	面接(個別)150点	=	200点満点

選抜方法

英語方式	…………	英語、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
課題提出方式	…………	課題レポート、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(国際政治学科・地域行政学科共通)

英語方式

- 次の(1)～(3)すべてに該当する者
- 1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - 2) 出身学校長の推薦を受けた者
 - 3) 次のa～dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設のエ教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 高等学校または中等教育学校在学中に連続して3カ月以上の留学経験を有する者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格について、2026年3月にその所属する教育施設のエ教育課程を修了見込みの者および2025年3月以降に修了した者は、2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

課題提出方式

- 次の(1)～(3)すべてに該当する者
- 1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - 2) 出身学校長の推薦を受けた者
 - 3) 次のa～cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設のエ教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

出願書類

英語方式

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)

志望理由書に記載されている1)～4)の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。

***志望理由書に記載する事項**

 - 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
 - 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
 - 3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
 - 4) 大学卒業後の進路について考えていること。
- e. 自己アピール書(600字程度)

***自己アピール書に記載する事項**

以下の1)～3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてく

ださい。記入できない項目があれば、空欄のままで結構です。

- 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
- 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
- 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

(注) a、b、d、eは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。



学校推薦型選抜(公募・専願)

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題提出方式の課題のテーマ発表!

試験日
11/29(土)

出願書類

課題提出方式

- a. 出願シート(カラー印刷)
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)

志望理由書に記載されている1)~4)の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。

*志望理由書に記載する事項

- 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
- 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
- 3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
- 4) 大学卒業後の進路について考えていること。

- e. 自己アピール書(600字程度)

*自己アピール書に記載する事項

以下の1)~3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。記入できない項目があれば、空欄のままです。

- 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
- 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
- 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

- f. 課題レポート(1,400字~1,600字)

(注) a、b、d、e、fは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

全学部共通事項

受験上の注意は109ページを参照してください。

1. 入学検定料

30,000円

2. 出願方法

出願は、インターネット出願でのみ受け付けます。

【出願期間】2025年11月1日(土)～11月12日(水) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) インターネット出願で出願登録する(最終日の登録締切時間は**15:00**)
 - (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は**16:00**)
 - (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、**速達・簡易書留**で早急に郵送してください(**締切日消印有効**)。
- ※インターネット出願での出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

*提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。出願にあたってはよく確認して手続きしてください。
*出願書類の送付は郵送に限ります(締切日消印有効)。
*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

3. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年10月10日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

4. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。

5. 出身学校調査書について(出願前3カ月以内に発行されたもの)

学校長は(公募・専願)の推薦にあたって志願者の入学意思を十分確認してください。

- ① 高等学校、中等教育学校後期課程または通常の課程による12年の学校教育課程在学中の者は、第3学年第1学期までの成績が記入されたもので、学校長が証明し、厳封したものを提出してください。
- ② 高等学校、中等教育学校後期課程または通常の課程による12年の学校教育課程を卒業(修了)した者は、すべての成績が記入されたもので、出身学校長が証明し、厳封したものを提出してください。

※廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合には、それに代わる措置を講じますので、本学入学センターに2025年10月10日(金)までに問い合わせてください。



6. 合格発表

合格発表日: 2025年12月5日(金) 10:00(予定)

- (1) 合格者には、「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。なお、「合格通知書」等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、12月9日(火)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。
- (2) 可否確認の補助手段について
出願の際に登録したマイページの可否照会画面から可否結果を確認することができます。詳細につきましては110ページを確認してください。
- (3) 学校長宛に可否結果を通知します。

* 合格発表に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

7. 入学手続

入学手続について

【一括手続】または【分割手続】のいずれかを選択し、手続をしてください。

【一括手続】

手続期間／2025年12月8日(月)～12月17日(水)(締切日消印有効)

手続内容／(入学金の納入)、(前期分諸納付金の納入)、(インターネット入力)および(手続書類の提出)

- * 2026年2月24日(火)～3月16日(月)の期間内に卒業証明書の原本または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本(見込みで受験した者のみ)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日消印有効)。合格証書ではありませんのでご注意ください。

【分割手続・専願】

第1次入学手続

手続期間／2025年12月8日(月)～12月17日(水)(締切日消印有効)

手続内容／(入学金の納入)、(インターネット入力)および(手続書類の提出)

第2次入学手続

手続期間／2026年2月24日(火)～3月3日(火)

手続内容／(前期分諸納付金の納入)

- * 2026年2月24日(火)～3月16日(月)の期間内に卒業証明書の原本または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本(見込みで受験した者のみ)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日消印有効)。合格証書ではありませんのでご注意ください。

【分割手続・併願】

第1次入学手続

手続期間／2025年12月8日(月)～12月17日(水)(締切日消印有効)

手続内容／(入学金の納入)、(インターネット入力)および(手続書類の提出)

第2次入学手続

手続期間／2026年2月24日(火)～3月10日(火)

手続内容／(前期分諸納付金の納入)

- * 2026年2月24日(火)～3月16日(月)の期間内に卒業証明書の原本または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本(見込みで受験した者のみ)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日消印有効)。合格証書ではありませんのでご注意ください。

* 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。

* 入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。

入学金および諸納付金については111ページを参照してください。



郵送受付のみ

帰国生選抜

入試制度の特徴

01 広島修道大学入学を第一志望とする帰国生を対象とした専願入試

広島修道大学で学びたいという意思を強く持つことが大切です。
合格した場合には入学する意思を明確に持っていることが出願条件になります。
2つ以上の学部・学科・方式は併願できません。

02 自己推薦で自分の能力・特技をアピール

自己推薦で受験できる入試制度です(学校長の推薦は必要ありません)。
出願資格や審査方法は学部・学科によって異なりますのでよく確認してください。

03 合格者には本学独自の入学準備学習プログラムを用意

大学生生活へのスムーズなスタートを目的として、独自の入学準備学習プログラムを用意。
合格後、入学までに行う学習で、「キャンパス学習」と「通信課題学習」で構成されています。
詳細は総合型選抜のページ(58ページ)を参照してください。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科・方式		募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
								一括手続	分割手続
商 学 部	商 学 科	活動実績重視方式	若干名	《郵送受付》 2025年 9/24(水)～ 10/3(金) 締切日消印有効	2025年 10/25 (土)	広島 (本学)	2025年 11/1(土)	2025年 11/5(水)～ 11/14(金) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 11/5(水)～ 11/14(金) 締切日消印有効 《第2次入学手続》 2026年 2/24(火)～ 3/3(火) 締切日消印有効
	経営学科	活動実績重視方式	若干名						
人 文 学 部	社 会 学 科		若干名		10/26 (日)				
	英語英文 学 科	課 題 図 書 方 式 課 題 探 究 方 式	若干名						
法 学 部	法律学科	ゼミナール方式	若干名		10/26 (日)				
経 済 科 学 部	現 代 経 済 学 科		若干名		10/25 (土)				
	経 済 情 報 学 科		若干名						
人間環境学部	人間環境 学 科	レポ ー ト 方 式	若干名		10/25 (土)				
		プレゼンテーション方式							
		活 動 実 績 方 式							
健 康 科 学 部	心 理 学 科		若干名	10/25 (土)					
	健 康 栄 養 学 科		若干名						
国際コミュニティ 学部	国際政治 学 科	課 題 図 書 方 式	若干名	10/26 (日)					
	地域行政 学 科	課 題 図 書 方 式	若干名						



全学部共通事項

1. 出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学当該学部・学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 日本の国籍を有する者、または日本に永住する外国人およびそれに準ずる者で、次の各項のいずれかに該当する者

- 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による期間を含む)を2024年4月1日から2026年3月31日までに修了または修了見込みの者で、外国において最終学年を含め原則として2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けた者または受けている者
- 外国において、原則として2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受け、日本の高等学校の第2学年または第3学年に編入学を認められた者で、2026年3月に卒業見込みの者

なお、上記の他、外国において大学入学資格(国際バカロレア資格等)を授与された者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

※外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

2. 入学検定料

30,000円

※入学検定料は、郵便局で30,000円分の郵便為替(普通為替)を発行してもらってください。普通為替証書には何も記入しないで出願書類とともに郵送してください。

3. 出願方法

【出願期間: 2025年9月24日(水)～10月3日(金)(締切日消印有効)】

帰国生選抜の出願は、郵送受付のみです。

本学所定の出願書類は、入試情報サイトからダウンロード・印刷してください(2025年6月中旬掲載予定)。

出願書類と入学検定料は、市販の角2封筒で、必ず**速達・簡易書留**で送付してください。

＜郵送先＞ 〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1 広島修道大学 入学センター

※封筒には「入試願書在中」と朱書きしてください。

*提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしませんので、出願にあたってはよく確認して手続きしてください。

*出願書類の送付は郵送に限ります(締切日消印有効)。

*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

4. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

5. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。

6. 受験票の交付について

(1) 受験票は、郵送により交付します。

(2) 受験票の発送は郵便事情や願書処理状況により多少遅れる場合があります。

2025年10月10日(金)を過ぎても受験票が届かない場合は、本学入学センターに問い合わせてください。

7. 合格発表日、入学手続について

総合型選抜と同じです。76ページを参照してください。



郵送受付のみ

8. 出願書類等

商学部

商学科

経営学科

活動実績重視方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目、募集要件等については、総合型選抜(活動実績重視方式)と同じです。商学部のページ(59ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。
記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書
d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 e. 志望理由書(本学所定用紙)

eには以下の①~④の内容を盛り込み、日本語で1,500字程度にまとめてください。なお、以下の内容の順序は問いません。

また、この志望理由書は、志願者本人の自筆、横書きで作成してください。

- ① 商学科または経営学科を志望する動機・理由 ② 国外生活で学んだもの、身についたもの
③ 将来の進路 ④ 広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか
(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

人文学部

社会学科

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。人文学部社会学科のページ(61ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。
記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書
d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 e. 志望理由書(本学所定用紙)

※eの内容は一般受験生と同じです。61ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

人文学部

英語英文学科

課題図書方式

課題探究方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。人文学部英語英文学科のページ(63・64ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。
記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書 d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書
e. 志望理由書(本学所定用紙) f. 活動報告書(本学所定用紙) g. レポート(課題探究方式のみ)

※e、f、gの内容は一般受験生と同じです。63・64ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

法学部

法律学科

ゼミナール方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜(ゼミナール方式)と同じです。法学部法律学科のページ(65ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。
記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書
d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 e. 志望理由書(本学所定用紙) f. ゼミナール報告要旨(本学所定用紙)

※e、fの内容は一般受験生と同じです。65ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。



経済科学部



現代経済学科



経済情報学科

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。経済科学部のページ(67ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等**を使用し、再記入してください。

- | | | |
|------------------------|--------------------|------------------|
| a. 入学志願票(本学所定用紙) | b. 卒業証明書または卒業見込証明書 | c. 成績証明書 |
| d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 | e. 志望理由書(本学所定用紙) | f. 活動報告書(本学所定用紙) |
| g. 活動実績を証明する資料 | | |

※e、f、gの内容は一般受験生と同じです。67ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。



人間環境学部



人間環境学科

レポート方式

プレゼンテーション方式

活動実績方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目、募集要件等については、総合型選抜と同じです。人間環境学部人間環境学科のページ(68～70ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等**を使用し、再記入してください。

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| a. 入学志願票(本学所定用紙) | b. 卒業証明書または卒業見込証明書 |
| c. 成績証明書 | d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 |
| e. 志望理由書(本学所定用紙) | f. レポート(レポート方式のみ) |
| | g. プレゼンテーション資料(プレゼンテーション方式のみ) |
| | h. 活動実績書および活動実績を証明する資料(活動実績方式のみ) |

※e、f、g、hの内容は一般受験生と同じです。68～70ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。



健康科学部



心理学科



健康栄養学科

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。健康科学部のページ(71・72ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等**を使用し、再記入してください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| a. 入学志願票(本学所定用紙) | b. 卒業証明書または卒業見込証明書 |
| c. 成績証明書 | d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 |
| e. 志望理由書(本学所定用紙) | f. 課題レポート(健康栄養学科のみ)(本学所定用紙) |
| g. プレゼンテーション資料(健康栄養学科のみ) | |

※e、fの内容は一般受験生と同じです。71・72ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては出身学校調査書とします。



国際コミュニティ学部



国際政治学科



地域行政学科

課題図書方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。国際コミュニティ学部のページ(73ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等**を使用し、再記入してください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| a. 入学志願票(本学所定用紙) | b. 卒業証明書または卒業見込証明書 |
| c. 成績証明書 | d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 |
| e. 志望理由書(本学所定用紙) | f. 自己アピール書(本学所定用紙) |

※eの内容は一般受験生と同じです。73ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

受験上の注意は109ページを参照してください。

社会人選抜

修業年限を選択可能。状況に応じて、ゆとりある学修を実現

社会人選抜を受験する方は、通常の4年を修業年限とする場合と、5～8年を修業年限とする場合（長期履修学生制度）のいずれかを選択することができます。

「長期履修学生制度」を選択した場合、履修登録した科目の単位分だけ授業料を支払う単位制授業料となり経済的です。これにより、仕事を続けながら無理なく学生生活を実現することができます。

＊「長期履修学生制度」を希望しない場合は、通常の授業料となります。

＊出願資格・出願書類および出願方法等詳細については、本学の「社会人選抜要項」で確認してください。

出願資格

2026年4月1日現在において、満22歳に達し、以下のいずれかに該当する社会人

- a. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- b. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- c. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者（この出願については2025年11月10日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者（合格見込者）または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。）

＊「見込み」で受験した者が2026年3月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学を許可しません。

＊（人間環境学部のみ）社会人とは、企業等の在職者、離職者、家事従事者とします。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科	募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間
人文学部	社会科学 教育学科	若干名	《 郵送受付 》 2025年 12/8(月)～12/17(水) 締切日必着	2026年 1/10 (土)	広島 (本学)	2026年 1/15 (木)	《 一括手続 》 2026年 2/16(月)～2/20(金) 締切日消印有効
人間環境学部	人間環境学科	若干名					

試験内容

学部	学科	試験内容等		時間	配点
人文学部	社会科学	小論文(資料小論文)		10:00～11:00	100点
	教育学科	面接(個別)	出願書類にもとづき行います	11:30～	100点
人間環境学部	人間環境学科	小論文(資料小論文)		10:00～11:00	100点
		面接(個別)	面接+志望理由書	11:30～	100点



外国人留学生選抜

出願資格

次のいずれかに該当し、2024年度または2025年度日本留学試験の「日本語」、「総合科目」を受験した者

(ただし、経済科学部・人間環境学部・国際コミュニティ学部は「日本語」のみの受験でよい)

(英語英文学科は、上記に加えてEducational Testing Serviceの行うTOEFL(ペーパー版テスト・ITP)で470点以上(iBT方式では52点以上)を取得した者)

a. 外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

b. aと同等以上の学力があると、文部科学大臣の定めるところにより認められた者

c. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

* bまたはcの出願資格については、2025年11月10日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

* 「見込み」で受験した者が2026年3月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学を許可しません。

*** 出願資格・出願書類および出願方法等詳細については、本学の「外国人留学生選抜要項」で確認してください。**

試験日・試験地・出願期間

学部	学科	募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間
全学部	全学科	若干名	《郵送受付》 2025年 12/8(月)~12/25(木) 締切日必着	2026年 1/10 (土)	広島 (本学)	2026年 1/15 (木)	《一括手続》 2026年 2/16(月)~2/20(金) 締切日消印有効

* 2024年度、2025年度において受験した日本留学試験の受験票(写)、成績通知書(写)、成績確認書のいずれかを提出してください。複数回の受験票等を提出する場合は、どの成績を使用するか、2025年12月25日(木)16:00までに本学入学センターにご連絡ください。連絡がない場合は直近の成績を使用します。

試験内容

学部	学科	試験内容等		時間	配点
商学部	商学科 経営学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:30	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点、「総合科目」200点の配点をそれぞれ100点、50点として換算	—	150点
		面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	50点
人文学部	社会学科 教育学科 英語英文学科	日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算、「日本語」(記述)50点、「総合科目」200点の配点を50点として換算	—	200点
		面接(個別)	日本語読解力を判定する質問を含みます。	10:00~	200点
法学部	法律学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:30	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点、「総合科目」200点の配点をそれぞれ100点、50点として換算	—	150点
		面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	50点
経済科学部	現代経済学科 経済情報学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:10	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算	—	100点
		出願書類(志望理由書)		—	50点
		面接(個別)		12:30~	50点
人間環境学部	人間環境学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:00	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算	—	100点
		面接(個別)	面接+志望理由書	11:30~	100点
健康科学部	心理学科 健康栄養学科	日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算、「日本語」(記述)50点、「総合科目」200点の配点を50点として換算	—	200点
		面接(個別)	日本語読解力を判定する質問を含みます。	10:00~	200点
国際コミュニティ学部	国際政治学科 地域行政学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:30	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算	—	100点
		出願書類(志望理由書)		—	50点
		面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	100点



2026出願ガイド

◎入学検定料割引制度	102
◎インターネット出願の流れ	103
◎入学検定料のお支払い	105
◎書類の印刷・郵送	106
◎インターネット出願Q&A	108

●各種手続き期限

出願登録期限	出願期間※1最終日の	15:00まで
検定料の支払い期限	出願期間※1最終日の	16:00まで※2
出願書類の郵送期限	出願期間※1最終日の	消印有効または必着※1

※1 入試種別によって異なります。

それぞれの出願期間は、各入試の詳細ページを確認してください。

※2 検定料を支払っても、出願書類の郵送がなければ出願は無効となりますので注意してください。
提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

*出願書類に虚偽の記載をした者およびインターネット出願システムに虚偽の情報を登録した者は、
入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

※割引制度は、一度の出願登録で複数出願する場合のみ適用されます。追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と組み合わせた割引は適用されません。

1 複数出願割引

以下の入試制度は、2出願目から割引されます。

一般選抜（前期・スタンダード方式）

1出願のみ 27,000円 → 1出願追加毎に +15,000円

共通テスト利用選抜（前期・後期）

1出願のみ 15,000円 → 1出願追加毎に +5,000円

一般選抜（後期）

1出願のみ 27,000円 → 1出願追加毎に +10,000円

2 3方式セット割引

一般選抜（前期）において、
3つの方式を「同一日・同一学科に」同時に申し込むと割引されます。

出願パターン別 検定料比較	スタンダード方式のみ	スタンダード方式 + 高得点科目重視方式	スタンダード方式 + 共通テストプラス方式	スタンダード方式 + 高得点科目重視方式 + 共通テストプラス方式
① スタンダード方式 (27,000円) 出願必須	○	○	○	○
② 高得点科目重視方式 (10,000円)		○		○
③ 共通テストプラス方式 (10,000円)			○	○
検定料	① (1出願) 27,000円	① + ② (2出願) 37,000円	① + ③ (2出願) 37,000円	① + ② + ③ (3出願) 47,000円

3方式セット割引で (3出願)
7,000円引き **40,000円**

3出願目を実質
+3,000円で出願可

POINT

割引制度を組み合わせると、より経済的に合格のチャンスが広がります！

検定料早見表

方式	1日目		2日目		3日目	
	1学科目	2学科目	1学科目	2学科目	1学科目	2学科目
① スタンダード方式 (2出願目から12,000円引き)	27,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円
② 高得点科目重視方式(1出願一律10,000円)	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
③ 共通テストプラス方式(1出願一律10,000円)	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
① + ② + ③ (3方式セット割引で7,000円引き)	47,000円 40,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円
合計の出願数と検定料	計3出願 40,000円	計6出願 68,000円	計9出願 96,000円	計12出願 124,000円	計15出願 152,000円	計18出願 180,000円

3方式セット割引を活用した、おすすめ出願パターン

例 第1志望の商学科のみ2日間受験する場合

方式	1日目 商学科	2日目 商学科
① スタンダード方式	27,000円	15,000円
② 高得点科目重視方式	10,000円	10,000円
③ 共通テストプラス方式	10,000円	10,000円
① + ② + ③ 7,000円引き	40,000円	28,000円
合計の出願数と検定料	計6出願 68,000円	

例 第1志望の商学科を2日間受験し、第2志望の経営学科を1日受験する場合

方式	1日目 商学科	2日目 経営学科 商学科
① スタンダード方式	27,000円	15,000円 15,000円
② 高得点科目重視方式	10,000円	10,000円
③ 共通テストプラス方式	10,000円	10,000円
① + ② + ③ 7,000円引き	40,000円	28,000円 28,000円
合計の出願数と検定料	計9出願 96,000円	

Web インターネット出願 出願の流れ

1 情報の登録

- ・入試情報サイトから、出願ページにアクセス。

🔍 広島修道大学 入試情報サイト

- ・マイページを登録後、基本情報、出願情報等を入力し、支払方法を確認してください。



2 入学検定料のお支払い

クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM (Pay-easy対応端末)、ネットバンキングのいずれかで、入学検定料をお支払いください。

出願登録後、翌日(23:59)までにお支払いください。

※出願最終日は16:00まで



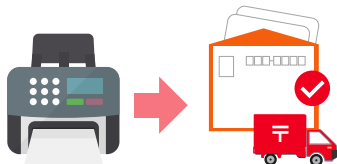
3 書類の印刷・郵送

- ※各入試制度で**必要な書類を印刷**してください。

- ※市販の角2封筒に「宛名シート」を貼付し、期間内に
出願書類を**速達・簡易書留**で郵送してください(締
切日消印有効)。

- ※大学から受験票と写真票は郵送しません。

必ず本人で印刷して試験日に持参してください。



出願手続完了

受 験

受験票記載の試験会場で受験してください。

「受験票」は、試験日当日必ず持参してください。

- ※一般選抜(前期・後期)は**「写真票」**も必ず持参してください。

① 情報の登録

STEP1 「マイページ」にアクセス

本学入試情報サイトのトップページ下にある**インターネット出願**のバナーをクリックすると、出願ページにアクセスできます。

入試情報サイト



「マイページを初めてご登録の方」をクリックし、メールアドレス、パスワードを設定してください。

STEP2 「基本情報」を登録

マイページにログイン後、個人情報、証明写真を登録してください。



STEP3 「出願登録に進む」を選択

基本情報を登録後、「出願登録に進む」から出願登録を始めてください。



※前ページに戻る場合は、画面下の「◀戻る」ボタンを使用してください。ブラウザの戻るボタン（矢印）は使用しないでください。
※出願画面のデザインは変更になることがあります。

STEP4 「入試制度」を選択

受験する入試制度を選択してください。

STEP5 「出願情報」を選択

志望する学部・学科、選択科目、方式、試験地等を選択してください。

STEP6 入力内容の確認

内容に誤りがないか必ず確認してください。

STEP7 アンケートの入力

今後の広報活動の参考とするもので、入学試験の可否とは一切関係ありません。回答は任意ですが、ご協力ください。

STEP8 お支払い方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easy対応端末）、ネットバンキングのいずれかでお支払いが可能です。お支払い方法を確認した後、ページ下部の「登録」ボタンをクリックしてください（お支払い方法の詳細は105ページ参照）。

登録完了画面

「登録番号6桁（受験番号ではありません）」が表示されます。申し込み確認や問い合わせの際に必要になりますので「登録内容確認票（本人保存用）」を印刷し、必ず保管してください。印刷ができない場合は、メモを取っておいてください。次に、「入学検定料の支払い」に表示されている「検定料のお支払いサイトへ」をクリックし、お支払い方法の選択ページに進んでください。

ボタンをクリックすると、お支払い方法の選択ページに進みます。

お支払い方法の詳細は次ページに記載

②入学検定料のお支払い

出願登録後、翌日(23:59)までにお支払いください。※出願期間最終日は16:00まで

STEP1 検定料の支払い方法を選択します。

インターネットで
お支払い完了

クレジットカード
ネットバンキング

画面表示に従ってお支払いを完了してください。

コンビニ
ATM(ペイジー)

STEP2
STEP3

登録完了画面、または出願確認画面より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。

●クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club

●ネットバンキング
主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

STEP2 お支払い情報を確認します。

●コンビニ
コンビニ名を選択した後、お支払い情報取得ボタンを押してください。

コンビニ・ATMでのお支払いに必要なお支払い情報を取得します。
お支払い情報は、お支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

●ATM(Pay-easy)
画面表示に従い、お支払い情報取得ボタンを押してください。

STEP3 選択した支払い方法で検定料を支払います。

STEP2で取得したお支払い情報を持参し、コンビニ(レジ、設置端末)・ATMにて検定料を支払います。領収書は必ず受け取ってください。

コンビニ			ATM		
セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストア	セイコーマート	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	Pay-easy 利用ATM
店頭レジ	店頭レジ	店頭レジ	Loppi		Pay-easy
レジで「インターネット代金支払」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	レジで「インターネット支払」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	支払方法は設置端末のガイダンスページにてご確認ください。	「税金・料金払い込み」などを選択
「払込票番号」を伝える	タッチパネルに「オンライン決済番号」を入力	タッチパネルに「オンライン決済番号」を入力	「お支払い受付番号」を入力		収納機関番号「58171」を入力
	支払い内容確認	支払い内容確認	「電話番号」を入力		「お客様番号」を入力
			支払い内容確認		「確認番号」を入力
	レジで検定料を現金で支払う※		発行された申込券(受付票)をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券(受付票)発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		支払い内容確認
			領収書(必ず受け取る)		「現金」または「キャッシュカード」を選択し支払う※
					利用明細票を必ず受け取る

※ATMを利用する際、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

お支払いの注意事項

- ※入学検定料お支払い後の受験方式・学科・試験地等、**出願内容についての変更はできません。**
- ※入学検定料の他に、決済サービス利用料が必要です。決済サービス利用料は、支払い方法にかかわらず一律1,250円必要です。
- ※入学検定料のお支払いは、必ず出願登録後**翌日(23:59)まで**に行ってください。出願登録後、支払期限を過ぎてもお支払いが完了していない場合、**出願内容が取り消されますのでご注意ください。**なお、**出願締切最終日の入金完了時間は16:00です。**
- ※入金された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

③ 書類の印刷・郵送

総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)

出願書類の入手方法について

出願書類は、入学検定料の支払い後に出願ページの「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。

※学校推薦型選抜(公募)の「出身学校長の推薦書」は、入学検定料の「支払い前」でも、入試情報サイトからダウンロード・印刷できます(6月中旬予定)。ご不明な点は、本学入学センターにお問い合わせください。

出願書類はすべてA4サイズ(片面)で印刷してください。出願シートはカラー印刷してください。



① 全学部「共通」の出願書類

総合型選抜	出願期間内に郵送		試験当日に持参
	マイページから印刷	出身学校で作成	マイページから印刷
	出願シート	出身学校調査書	受験票
	出願内容 ※カラー印刷 証明写真を確認	詳細 P75 参照	受験票
	厳封	厳封	
学校推薦型選抜(公募)	出願期間内に郵送		試験当日に持参
	マイページから印刷	出身学校で作成	マイページから印刷
	出願シート	出身学校長の推薦書	出身学校調査書
	出願内容 ※カラー印刷 証明写真を確認	推薦者が記入	詳細 P93 参照
	厳封	厳封	
			受験票

※受験票は郵送しません。入学検定料の支払い後に、「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷し、試験日に必ず持参してください。

② 総合型選抜、学校推薦型選抜(公募・専願) 出願書類(上記①の出願書類と一緒に郵送してください。)

●の出願書類は、マイページからダウンロードし、出願期間内に郵送してください。※すべてA4サイズ(片面)で印刷してください。

●の出願書類の記入にあたっては、志願者本人の自筆により黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

※志望理由書等、複数枚印刷される出願書類は、最後の1枚を記入していなくてもすべて郵送してください。

学部	学科	総合型選抜		学校推薦型選抜(公募・専願)					
		方式	出願書類	方式	出願書類				
商	商 経営 (共通)	活動実績 重視	●志望理由書(1,500字程度)	英語	●志望理由書(1,000字程度)				
			●活動報告書		●資格・検定等申請書				
		小論文 重視	活動実績を裏付ける客観的資料(写)	指定資格	資格・検定等の証明書(写)				
			●志望理由書(1,500字程度)		●志望理由書(1,000字程度)				
人文	英語英文	—	●活動報告書	英語資格	資格・検定等の証明書(写)				
			●志望理由書(1,000字程度)		●志望理由書(1,000字程度)				
		—	●志望理由書(1,200字程度)	—	●志望理由書(1,200字程度)				
			課題図書		●志望理由書(800字程度)	—	●志望理由書(1,000字程度)		
		課題探究	●活動報告書	レポート(日本語2,000字以内あるいは英語1,000ワード以内)	資格・検定等の証明書(写)				
			●志望理由書(800字程度)				英語	●志望理由書(800字程度)	
			●活動報告書						小論文
			●ゼミナール報告要旨						
法	法律	●志望理由書(800字程度)	英語	●志望理由書(800字程度)					
		●ゼミナール報告要旨			小論文				
		●志望理由書(800字程度)				英語	●志望理由書(800字程度)		
		●活動報告書						小論文	
活動実績を証明する資料(写)	英語	●志望理由書(800字程度)							
●社会問題についての小論文(800字程度)			小論文						
経済科				現代経済 経済情報 (共通)	—	●志望理由書(800字程度)	英語		●志望理由書(800字程度)
						●活動報告書		小論文	●志望理由書(800字程度)
	活動実績を証明する資料(写)	指定資格 英語資格				●メモ用紙(※郵送不要・試験当日持参)			
	●資格・検定等申請書								
人間環境	人間環境		レポート	●志望理由書(800字程度)	指定資格	●志望理由書(800字程度)			
				レポート(3,000字以内)					
		プレゼン テーション	●志望理由書(800字程度)	指定資格			●志望理由書(800字程度)		
			プレゼンテーション資料						
		活動実績	●志望理由書(800字程度)					指定資格	●志望理由書(800字程度)
			●活動実績書						
活動実績を証明する資料(写)	指定資格	資格・検定等の証明書(写)							
健康科			健康栄養		—	●志望理由書(1,200字程度)			
				●志望理由書(1,200字程度)					
				●課題レポート(1,200字程度)					
				プレゼンテーション資料					
国際 コミュニティ			国際政治 地域行政 (共通)	課題図書 指定資格	●志望理由書(800字程度)	英語	●志望理由書(800字程度)		
	●自己アピール書(600字程度)	指定資格			●自己アピール書(600字程度)				
	●志望理由書(800字程度)				課題提出	資格・検定等の証明書(写)			
	●自己アピール書(600字程度)	●課題レポート(1,400字～1,600字)							
	●志望理由書(800字程度)	●志望理由書(800字程度)							
	●自己アピール書(600字程度)	●自己アピール書(600字程度)							

③書類の印刷・郵送

一般選抜、共通テスト利用選抜

出願書類の入手方法について

出願書類は、入学検定料の支払い後に「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。

出願書類はすべてA4サイズで印刷してください。

以下に従って必要な書類を速達・簡易書留で郵送してください。



入試制度別 出願書類

出願期間内に郵送			
一般選抜 (前期・後期)	マイページから印刷	本人で入手	
	出願シート	大学入学共通テスト成績請求票	資格・検定等の証明書(写)
	出願内容	成績請求票 前期の共通テストプラス 方式に出願する場合は 出願シートに貼付	〇〇検定 合格 (写) 前期の共通テストプラス 方式で英語資格を利用 する場合のみ (A4判にコピー)
			出身学校で作成 出身学校調査書等
試験日当日に持参			
マイページから印刷			
受験票		写真票	
受験票 全日程を ととして 1枚		写真票 ※カラー印刷 証明写真を確認 1日程につき1枚	

※受験票は郵送しません。入学検定料の支払い後に、「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷し、試験日に必ず持参してください。

出願期間内に郵送			
共通テスト 利用選抜 (前期・後期)	マイページから印刷	本人で入手	
	出願シート	大学入学共通テスト成績請求票	資格・検定等の証明書(写)
	出願内容 ※カラー印刷 証明写真を 確認	成績請求票 出願シートに 貼付	〇〇検定 合格 (写) 英語資格を 利用する 場合のみ (A4判にコピー)
			出身学校で作成 出身学校調査書等
本人が保管			
マイページから印刷			
受験票			
受験票 1枚			

※受験票は郵送しません。入学検定料の支払い後に、「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷し、合格発表日まで本人が保管してください。

出身学校調査書等について

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合は、卒業証明書(原本)を郵送してください。

※出願前3カ月以内に発行されたもの(原本)。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。
合格証書ではありませんのでご注意ください。

※出身学校調査書等は、**複数の入試制度、学科を受験する場合でも1通**で結構です。
ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

写真について

出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真で、上半身脱帽、正面向き、背景のない、顔の鮮明なものをアップロードしてください。
不鮮明な写真は受け付けません。また、髪の毛が目にかかっているなど、顔が判別しにくいものも受け付けません。
高等学校の制服で撮影された写真でも可とします。

出願書類の郵送について

総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)、一般選抜、共通テスト利用選抜 共通

※必ず出願ページの「マイページ」画面の「出願確認に進む」から「宛名シート」を印刷し、市販の角2封筒の表面に貼付して速達・簡易書留で郵送してください。

※**締切日を過ぎた消印の出願書類は無効になります。**

インターネット出願Q&A

Q 出願書類の漢字等の表示が
■になりました。

A 氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は表示エラーになる場合があります(■で表示されます)。その場合は、代替の文字を入力してください。
例) 高→高 崎→崎
なお、入学手続の際に、戸籍等に記載されている漢字への変更を申請することができます。(変更できない場合もあります。)

Q 登録内容を間違えた場合、
修正はできますか？

A 入学検定料をお支払いの前であればやり直すことはできますが、**入学検定料をお支払いの後は入力内容の変更は一切できません**。入力内容確認画面でよく確認してお支払いください。万一間違いがあった場合は、入学検定料の入金をせず、再度「マイページ」画面の「出願登録に進む」ボタンから入力し直してください。入金された入学検定料は、いかなる理由があろうとも一切返還いたしませんので、よく注意して手続きを行ってください。

Q 受験票は大学から郵送されますか？

A 本学から郵送しません(帰国生選抜は郵送します)。本人で印刷し、試験日に持参してください。

Q インターネット出願を完了した後に、
追加で出願することはできますか？

A 一度インターネット出願を完了し、入学検定料をお支払いの後に追加で出願する場合は、あらかじめ「マイページ」画面の「出願登録」ボタンから追加分のみ出願してください。
ただし、一度完了した出願と組み合わせての割引はできません。
高得点科目重視方式や共通テストプラス方式を追加出願する場合は、「マイページ」画面の「出願確認に進む」ボタンから出願してください。入学検定料のお支払い前であれば、追加分を含めて最初から出願登録をしてください。

Q iPhoneなどのスマートフォンや、
タブレット端末で出願登録は可能ですか？

A iPhoneなどのスマートフォンや、タブレット端末での出願も可能です。ただし、出願書類を印刷する必要があるため、入力完了後、プリンターのある場所で「マイページ」画面の「出願確認に進む」ボタンから印刷してください。

Q プリンターを持っていないのですが、
出願登録は可能ですか？

A プリンターは必要です。出願において、「登録内容確認票」(本人保存用)を印刷したり、「出願シート」(大学送付用)を印刷して、大学へ郵送する必要があります。また、試験当日持参する受験票等も印刷する必要があります。自宅にプリンターのない人は、公共施設、コンビニエンスストア等の、プリンターのある場所での出願書類を印刷してください。

Q インターネット出願の登録が
上手くいきません。

A 以下にお問い合わせください。
①サイトにつながらない等、パソコンの入力操作に関するお問い合わせ
【インターネット出願サポートセンター】
電話番号：0120-752-257
受付期間：出願期間中 9:00～20:00
②入試制度等、登録内容に関するお問い合わせ
【広島修道大学 入学センター】
電話番号：082-830-1100
受付時間：平日 8:45～16:45

Q メールアドレスを持っていないのですが、
出願登録は可能ですか？

A メールアドレスは必要です。登録確定や入学検定料お支払い完了時にお知らせメールを送信します。携帯メールの場合は、送信元(大学のアドレス:s-direct@js.shudo-u.ac.jp、no-reply@52school.com)の受信を許可してください。受信許可の設定方法は、各携帯会社にお問い合わせください。確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。メールアドレスを入力する際に、テストメールの送信を必ず行い、受信できることを確認してください。

Q 出身学校調査書は何通必要ですか？

A 複数の入試制度、学科を受験する場合でも、1通で結構です。ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※インターネット出願および入試関係の最新情報は、本学入試情報サイト上で随時更新しますので、確認をお願いします。

Q 出願した内容は確認できますか？

A 「マイページ」画面の「出願確認に進む」から確認できます。

受験上の注意

試験当日の注意事項

- (1) 試験当日は、試験開始20分前までに所定の試験室に入室してください(可能な限り、公共交通機関で来場ください)。
- (2) **受験票**および**写真票**は、試験当日必ず持参してください(総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)は写真票の持参は不要です)。マイページで登録する証明写真は、高等学校の制服での写真も可とします。
- (3) **毎試験開始後20分以上の遅刻者は受験できません。**
- (4) 受験票および写真票を忘れたり紛失した場合は、入試本部に申し出てください。
- (5) 台風や積雪等による気象状況の悪化、感染症等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、本学ホームページ(<https://www.shudo-u.ac.jp>)にて延期および開始時刻繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご確認ください。
- (6) 感染症(インフルエンザ・はしかなど)にかかっている場合は受験できません。

感染症(インフルエンザ・はしかなど)による入学試験の欠席および入学検定料の返還について

I. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ・はしかなど)にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

II. I.により本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験(欠席日分)にかかる入学検定料を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。

①入学検定料返還の対象者

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ・はしかなど)にかかり、治癒していないために入学試験を欠席した志願者。

注：大学入学共通テストを欠席した場合、共通テスト利用選抜の入学検定料は返還いたしません。また、一般選抜共通テストプラス方式において、一般選抜を欠席した場合は返還の対象になりますが、大学入学共通テストを欠席した場合は、返還いたしません。

②入学検定料返還の申請方法

(A) 以下の日時に電話をしてください。

受付日：欠席をする試験当日 受付時間：9:00～15:00 電話番号：082-830-1100(広島修道大学入学センター)

注：申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱うこととし、入学検定料は返還いたしません。

(B) 以下の申請書類を提出してください。

(a) 入学検定料返還申請書(本学所定用紙) ※電話による申請受付後に本学から郵送します。

(b) 診断書 ※以下の内容が記載されているもの

病 名：学校保健安全法で出席停止が定められている感染症
加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

試験時間中の注意事項

- (1) 試験時間中に机の上に置けるものは、受験票のほかに、黒鉛筆(H、F、HBに限る)、シャープペンシル(黒い芯に限る)、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、時計(計算機能や辞書機能および通信機能つきのものを除く)、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、目薬です。
※人文学部社会学科学校推薦型選抜(公募・専願)の語彙力試験は、HBもしくはBのシャープペンシルを必ず持参。
- (2) 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってカバン等に入れてください。試験時間中にこれらをカバン等に入れずに、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為になります。また、試験時間中にイヤホンを装着している場合も、不正行為になります。
- (3) 不正行為者には退場を命じ、全科目無効とします。
- (4) 試験室には壁掛時計を設置していません。時計を持参してください。なお、計算機能や辞書機能および通信機能つきの時計は使用できません。また、携帯電話等は時計として使用できません。
- (5) 漢字や英単語、和歌等がプリントされている衣服の着用や筆記用具の使用は認めません。
- (6) 試験時間中の退室は認めません。
- (7) 試験室においては試験監督者の指示に従ってください。

解答上の注意事項(一般選抜)

- (1) 「数学」と「理科」以外の科目は各学部とも全部または一部マークシート方式で実施します。解答には黒鉛筆(H、F、HBに限る)、シャープペンシル(黒い芯に限る)、プラスチック製の消しゴムを使用してください。ただし、マークシートにシャープペンシルを使用してマークした場合には、解答が正しく読み取れないことがあります。
- (2) 座席番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- (3) マークシートには、「マーク例」に従って正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない(消し跡が残っている)場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。
- (4) 不正行為者には退場を命じ、全科目無効とします。
- (5) **スタンダード方式は、指定された3科目すべてを必ず受験してください。1科目でも受験しなかった場合は、スタンダード方式、高得点科目重視方式、共通テストプラス方式のすべてにおいて採点対象外となり、受験が無効になります。**

インターネット合否照会について

合格発表は「合格通知書」をもって正式なものとしますので、この「インターネット合否照会」は合格発表の補助的手段として利用してください。

利用方法および注意点

1. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォンで利用できます(通信料金が発生します)。
本学入試情報サイトにて、インターネット合否照会の案内を掲載します。案内に従い、操作してください。
2. 操作方法や受験した学部・学科・入試制度・受験番号に関する問い合わせには応じられません。
3. 「誤操作」や「見間違い」等を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。
4. 合格発表直後はアクセスが集中することが予想されます。アクセスが集中した場合は表示に時間がかかる場合がありますので、少し時間をずらしてアクセスしてください。

入学手続について

【一括手続】または【分割手続】のいずれかを選択し、手続をしてください。**※他大学と併願する場合は、【分割手続】を選択してください。**

分割手続の場合、第1次入学手続を完了していないと、第2次入学手続はできませんので注意してください。

一般選抜(前期日程)／共通テスト利用選抜(前期日程)

		手続期間				
手続種別	手続内容	2026年2月16日(月)～	2月20日(金)	…	3月4日(水)～	3月23日(月)
一括手続	入学金の納入	→				
	前期分諸納付金の納入	→				
	インターネット入力	→				
	手続書類の郵送(締切日消印有効)	→				
分割手続	入学金の納入	→				
	前期分諸納付金の納入				→	
	インターネット入力				→	
	手続書類の郵送(締切日 必着)				→	
一括手続 分割手続 共通	卒業証明書または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本の郵送(既卒者は不要、締切日 必着) 2026年3月4日(水)～3月23日(月)					

一般選抜(後期日程)／共通テスト利用選抜(後期日程)

		手続期間				
手続種別	手続内容	2026年3月16日(月)～3月23日(月)				
一括手続	入学金の納入	→				
	前期分諸納付金の納入	→				
	インターネット入力	→				
	手続書類の郵送(締切日 必着)	→				
一括手続	卒業証明書または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本の郵送(既卒者は不要、締切日 必着) 2026年3月16日(月)～3月23日(月)					

***入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。**

入学金や前期分諸納付金を期限までに納入しなかった場合も同様です。

***入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。**

追加合格者、補欠者の繰り上げ合格者の入学手続は、個別にご案内します。

総合型選抜の入学手続は76ページ、学校推薦型選抜(公募)の入学手続は94ページを参照してください。

諸納付金について(2026年度)

現在、広島修道大学の初年度および4年間の学費は以下のとおりです。

商学部／人文学部 社会学科／人文学部 英語英文学科／法学部／経済科学部 現代経済学科／人間環境学部／国際コミュニティ学部

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸 納 付 金 (納付期限9月30日)			
			入学手続時	第1次 入学手続時	第2次 入学手続時				
諸 納 付 金	学 費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	390,000	0	390,000	390,000	780,000	780,000	3,120,000
	そ の 他	施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
		後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			731,000	220,000	511,000	500,000	1,231,000	1,011,000	4,264,000

人文学部 教育学科／経済科学部 経済情報学科

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸 納 付 金 (納付期限9月30日)			
			入学手続時	第1次 入学手続時	第2次 入学手続時				
諸 納 付 金	学 費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	405,000	0	405,000	405,000	810,000	810,000	3,240,000
	そ の 他	施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
		後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			746,000	220,000	526,000	515,000	1,261,000	1,041,000	4,384,000

健康科学部 心理学科

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸 納 付 金 (納付期限9月30日)			
			入学手続時	第1次 入学手続時	第2次 入学手続時				
諸 納 付 金	学 費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	410,000	0	410,000	410,000	820,000	820,000	3,280,000
	そ の 他	施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
		後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			751,000	220,000	531,000	520,000	1,271,000	1,051,000	4,424,000

健康科学部 健康栄養学科

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸 納 付 金 (納付期限9月30日)			
			入学手続時	第1次 入学手続時	第2次 入学手続時				
諸 納 付 金	学 費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	450,000	0	450,000	450,000	900,000	900,000	3,600,000
	そ の 他	施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
		後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			791,000	220,000	571,000	560,000	1,351,000	1,131,000	4,744,000

※分割手続または一括手続のどちらかを選択することができます。

※学校推薦型選抜(指定校・後期日程)、社会人選抜、外国人留学生選抜、編入学試験、学士入学試験、一般選抜(後期日程)、共通テスト利用選抜(後期日程)の手続は、一括手続となります。

※学校法人修道学園が設置する高等学校出身者の入学金は半額となります。

入学辞退者への入学金を除く前期分諸納付金の返還について

入学手続を完了した後に、本学入学を辞退する方については、入学金を除く前期分諸納付金を返還いたします。返還を希望される方は、**2026年3月25日(水)～3月31日(火) (16:45必着)**までに「入学辞退届」を提出してください。**提出されない場合は返還いたしません。**

教育ローン

公的な融資機関として日本政策金融公庫があります。

相談については教育ローンコールセンター(TEL 0570-008656)へお問い合わせください。

奨学金制度

奨学金制度

のびのびとした学生生活を送るには経済的な安定が必要です。広島修道大学では日本学生支援機構や地方公共団体などの奨学金制度に加え、本学独自の奨学金制度を設けています。経済的理由により修学が困難な学生や、家計の急変によって学業の継続が困難になった学生などを対象に、奨学金の貸与・給付を行っています。毎年多くの学生が利用し学業の継続を実現しています。

奨学金制度一覧(2025年度)

区分	種別	貸与・給付・減免金額	募集要件/人数	募集時期
学部	高等教育の 修学支援新制度 (詳しくは文部科学 省ホームページで ご確認ください。)	扶養する子の 数が2人以下	給付奨学金(月額) 支援区分※1 第Ⅰ区分 38,300円(42,500円) 第Ⅱ区分 25,600円(28,400円) 第Ⅲ区分 12,800円(14,200円)	4月・9月※2
			給付奨学金・ 授業料等減免 支援区分※1 第Ⅰ区分 700,000円 第Ⅱ区分 466,700円 第Ⅲ区分 233,400円	
			授業料等減免 支援区分※1 第Ⅰ区分 700,000円 第Ⅱ区分 466,700円 第Ⅲ区分 233,400円	
		扶養する子の 数が3人以上 (多子世帯)	給付奨学金(月額) 支援区分※1 第Ⅰ区分 38,300円(42,500円) 第Ⅱ区分 25,600円(28,400円) 第Ⅲ区分 12,800円(14,200円) 第Ⅳ区分 9,600円(10,700円)	4月・9月※2
			給付奨学金・ 授業料等減免 授業料700,000円(年額)、入学金220,000円(入学時のみ)	
			授業料等減免のみ 授業料700,000円(年額)、入学金220,000円(入学時のみ)	4月・9月
	日本学生 支援機構 貸与型奨学金	第一種(無利子)	(月額) 自宅通学:2万円、3万円、4万円、54,000円(貸与) 自宅外通学:2万円、3万円、4万円、5万円、64,000円(貸与) の中から選択できる ただし、最高月額(自宅通学54,000円、自宅外通学64,000円)は併用貸与の基準を満たした者のみ選択できる。	4月
		第二種(有利子)	(月額)2万円、3万円、4万円、5万円、6万円、 7万円、8万円、9万円、10万円、11万円、12万円 の中から選択できる(貸与)	
	広島修道大学短期特別奨学金		授業料等諸納付金相当額(貸与)	一時的に学費の支払いが困難な学生で2ヵ月以内に 全額返済が可能な場合。貸与回数は3回まで
	広島修道大学修学奨学金		年額20万円(給付) (在学中1回)	若干名。前期募集は前年度において、後期 募集は前年度10月から当該年度9月にお いて、家計が急変し極めて修学が困難な者 前期募集:4月 後期募集:9月
	広島修道大学同窓会奨学金		年額20万円(給付) (在学中1回)	7名以内。修学意欲があるにもかかわらず、 家計困窮により学業の継続が困難な者 前期募集:4月 後期募集:9月
	広島修道大学経済支援奨学金		年額20万円(給付) (在学中1回)	20名(前期10名、後期10名)以内。 修学の熱意があるにもかかわらず、 経済的な事由により学業の継続が困難な者 前期募集:4月 後期募集:9月

※1 支援区分はマイナンバーによる住民税情報により算出された支給額算定基準額による収入基準で判定されます。詳細は日本学生支援機構の奨学金の制度(給付型)で確認ください。
※2 家計急変については随時申し込みを受け付けます。ただし、家計急変の事由が発生した時点から3ヵ月以内に申し込む必要があります。
※3 扶養する子の人数はマイナンバーによる住民税情報で判定されます。

在学生スカラシップ制度

在学生スカラシップは、学業成績が優秀な学生を対象に奨学金を給付する制度です。社会に貢献できる人材を積極的に育成するのがねらいです。

区分	採用人員	一人あたりの金額
在学生 スカラシップ	2～4年生 171名※	25万円

※2025年度の対象者数

課外活動スカラシップ制度

課外活動やこれに類する活動を通じて、社会に貢献できる有為な人材を育成するためのスカラシップ制度です。この制度は、本学学部在籍する正規学生で学業、人物ともに優れ、特に文化活動、体育活動その他課外活動、またこれに類する活動において顕著な実績を挙げ、当該年度に学長賞を受賞した者に奨学金を支給するものです。奨学金の額は、個人10万円、団体30万円です。

資格取得スカラシップ制度

複雑多様化する高度社会に対応する人材を育成するため、本学学部在籍する正規学生で学業、人物ともに優れ、特に難易度の高い資格取得者に対し奨学金を支給する制度です。奨学金の額は、最優秀賞5万円、優秀賞3万円です。
※2026年度から金額が変更となる場合があります。

合格への道

受験生へのアドバイス[一般選抜・前期日程] 2025年度入学試験を振り返って

英語 English

■出題のねらい

大学入試の英語問題は、学習指導要領に基づき、高校で習得した英語の基礎知識と技能を総合的に評価することを目的としています。試験問題の構成はどの日程を選んでも同じで、全体で50問のマークシート方式です。この問題構成および解答方式は2026年度も継続する予定です。[I]では、基本的な語彙・文法・語法・イディオムなどの知識項目を20問出題し、基本的な知識の定着度および理解度を問います。[II]では、短い会話のやりとりから、基本的な会話表現の知識を問います。[III]では、日常的な場面でのコミュニケーション能力を評価するため、会話の流れを理解する能力を問います。[IV]、[V]、[VI]では、多様なテーマの読解問題を出題し、みなさんの読解力と論理的思考力を評価します。これらの読解問題では、語彙・文法や単発的な表現の知識だけでなく、文章の構成や論理展開を分析し、筆者の意図を的確に把握する能力が重要となります。出題の難易度については、[I]、[II]では高校2年生までの基本知識を問う問題が大半です。[III]から[VI]では大学入学共通テストと同程度を意図しています。これらの問題を通して、本学での英語授業への対応力を測ります。

■答案を採点して

A日程

[I]何が主語かを考え、動詞の用法にも気を付けて問題を解きましょう。[II]短い会話文はよくできていました。[III]長い会話文は正答率の低い問題もいくつかありました。会話の流れや状況、発話の意図を捉えて適切な表現を選ぶことが求められます。[IV]から[VI]のやや長い文章を読む際にも、肯定的または否定的な意味合いで書かれているのか、事実か意見か、過去のできごとか現在の状況かなどを見極めながら読み進める必要があります。普段からこれらを意識して英文を読む習慣をつけると良いでしょう。全体の正答率は58.2%でした。

B日程

試験問題の構成は[I]文法・語法20問、[II]会話文5問、[III]会話文6問、[IV]長文読解(空所補充)7問、[V]長文読解6問、[VI]長文読解6問の計50問でした。平均正答率は49.8%で、特に正答率が低かったのは長文読解(空所補充)です。長文の空所補充は

空所の前後だけで判断せず、全体の論理展開を捉え、空所の意味を推論する必要があります。そのためには、まずは文法・語法の基本をしっかりと身につけた上で、比較的易しい長文を数多く読むことを心がけてください。

C日程

平均正答率は52.2%でした。[II]、[III]の会話問題はよくできていました。[IV]の長文空所補充問題では、文脈を把握して、適切な接続表現や副詞句を選択する問題の正答率が低くなりました。また、[VI]の長文読解問題では、数量形容詞や比較級を使った慣用表現が選択肢の英文に含まれると正答率が低くなりました。新聞記事や論文など、情報にデータがふくまれる文章を読むためには、英語で数量に関する慣用表現をしっかりと身につけておくことが大切です。

■受験生へのアドバイス

本学の一般入学試験の英語で合格点を獲得するためには、日々の学習において以下の点を意識してください。まず、小問対策として、基本的な語彙・文法・語法を正確に身につけましょう。教科書や参考書だけでなく、ふだんから辞書や文法書を活用してください。会話問題対策としては、よく使われる表現を学び、様々な場面を想定して練習しましょう。声に出して練習するため、スマートフォンやPCでAIと会話することも効果的です。読解問題対策としては、幅広い話題の英文に触れてください。インターネットの学習者向けのサイトでも、様々な英語に触れることができます。英語でのチャットに参加すれば、より実践的な英語力を身につけることができます。知識を集めるだけでなく、実際に英語を使うことを意識してください。広島修道大学には、豊富な海外プログラムがそろっています。英語学習は、大学入試のためだけでなく、入学後、みなさんが世界でさまざまな経験を積むための基盤となります。大きな夢に向かい、努力を積み重ね、自信を持って試験に臨んでください。

国語 Japanese

■出題のねらい

本学の国語入試では、評論、論説、随筆、小説、古典文学などを題材に、3つの文章が出題されます。設問は、国語の基礎知識・技能、文章の読解力を問うものです。各大問につき設問が6つ程度出題されています。

近現代の文章(いわゆる「現代文」)では、漢字の読み書き、語彙や修辞、文学史の知識等が問われる他、文章全体の要旨や論理展開の把握、本文中の一節の理解等が問われます。例えば、設問で取り上げられる箇所の言い換えや具体的に指示示す内容などを本文中から抜き出したり、選択肢の中から選ぶことを求められるような問題が出題されています。また、空欄に当てはまる接続詞を選択肢から選ぶなど論理展開の理解を問う問題も出題されています。

古文に関しても、語彙や文法の知識や文学史的知識などの基礎知識を問う設問と内容の読解に関わる設問が出題されます。

■答案を採点して

全ての日程で漢字の読み書きに関する出題がありました。昨年度、一昨年度と、該当する漢字を選択肢から選ぶ形式での出題のみとなっています。正答率についてはばらつきがありますが、それだけに得点の差がつく問題となっていると言えます。語彙に関わる問題も引き続き全ての日程で出題されました。正答率が比較的に高い一方で、評論文等に使用される概念的な語については正答率が低く、これも差がつく問題だと言えます。

古文では、基本的な古文知識、重要語句、文法に関する知識を問う設問がすべての日程で出題されました。

■受験生へのアドバイス

現代文では、語彙の問題で差がつくものがあります。日常的に辞書を活用したり、国語の教科書の巻末資料や国語便覧などを参照して、特に、評論等で用いられる概念的な語の意味を理解し、説明できるようにしておくとい良いでしょう。

文章の内容理解に関わる問いについて、評論や論説、随筆では、接続詞などに注目して、筆者の論理展開に気を付けながら読む練習をしましょう。部分と文章全体の関係に注意して読むことも重要です。筆者の主張やそれを支える理由や根拠の関係に注意して読みましょう。また、全体と部分については、全体をまとめるような部分や語、特に具体をまとめるような抽象的・概念的な語や一文と、他の部分との対応関係にも気を付けて読みましょう。

文学的な文章では、情景や登場人物の心情を表す表現や修辞に注意して読み、その意味や効果を考えるようにしましょう。これは、古文の文学的な文章でも同様です。

古文については、重要語句や文法の知識を用いて解釈や現代語訳ができるようにしておきましょう。特に、現代語とは形は同じでも意味が異なる語については、注意が必要です。複数の意味を持つ語も多いので、頻出する語については、複数の意味を押さえておきましょう。

国語では、例年、やや長めの文章が3題出題されます。基礎的な知識を基盤に、文章内容や全体の要旨、表現の工夫や効果の読解について時間を意識して取り組むようにしましょう。

■出題のねらい

本学の「世界史」の問題は、東洋史(東アジアから西アジアまでの地域の歴史)から1問、西洋史(ヨーロッパと南北アメリカ大陸の歴史が主ですが、アフリカやオセアニアなどの地域の歴史もここに含めます)から2問の計3問からなります。古代から現代までの地球上のすべての地域の歴史についての受験生の理解を幅広く試す問題が出されます。問題は高校で採用されている教科書に準拠して作成され、とくに難しい設問はありません。受験生の平均点が50点から60点程度になるように作られています。複数の地域や広い時代にまたがる内容の問題もありますし、また文化、政治、経済など特定のテーマに関する設問もあります。解答形式は基本的にマーク解答ですが、日程によって記述解答の問題が出題されることもあります。

■答案を採点して

昨年度出題された各問題のテーマを以下に掲げます。昨年度はすべてマーク解答の問題でした。

A日程 [I] 中国古代史(殷から南宋までの首都の変遷) [II] 15世紀から17世紀のヨーロッパ史(オランダとイギリスを中心として) [III] ロシア革命(二月革命から十月革命までの流れ)

B日程 [I] 東南アジア史(16世紀から20世紀まで) [II] 神聖ローマ帝国の中世史(10世紀から15世紀まで) [III] 近代イギリス史(自由貿易体制と帝国主義)

C日程 [I] 台湾の歴史(16世紀から20世紀まで) [II] 古代ローマ史(ポエニ戦争から五賢帝時代) [III] 近世ヨーロッパ史(三十年戦争後のドイツの動きを中心として)

受験生の正答率は次のとおりです。

A日程: [I] 70.5%、[II] 88.0%、[III] 71.7% 全体で76.7%

B日程: [I] 52.7%、[II] 73.1%、[III] 84.0% 全体で69.9%

C日程: [I] 41.5%、[II] 56.0%、[III] 67.9% 全体で54.7%

正答率が低かった問題について見ると、B日程の[I]は東南アジアの王朝の交代を問う問題が多く、皆さんにとってはなじみが薄い分野だったようです。C日程の[I]

■出題のねらい

「日本史」の問題は、新学習指導要領による科目「日本史探究」についての基礎的な理解を試すことに力点を置いています。ですので、標準的な問題で、受験生の「日本史探究」についての基本的な学力を幅広く試したいと考えています。出題の時代は、古代、中世、近世、近代、現代のすべての範囲にわたります。出題の対象分野は、政治史、経済史、文化史、社会史など多様な分野にまたがります。設問によっては、古代、中世、近世など特定の一時期に関するものもありますし、教育史や貨幣史、仏教史など一つの対象分野について通時的に問う問題もあります。時代、分野については、偏らないようにバラエティーに富むように心がけています。作問にあたっては、「日本史探究」の教科書に準拠して問題を作成し、平均点が60点から70点程度になるように作成しています。

本年度の問題は、以下のようになっています。

A日程 [I] 奈良時代の政治文化史、[II] 江戸時代の流通・貨幣・交通、[III] 明治時代の思想・教育・演劇、[IV] 近代日本において締結された条約・協約

B日程 [I] 「日本文化のあけぼの」(日本列島の形成から農耕社会の成立)、[II] 鎌倉・室町時代の外交・対外関係史、[III] 1900年代から1920年代の政治外交・社会の動き、[IV] 戦後改革と戦後改革期・戦後復興期の政治史

C日程 [I] 飛鳥時代と律令国家の形成、[II] 奈良・平安・鎌倉時代の土地制度史、[III] 明治立憲国家の形成、[IV] 戦後の経済史

このように、各試験日とも、大問4題で、江戸時代以前と明治時代以降の両方が含まれるように、問題を組み合わせています。戦後史が出題されている点にも注意してください。

出題形式ですが、マーク式問題を基本としています。C日程の試験では、正確な歴史理解を問うために、マーク式問題と記述式問題を組み合わせています。他日程は、すべてマーク式問題です。全日程を通じて、教科書を丁寧に繰り返し勉強しておけば、対処できる設問となるように心がけています。教科書の表や注の記述、基本的な史料(絵画、仏像、建築物などの写真も含む)にも十分に注意を払ってください。

と[II]は空欄補充問題がほとんどなく、選択肢の記述内容の正誤を判別する問題が大部分だったことが、正答にたどり着くことを困難にしたようです。どの問題も教科書の範囲内からの出題ですが、正誤判別問題ではたんに地名や人名を覚えるだけではなく、教科書に載っている複数の歴史事象を総合的に把握して理解しておくことが要求されます。固有名詞を覚えることはもちろん大切ですが、歴史の探究はその後に始まります。とはいえ入学試験では、受験生の学習成果が点数に適切に反映される出題が望ましいので、極端に難しい問題とならないよう、出題するわたしたちはよりいっそう慎重な出題を心がけます。

■受験生へのアドバイス

世界史の問題は高校で使用する教科書に準拠して作成されており、皆さんが日頃の勉強を通じて基本的な事柄を理解しているかどうかを問うものです。基本的な歴史事実を覚え、それらが生じた因果関係を流れとして理解するよう心がけてください。また、ヨーロッパ史や中国史など特定の地域に偏ることなく、南北アメリカ大陸、イスラーム地域、中央アジア・東南アジア・南アジア、さらにアフリカの歴史についても広く学習することが大切です。時代についても古代から現代まで、幅広く歴史の流れを把握するようにしましょう。近現代史分野の問題では、やや細かい事項を問われることが多いので、歴史事典や用語集などを活用して知識の整理をすることが大切です。教科書に掲載されている人物、建築物、事件などを表した絵画、写真、地図などと教科書の本文の記述とを照合して、世界史の動きを立体的に理解することも勧めます。

■答案を採点して

記述式も含めた平均正答率をみますと、A日程は[I] 46%、[II] 53%、[III] 53%、[IV] 59%、B日程は[I] 83%、[II] 77%、[III] 42%、[IV] 56%、C日程は[I] 55%、[II] 68%、[III] 46%、[IV] 47%、です。日程ごとの平均正答率は、A日程52%、B日程は63%、C日程54%、です。マーク式・記述式ともに正答率が低かったのは、明らかに明治以降についてです。B日程の[III] 1900年代から1920年代の政治外交・社会の動き、C日程の[III] 明治立憲国家の形成、[IV] 戦後の経済史は、正答率が50%に達していません。また、記述式問題の正答率も50%に達していません。

明治以降の問題は、どの日程とも半分の分量を占めています。明治以降の問題への対策が必要です。A日程[I] 奈良時代の政治文化史は古代の問題でしたが、正答率が低くなりました。これは写真を使用した問題だったことによります。写真を使用した問題は、毎年出題されています。写真問題への対策も必要でしょう。

比較的定番の内容を問う設問に関しては正答できても、少し応用が加わると、できなくなってしまう印象があります。言葉の単純な暗記ではなく、物事の意味内容まで踏み込んだ理解が求められます。また、歴史的事柄の因果関係を理解することも重要です。

記述問題は、うろ覚えでは対処できません。記述問題は、漢字で正確に書かなければ正答になりません。重要な用語は、普段から繰り返し書くように心がけて欲しいと思います。基本的な用語については、確実に書けるようにしておきましょう。

■受験生へのアドバイス

過去問をみてもおくのは、出題傾向を知る上で有効です。そうすると、古代から現代までの歴史全体の流れを勉強することが必要であることが分かります。全体的にみると、江戸時代までの問題は比較的よく出ていますが、明治以降の問題は正答率が低くなります。特に、戦後史に関する問題は毎年出ています。戦後史についての学習を心がけてください。

勉強に近道や抜け道はありません。日頃の着実な積み重ねが大事だと思います。健闘を祈ります。

合格への道

受験生へのアドバイス[一般選抜・前期日程]

2025年度入学試験を振り返って

地理

Geography

■出題のねらい

地理が扱う内容は多方面に渡り、それらが相互に関連し合っています。幅広い学習の達成度が得点に反映されるように、どの日程でも主題が広範囲にわたり、地域的に偏りなく出題するように配慮しています。大切なのは、基礎的事項の正確な理解(知識理解)と、諸事象を関連させて理解する応用的な思考力(データ等資料に基づいた分析能力)です。出題のねらいは、そのような着実かつ柔軟な学習の達成度を問うことにあります。

■答案を採点して

A日程:[I]宇都宮市の地域調査に関する問題。正答率はまずまずでした。
[II]資源・貿易に関する問題。正答率はやや低めでした。[III]生活・文化に関する問題。正答率はやや低めでした。全体の平均点はやや低く、やや難しいレベルの問題だったといえます。

B日程:[I]自然環境に関する問題。正答率はやや高めでした。[II]工業に関する問題。正答率はまずまずでした。[III]人口に関する問題。正答率は低めでした。全体の平均点はまずまずで、標準レベルの問題だったといえます。

C日程:[I]世界の自然環境と環境問題に関する問題。正答率はやや低めでした。[II]余暇と観光・交通・通信に関する問題。正答率は低めでした。[III]都市・村落に関する問題。正答率はやや低めでした。全体の平均点はやや低く、やや難しいレベルの問題だったといえます。

■受験生へのアドバイス

2024年度から、大問3問の形式に変更となりました。今後も、いずれかの日程でマーク・記述併用となります。基礎として世界の国々や日本の都道府県の地図上の位置を憶えておくことが求められます。統計は、統計表にある国の順位を正確に暗記することが重要なものではありません。その背景にあることを理解していれば解ける問題が多いはずで、正誤判定問題は、用語や事象について、その原因や背景を含めた正確な理解が必要となります。資料やデータから何が読み取れるのかを問う問題も各日程で出題されますので、その点に留意して学習を進めて下さい。

政治・経済

Politics・Economics

■出題のねらい

出題のねらいは、高校の授業や、教科書・資料集で説明されていることを理解しているかを確認することにあります。また、時事問題など、現実起こっている政治上・経済上の事象を、授業や教科書・資料集での説明をもとに考えることができるかについても、確認します。各日程では、政治・経済の各分野に関する問題を出題します。政治・経済いずれの分野も、時事的な問題が含まれることがあります。

■答案を採点して

A日程ではマークシートと記述の両方で解答する問題を、B日程とC日程ではマークシートで解答する問題を出題しました。平均点はいずれの日程でも約6割でした。

確実に得点するためには、高校の授業や教科書で説明されることを理解しておくことが重要です。事項の名称だけでなく、その意味、同一分野・単元の他の用語との関連性、制度の全体のなかでの位置づけ、その事項ができた時間的経緯なども理解しましょう。そうすることで、教科書に書かれている事項を、応用して使うことができるようになります。また、記述での解答が求められている問題では、漢字を正確に書くことができず、点数を落とす場合もあります。細かく注意を払って正確に漢字を書き、読んで理解できる文を書くよう、心がけましょう。

■受験生へのアドバイス

第一に、教科書で説明されていることを理解しましょう。試験で問われているのは、高校の授業で説明されることを理解しているかどうかということです。そのため、授業で使われている教科書を理解することが重要です。太字で書かれた事項だけを覚え、切り取られた無意味な言葉を頭に詰め込むのではなく、その意味、他の事項との関連性、制度全体のなかでの位置づけなどを理解したうえで、それを応用できる準備をしておく必要があります。

第二に、授業で使われる資料集で示されている情報を確認しましょう。資料集には、重要な情報があります。表にまとめられた情報、数値で表現された情報、図示された情報は、理解の助けにもなります。教科書で示されている表や図といっしょに、確認しておきましょう。そうすることで、応用のきかない用語の記憶だけに時間を割いてしまうことなく、全体像、関係性、時間的な経緯が理解できるようになります。

第三に、分野を限定せずに、教科書の全体を勉強しましょう。出題される問題は、政治と経済のどちらかが極端に多いということはありません。また、政治・経済いずれの分野においても、特定の部分に絞ることなく、いろいろな部分の情報を使って出題されます。加えて、両分野の融合問題が出題されることもあります。そのため、勉強する分野と勉強しない分野をつくることなく、教科書で扱われているすべての分野を勉強しましょう。

最後に、時事問題に関心を持ちましょう。「政治・経済」で学習する内容は、現代の社会生活に関わるものですから、時事問題に関する事項が出題される場合もあります。授業で説明される情報は、時事問題の理解にも役立ちます。ニュースは難しいと考えるのではなく、わからないことであっても、徐々に理解していこうと考えて、関心を持っておくと、授業で学習したことへの理解も深まり、試験で解答をするときに役立ちます。

■出題のねらい

中学・高校で学習した数学の基礎学力（基礎概念の理解、論理の展開、計算力等）が身についているかどうか判定できるような問題を作成した。特に、本学の開講科目の中で用いられることが多い、データの分析、場合の数と確率、指数関数と対数関数、微分等の単元を重点的に出題している。

■答案を採点して

〔I〕は穴埋め形式で出題した。解答の導出過程が採点の対象とならないため、計算ミスや解答の書き間違いをすると0点となる。また、問題によっては要求された形で解答する必要があるため、問題文をよく読み、指示を見逃さないように注意してほしい。なお、数学の解答の数値や数式はなるべく整理した形で書き、分数も約分をして既約分数の形で表すことが求められる。

〔II〕、〔III〕は記述式の問題である。答えに至る過程を論理的に説明しなければならないため、答えのみ書かれている答案や過程が論理的に正しくない答案は（たとえ答えの数値が正しくても）点数が付かないこともある。例えば2025年度入試のA日程の〔II〕は三次関数の極値を問う問題だったが、導関数の零点を元の関数に代入した値が極値であるとして極値を回答している誤答が目立った。また、不十分な増減表を根拠に極値であると主張している答案も散見されたが、極大値と極小値を決定するのに必要な情報が盛り込まれていないければ不正解となる。想定していた解答は、導関数の符号の変化が過不足なく記載された増減表を作成し、それを根拠に極大値と極小値を求める、というものである。どの教科書にも例題として掲載されている標準的な問題なので、対策として、横着せず丁寧に回答する習慣を身につけることを強く勧めたい。

■出題のねらい

生物基礎の設問は、高等学校教科書の内容である「生物の特徴」、「ヒトのからだの調節」、「生物の多様性と生態系」から、生物は、「生物の進化と系統」、「生命現象と物質」、「遺伝情報の発現と発生」、「生物の環境応答」から出題し、受験生の平均として60%程度の正答率を想定して作成しています。生物基礎では生命科学理解の基礎となる知識を、生物では生命現象をさらに広範囲に扱って原理原則の理解を問う内容が中心となっています。生命の成り立ちや仕組み、ヒトを取り巻く環境について十分に理解していることが求められます。出題は、基本用語の理解はもちろんのこと、図表だけでなく問題文を正しく読み取ったうえで全体の流れを理解して正解を導き出すといった思考や計算を要する設問構成となっています。

■答案を採点して

文章中の説明文を読み、正しい用語を埋める問題がある一方で、本質的な仕組みを理解していないと解くのが難しい問題も出題されましたが、全体としての難易度は標準的であったと思います。しかし、できている人とそうでない人の点数差が大きいだけでなく二極化傾向もみられるようです。この傾向は、基礎をしっかりと固めているかそうでないかと教科書や問題の文章を正しく読み取り、理解しているかによるようです。用語を記入する問題は容易な内容ではありましたが、全体像として理解しているか、正しく問題文を読み取っているかによって大きく差が出ています。教科書で太字になっている用語だけでなく、生命活動における前後のつながりにもしっかり目を向けてください。同様に、計算を必要とするものや図表から思考する問題においても、前後のつながりを理解しているかないかで差がついています。記憶した点をつないで線にして思考する問題にも慣れておく必要があるでしょう。また、漢字の誤りや指定された解答方法（記号番号や語）と異なる解答もいくつか見られました。

2025年度入試では手を付けやすく典型的で基礎的な問題を増やし、その代わりに昨年度と比べて厳しい採点基準を設定している。その結果、答えのみの答案や計算用紙のようにあちこちに式を書きながっている答案はもちろんのこと、明らかに横着をして書かれた読めない答案や解説が困難な答案などはいずれも解答者の実感より低い点数になっていると予想される。

■受験生へのアドバイス

インターネットの普及により、従来の暗記偏重型の勉強の価値は薄れてきた。AIの登場によりその傾向はますます顕著になっている。しかしながら、最低限の言葉の定義を知らなければ、他者やAIとのコミュニケーションに支障が出ることは容易に想像できると思う。数学分野も例外ではない。パズルのように不必要に複雑な入試問題を解ける必要はないが、基本的な用語の定義や基礎的な計算公式は正確に覚える必要がある。そのうえで、教科書にある例題を納得いくまでしっかり解き、模範解答と見比べてなぜそのような解答が必要となるのか、自分なりに説明できるようになっておくことが理想である。数学の勉強を通じて、自分の考えを論理的に正しく丁寧に伝えられる能力が磨かれることを期待している。

■受験生へのアドバイス

まずは、本学の入試要項を確認し、試験範囲を正確に把握しておいてください。教科書の内容をきちんと理解しているかどうかを試す知識問題を土台としていますので、教科書を使用した学習で正確な知識を増やしておいてください。

そのうえで、きちんと理解できているか思考を問うための図表を用いた問題が増えています。表面的な知識を単純に覚えようとするだけでは、理解が進みません。また、用語を単に記憶するだけではなく、その前後のつながりや全体像を意識して理解しておく必要があります。そのためには、教科書内の写真や図、表を参考にしながらイメージし、時には自分や身の周りの環境に置き換えたりすることも理解を深めるために役立つでしょう。教科書にある「観察・実験」や「思考」の部分もしっかり学習し、実践的な問題にも対応できるようになっておきましょう。とくに、生物では図表の数値を正しく読み取るだけでなく、問題文を正しく読み取って流れを理解したうえで判断したり計算したりする問題も増えています。生物に限らず、基本的な文章の読み取り力や計算力もしっかり身につけるようにしてください。最後に、単純に語を解答する問題であっても、正しく教科書や問題の文章を理解していないためか、教科書にある語であっても解答すべき語ではないことが多数ありました。日ごろから文章を表面的に読み飛ばすのではなく丁寧に読んで、内容を正しく理解するように心掛けてください。

合格への道

受験生へのアドバイス[一般選抜・前期日程]

2025年度入学試験を振り返って

■出題のねらい

本学の化学基礎・生物基礎では、受験生が平均して60%程度の正解率になるように想定した設問を作成しています。大学での学修に必要と思われる基礎的な内容を正確に理解しているかを問うようにしています。

化学基礎の設問は、概ね高等学校検定教科書の化学基礎の範囲の全内容から出題するようにしています。大きく分けて「化学と人間生活」、「物質の構成と化学結合」、「物質の変化」などの各内容について、化学の理解に必要な用語や化学反応や現象に関する基礎的な内容を十分に理解しているかどうかを問います。問題は、選択肢から正解を選ぶ問題と化学反応式や計算、用語等の記述式問題から構成されています。

生物基礎の設問は、高等学校教科書の生物基礎の内容である「生物の特徴」、「ヒトのからだの調節」、「生物の多様性と生態系」から出題しています。生命科学理解の基礎となる知識を問う内容となっており、生命の成り立ちや仕組み、ヒトを取り巻く環境について十分に理解していることが求められます。そのうえで、基本用語の理解はもちろんのこと、図表を正しく読み取ったうえで正解を導き出すといった思考や計算を要する出題も取り入れています。

■答案を採点して

化学基礎の出題は、問題内容に応じて語句・説明文などを選択肢の中から選ぶもの、化学を理解する力ギとなる語句や化学式等を記述する形式の問題、および化学反応式などの記述や計算問題を出題しました。化学の基本的な用語や基礎知識を問う問題については、得点にあまり違いが見られませんでした。化学反応式の記述や計算問題については、できていた人とできなかった人がいました。

各日程において、大問Ⅰでは主に化学に関する基本的な用語や現象の意味を正しく理解しているか、大問Ⅱでは主に化学構造・物質・反応等に関連する用語・記述法・計算法を理解しているか、また大問Ⅲでは、主に「酸と塩基の反応」と「酸化還元反応」について、基礎的な現象を理解しているかどうかを問いました。化学反応式やその計算について問う問題で、得点に差がついたように見えました。基礎知識を活用して、なぜそのように反応が起こるのか、どう計算できるのかが大切で、それがキチンと理解できている人とそうでない人に分かれていたようです。日程間の出題のレベルに差はなかったと思われますが、正解率では、少し差が生じていました。計算問題では、必要な単位の理解、計算の仕組みの理解、有効数字の理解などが重要です。大学での学修には必ず必要なものです。高校での授業等を通して、しっかりと理解をしておくことを望みます。

全体的には標準レベルから易しいレベルの難易度で出題しています。今回も検定教科書をベースにしたベーシックな問題が多かったのですが、様々な出題形式に対応できるように、各自の学習の中で理解が曖昧な部分を作らないように、まんべんなく丁寧に学習していれば、正解を得られる問題でした。

生物基礎の出題の難易度は標準的でしたが、同一日程内での個人の点数差が大きいだけでなく二極化傾向もみられるようです。この傾向は、基礎をしっかりと固めているかそうでないかと教科書や問題の文章を正しく読み取り、理解しているかによるようです。用語を記入する問題は容易な内容ではありましたが、全体像で理解しているか、単に用語を記憶するだけで

なく全体像として捉えることが大切です。教科書で太字になっている用語だけでなく、生命活動における前後のつながりにもしっかり目を向けてください。計算を必要とするものや図や表から思考する問題においても、前後のつながりを理解しているかいないかで差がついています。記憶した点をつないで線にして思考する問題にも慣れておく必要があるでしょう。教科書をベースにして基礎的な知識を全体像として定着させておけば容易に正答を導くことができたと考えられます。また、漢字の誤りや指定された解答方法(記号番号や語)と異なる解答もいくつか見られました。

■受験生へのアドバイス

理科の勉強は、教科書に書かれていることを暗記することこそが大事と誤解していないでしょうか。もちろん、基本的な知識を覚えることは必須で大切ですが、それを利用し正確に理解・応用することがより大切で、大学での学習や理解を手助けすることになります。そのためには、基礎に重点を置いた積み重ねの勉強とそれらに関連する問題を繰り返し解く事が大切となります。本学のこれまでの入試の問題をまとめた問題集(いわゆる赤本)などを過去に遡って解き、勉強するポイントを探りながら学習することは、本学受験の際には大いに役立つことでしょう。また日頃より、基礎に重点を置いた積み重ねの勉強が大切となります。高校での化学基礎等の授業をおろそかにしないように理解に努めてください。

化学基礎では目で確認しにくい世界を扱うので、授業を聞き教科書・参考書を読むだけで理解することはなかなか難しいと思われます。そこで、原子・分子などの世界をビジュアルイメージし(教科書の図や写真などを良く見る)、自分で図や絵として書くと理解が進むでしょう。概ね化学基礎の範囲は、前半部分が「物質の構成+化学結合」で化学物質の世界の土台を学び、後半部分は「物質の変化」で酸と塩基の反応や酸化還元反応を中心とした化学反応について学びます。前半で目に見えない世界をビジュアルイメージしながら繰り返し学習することで、後半部分の理解も進むものと思われます。後半部分が分からなくなったら、前半部分を学びなおしてください。

大学入学後も必要に応じてそのように見直しすることで大学生としての自然科学系の教養が身につく、また専門的知識を理解する基礎が固まり、大学で開講される専門科目で学ぶ新しい知識や内容の理解を進め、それら専門科目への理解が深まり、ヒトの身体の中で起こっている現象等への理解が進むものと思われます。

生物基礎は、表面的な知識を単純に覚えようとするだけでは、理解が進みません。また、用語を単に記憶するだけではなくその前後のつながりや全体像を意識して理解しておく必要があります。そのためには、教科書内の写真や図、表を参考にしながらイメージし、時には自分や身の周りの環境に置き換えたりすることも理解を深めるために役立つでしょう。生物基礎の教科書にある「観察・実験」や「思考」の部分もしっかり学習し、実践的な問題にも対応できるようになっておきましょう。そして、基本的な計算力や正しく文章を読み取る国語力も必要であることを忘れないでください。最後に、単純に語を解答する問題であっても、正しく教科書や問題の文章を理解していないためか、教科書にある語であっても解答すべき語ではないことが多数ありました。日ごろから文章を表面的に読み飛ばすのではなく丁寧に読んで、内容を正しく理解するように心掛けてください。

合格への道

入学試験Q&A

Q 学部間の併願はできますか？

一般選抜(前期日程)の併願について

A 一般選抜(前期日程)では、2月1日から3日までの全日程において、1日につき2学科まで併願できます。さらに、3つの方式を組み合わせると、1回の受験で1学科につき3出願が可能です。(2学科出願すると、1回の受験で最大6出願可。3日間で最大18出願可。)

共通テスト利用選抜の併願について

A 共通テスト利用選抜では、すべての学部・学科に併願できます。前期日程、後期日程で、それぞれ最大13出願が可能です。

Q 一般選抜の基準点は設けていますか？

A 基準点は一切設けていません。したがって仮に1科目の得点が低くても総合点が高ければ合格できます。

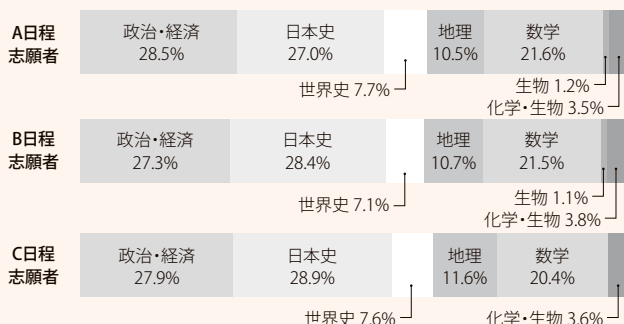
Q 一般選抜は記述式ですか、マークシート方式ですか？

A 全部または一部マークシート方式で実施します。ただし、数学と理科についてはすべて記述式で実施します。

Q 一般選抜では選択科目によって有利、不利はあるのでしょうか？

A 選択科目は科目間の調整を行うため中央値補正法を取り入れています。これにより選択科目の違いによる有利、不利はありません。

●一般選抜(前期日程)選択科目別の選択割合(2025年度入試) (小数点第2位四捨五入)



Q すでに、一般選抜前期日程、共通テスト利用選抜前期日程で第2志望の学科に合格していますが、一般選抜後期日程または共通テスト利用選抜後期日程で第1志望の学科を受験することはできますか？

A 再度受験できます。一般選抜前期日程、共通テスト利用選抜前期日程で合格し、第1次入学手続を完了している場合、納入していた入学金については、後期日程で合格した第1志望の学部・学科における一括手続きの一部に充てることができます。これにより、入学金を重複して納入する必要もありません。詳細は合格者に送付する入学手続要項で確認してください。

Q 共通テスト利用選抜の選択科目のうち、2科目以上受験した場合はどうなりますか？

A 受験した科目のうち、最高得点の科目を採用して、可否を判定します。

Q 試験当日、どんなことに注意をすればよいですか？

- A**
- ①入学試験要項にある時間を守り、早めに入室してください(各時限とも試験開始後20分までの遅刻は認めますが、それ以降は入室できません)。
 - ②受験票は必ず持ってきてください。受験票・写真票は、インターネット出願の画面から各自でプリントアウトして当日必ず持参してください。
 - ③可能な限り、公共交通機関を利用して来場してください。
 - ④体調管理に気を配り、試験当日に実力を発揮できるよう、万全の準備をしてください。

Q 学校推薦型選抜や総合型選抜で不合格になった場合、一般選抜、共通テスト利用選抜は受験できますか？

A 受験できます。改めて出願手続を行ってください。

MEMO



DATA 2025

◎一般選抜・前期日程	121
志願者数・受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率 出身県別志願者数・合格者数	
◎共通テスト利用選抜・前期日程	125
受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率	
◎一般選抜・後期日程	126
志願者数・受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率	
◎共通テスト利用選抜・後期日程	127
受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率	
◎総合型選抜	128
志願者数・受験者数・合格者数	
◎学校推薦型選抜(公募・専願)	128
志願者数・受験者数・合格者数	
◎学校推薦型選抜(公募・併願)	129
志願者数・受験者数・合格者数	

DATA 2025

《一般選抜・前期日程》【スタンダード方式】志願者数・受験者数・合格者数

※募集人員は3方式の合計

学部	学科	日程	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	A	70	135	65	200	133	65	198	47	35	82	2.4
		B		79	39	118	78	39	117	27	18	45	2.6
		C		44	16	60	43	15	58	20	7	27	2.1
		計	70	258	120	378	254	119	373	94	60	154	2.4
	経営学科	A	64	141	40	181	141	40	181	61	19	80	2.3
		B		101	22	123	100	22	122	41	11	52	2.3
		C		70	14	84	67	14	81	23	8	31	2.6
		計	64	312	76	388	308	76	384	125	38	163	2.4
商学部合計			134	570	196	766	562	195	757	219	98	317	2.4
人 文 学 部	社会学科	A	66	97	67	164	97	66	163	62	60	122	1.3
		B		62	32	94	62	32	94	46	25	71	1.3
		C		54	20	74	53	20	73	34	19	53	1.4
		計	66	213	119	332	212	118	330	142	104	246	1.3
	教育学科	A	47	121	60	181	119	60	179	56	34	90	2.0
		B		67	34	101	67	34	101	33	16	49	2.1
		C		51	29	80	51	29	80	26	15	41	2.0
		計	47	239	123	362	237	123	360	115	65	180	2.0
	英語英文学科	A	45	56	53	109	56	52	108	30	32	62	1.7
		B		27	34	61	27	34	61	16	23	39	1.6
		C		27	15	42	26	15	41	22	10	32	1.3
		計	45	110	102	212	109	101	210	68	65	133	1.6
人文学部合計			158	562	344	906	558	342	900	325	234	559	1.6
法 学 部	法律学科	A	75	137	68	205	135	67	202	97	59	156	1.3
		B		92	35	127	91	34	125	72	29	101	1.2
		C		66	32	98	64	31	95	52	26	78	1.2
法学部合計			75	295	135	430	290	132	422	221	114	335	1.3
経 済 科 学 部	現代経済学科	A	59	141	31	172	141	31	172	84	19	103	1.7
		B		89	14	103	89	12	101	52	10	62	1.6
		C		46	11	57	46	11	57	29	6	35	1.6
		計	59	276	56	332	276	54	330	165	35	200	1.7
	経済情報学科	A	59	80	10	90	80	10	90	49	8	57	1.6
		B		46	8	54	46	8	54	31	5	36	1.5
		C		39	3	42	37	3	40	22	3	25	1.6
		計	59	165	21	186	163	21	184	102	16	118	1.6
経済科学部合計			118	441	77	518	439	75	514	267	51	318	1.6
人間環境学部	人間環境学科	A	57	109	21	130	107	21	128	93	19	112	1.1
		B		74	11	85	73	11	84	54	10	64	1.3
		C		74	11	85	72	11	83	50	10	60	1.4
人間環境学部合計			57	257	43	300	252	43	295	197	39	236	1.3
健 康 科 学 部	心理学科	A	47	39	41	80	38	41	79	20	24	44	1.8
		B		28	26	54	27	26	53	15	21	36	1.5
		C		22	22	44	22	22	44	14	19	33	1.3
		計	47	89	89	178	87	89	176	49	64	113	1.6
	健康栄養学科	A	18	9	24	33	9	24	33	7	16	23	1.4
		B		2	14	16	2	13	15	2	10	12	1.3
		C		4	8	12	4	8	12	3	5	8	1.5
		計	18	15	46	61	15	45	60	12	31	43	1.4
健康科学部合計			65	104	135	239	102	134	236	61	95	156	1.5
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	A	25	40	44	84	40	42	82	25	27	52	1.6
		B		24	22	46	24	22	46	16	15	31	1.5
		C		28	11	39	27	11	38	20	6	26	1.5
		計	25	92	77	169	91	75	166	61	48	109	1.5
	地域行政学科	A	25	56	18	74	56	18	74	33	12	45	1.6
		B		30	12	42	30	12	42	18	10	28	1.5
		C		33	10	43	32	10	42	19	6	25	1.7
		計	25	119	40	159	118	40	158	70	28	98	1.6
国際コミュニティ学部合計			50	211	117	328	209	115	324	131	76	207	1.6
全 学 部		A	657	1,161	542	1,703	1,152	537	1,689	664	364	1,028	1.6
		B		721	303	1,024	716	299	1,015	423	203	626	1.6
		C		558	202	760	544	200	744	334	140	474	1.6
全日程合計			657	2,440	1,047	3,487	2,412	1,036	3,448	1,421	707	2,128	1.6

《一般選抜・前期日程》【高得点科目重視方式】志願者数・受験者数・合格者数

※募集人員は3方式の合計

学部	学科	日程	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	A	70	101	41	142	100	41	141	35	21	56	2.5
		B		59	21	80	59	21	80	24	10	34	2.4
		C		34	10	44	33	10	43	10	6	16	2.7
		計	70	194	72	266	192	72	264	69	37	106	2.5
	経営学科	A	64	105	21	126	105	21	126	40	10	50	2.5
		B		74	13	87	73	13	86	28	7	35	2.5
		C		54	9	63	51	9	60	18	7	25	2.4
		計	64	233	43	276	229	43	272	86	24	110	2.5
商学部合計			134	427	115	542	421	115	536	155	61	216	2.5
人 文 学 部	社会学科	A	66	67	44	111	67	43	110	33	36	69	1.6
		B		45	24	69	45	24	69	30	18	48	1.4
		C		41	17	58	40	17	57	19	14	33	1.7
		計	66	153	85	238	152	84	236	82	68	150	1.6
	教育学科	A	47	88	38	126	86	38	124	44	19	63	2.0
		B		54	31	85	54	31	85	25	15	40	2.1
		C		41	18	59	41	18	59	21	10	31	1.9
		計	47	183	87	270	181	87	268	90	44	134	2.0
	英語英文学科	A	45	34	34	68	34	34	68	25	22	47	1.4
		B		19	22	41	19	22	41	11	17	28	1.5
		C		20	10	30	20	10	30	13	5	18	1.7
		計	45	73	66	139	73	66	139	49	44	93	1.5
人文学部合計			158	409	238	647	406	237	643	221	156	377	1.7
法 学 部	法律学科	A	75	91	47	138	90	47	137	75	42	117	1.2
		B		71	28	99	71	28	99	63	26	89	1.1
		C		51	20	71	50	20	70	27	14	41	1.7
法学部合計			75	213	95	308	211	95	306	165	82	247	1.2
経 済 学 部	現代経済学科	A	59	96	20	116	96	20	116	55	15	70	1.7
		B		69	6	75	69	6	75	47	6	53	1.4
		C		34	6	40	34	6	40	18	6	24	1.7
		計	59	199	32	231	199	32	231	120	27	147	1.6
	経済情報学科	A	59	62	7	69	62	7	69	44	7	51	1.4
		B		35	7	42	35	7	42	30	7	37	1.1
		C		31	3	34	30	3	33	27	3	30	1.1
		計	59	128	17	145	127	17	144	101	17	118	1.2
経済科学部合計			118	327	49	376	326	49	375	221	44	265	1.4
人間環境学部	人間環境学科	A	57	88	17	105	87	17	104	82	17	99	1.1
		B		66	7	73	65	7	72	63	6	69	1.0
		C		65	8	73	63	8	71	59	8	67	1.1
人間環境学部合計			57	219	32	251	215	32	247	204	31	235	1.1
健 康 学 部	心理学科	A	47	35	33	68	34	33	67	28	30	58	1.2
		B		25	19	44	24	19	43	20	19	39	1.1
		C		16	17	33	16	17	33	6	13	19	1.7
		計	47	76	69	145	74	69	143	54	62	116	1.2
	健康栄養学科	A	18	5	14	19	5	14	19	5	13	18	1.1
		B		0	10	10	0	10	10	0	10	10	1.0
		C		2	6	8	2	6	8	1	5	6	1.3
		計	18	7	30	37	7	30	37	6	28	34	1.1
健康科学部合計			65	83	99	182	81	99	180	60	90	150	1.2
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	A	25	25	29	54	25	29	54	16	23	39	1.4
		B		20	16	36	20	16	36	15	13	28	1.3
		C		20	10	30	19	10	29	16	6	22	1.3
		計	25	65	55	120	64	55	119	47	42	89	1.3
	地域行政学科	A	25	45	13	58	45	13	58	27	10	37	1.6
		B		29	10	39	29	10	39	21	8	29	1.3
		C		32	9	41	31	9	40	21	7	28	1.4
		計	25	106	32	138	105	32	137	69	25	94	1.5
国際コミュニティ学部合計			50	171	87	258	169	87	256	116	67	183	1.4
全 学 部		A	657	842	358	1,200	836	357	1,193	509	265	774	1.5
		B		566	214	780	563	214	777	377	162	539	1.4
		C		441	143	584	430	143	573	256	104	360	1.6
全日程合計			657	1,849	715	2,564	1,829	714	2,543	1,142	531	1,673	1.5

《一般選抜・前期日程》【共通テストプラス方式】志願者数・受験者数・合格者数

※募集人員は3方式の合計

学部	学科	日程	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	A	70	78	40	118	78	40	118	33	17	50	2.4
		B		45	24	69	45	24	69	18	9	27	2.6
		C		24	9	33	24	9	33	9	3	12	2.8
		計	70	147	73	220	147	73	220	60	29	89	2.5
	経営学科	A	64	88	19	107	88	19	107	36	8	44	2.4
		B		55	9	64	55	9	64	22	3	25	2.6
		C		41	4	45	41	4	45	13	4	17	2.6
		計	64	184	32	216	184	32	216	71	15	86	2.5
商学部合計			134	331	105	436	331	105	436	131	44	175	2.5
人 文 学 部	社会学科	A	66	60	45	105	60	45	105	30	41	71	1.5
		B		42	23	65	42	23	65	27	19	46	1.4
		C		33	15	48	33	15	48	20	15	35	1.4
		計	66	135	83	218	135	83	218	77	75	152	1.4
	教育学科	A	47	83	33	116	83	33	116	36	22	58	2.0
		B		48	22	70	48	22	70	18	14	32	2.2
		C		32	12	44	32	12	44	13	9	22	2.0
		計	47	163	67	230	163	67	230	67	45	112	2.1
	英語英文学科	A	45	36	33	69	36	33	69	19	20	39	1.8
		B		14	19	33	14	19	33	11	11	22	1.5
		C		14	7	21	14	7	21	8	5	13	1.6
		計	45	64	59	123	64	59	123	38	36	74	1.7
人文学部合計			158	362	209	571	362	209	571	182	156	338	1.7
法 学 部	法律学科	A	75	79	42	121	79	42	121	70	40	110	1.1
		B		43	21	64	43	21	64	36	18	54	1.2
		C		37	18	55	37	18	55	27	15	42	1.3
法学部合計			75	159	81	240	159	81	240	133	73	206	1.2
経 済 科 学 部	現代経済学科	A	59	84	17	101	84	17	101	67	16	83	1.2
		B		45	5	50	45	5	50	36	5	41	1.2
		C		28	6	34	28	6	34	19	6	25	1.4
		計	59	157	28	185	157	28	185	122	27	149	1.2
	経済情報学科	A	59	53	4	57	53	4	57	46	4	50	1.1
		B		21	6	27	21	6	27	18	6	24	1.1
		C		27	3	30	27	3	30	21	3	24	1.3
		計	59	101	13	114	101	13	114	85	13	98	1.2
経済科学部合計			118	258	41	299	258	41	299	207	40	247	1.2
人間環境学部	人間環境学科	A	57	56	11	67	56	11	67	47	11	58	1.2
		B		45	4	49	45	4	49	37	4	41	1.2
		C		39	5	44	39	5	44	31	5	36	1.2
人間環境学部合計			57	140	20	160	140	20	160	115	20	135	1.2
健 康 科 学 部	心理学科	A	47	27	30	57	27	30	57	14	15	29	2.0
		B		22	17	39	22	17	39	6	8	14	2.8
		C		12	13	25	12	13	25	3	6	9	2.8
		計	47	61	60	121	61	60	121	23	29	52	2.3
	健康栄養学科	A	18	6	12	18	6	12	18	6	12	18	1.0
		B		2	8	10	2	8	10	2	7	9	1.1
		C		1	4	5	1	4	5	1	4	5	1.0
		計	18	9	24	33	9	24	33	9	23	32	1.0
健康科学部合計			65	70	84	154	70	84	154	32	52	84	1.8
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	A	25	21	23	44	21	23	44	15	17	32	1.4
		B		10	13	23	10	13	23	6	12	18	1.3
		C		11	8	19	11	8	19	9	5	14	1.4
		計	25	42	44	86	42	44	86	30	34	64	1.3
	地域行政学科	A	25	35	12	47	35	12	47	23	11	34	1.4
		B		20	5	25	20	5	25	15	3	18	1.4
		C		18	7	25	18	7	25	12	5	17	1.5
		計	25	73	24	97	73	24	97	50	19	69	1.4
国際コミュニティ学部合計			50	115	68	183	115	68	183	80	53	133	1.4
全 学 部		A	657	706	321	1,027	706	321	1,027	442	234	676	1.5
		B		412	176	588	412	176	588	252	119	371	1.6
		C		317	111	428	317	111	428	186	85	271	1.6
全日程合計			657	1,435	608	2,043	1,435	608	2,043	880	438	1,318	1.6

《一般選抜・前期日程》【スタンダード方式】合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

*最低点と得点率は、追加合格前の数値

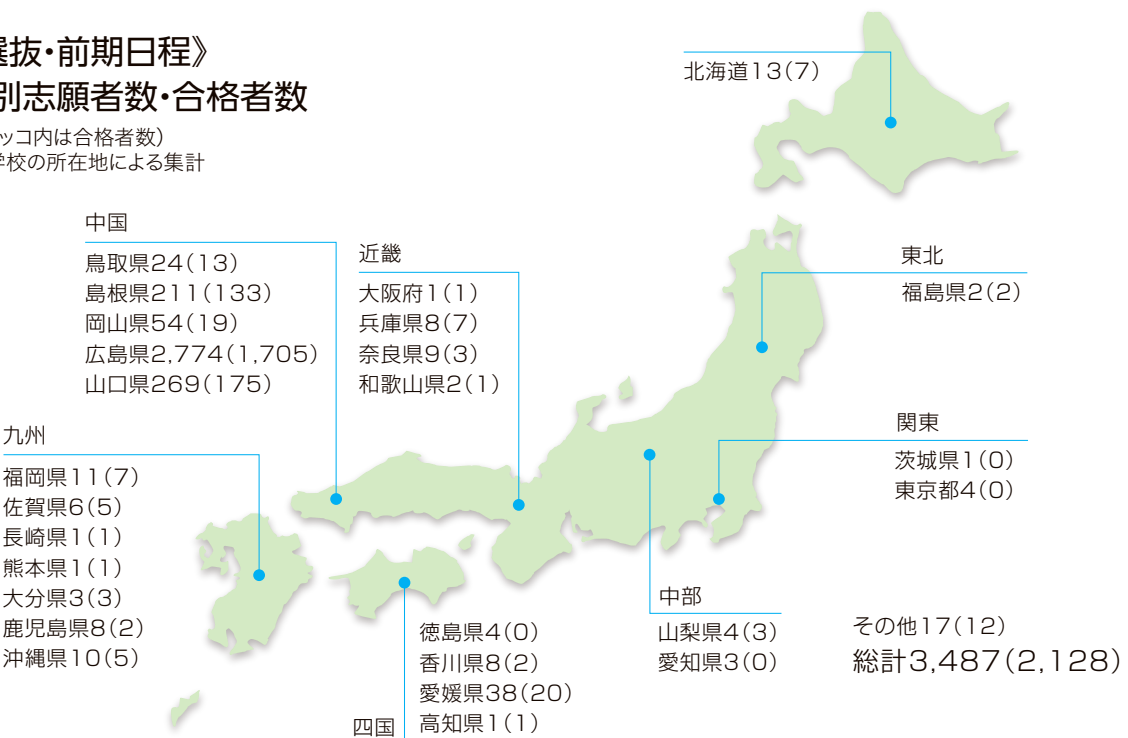
学部	学科		A日程	B日程	C日程
商学部	商学科	満点	350	350	350
		最高点	281	249	307
		平均点	213.1	202.2	221.5
		最低点	184	178	192
		得点率(%)	52.6	50.9	54.9
	経営学科	満点	350	350	350
		最高点	244	282	299
		平均点	208.7	207.2	219.8
		最低点	181	181	181
		得点率(%)	51.7	51.7	51.7
人文学部	社会科学	満点	350	350	350
		最高点	281	278	277
		平均点	210.7	209.2	203.2
		最低点	167	175	168
		得点率(%)	47.7	50.0	48.0
	教育学	満点	300	300	300
		最高点	237	248	231
		平均点	185.4	178.0	186.6
		最低点	152	152	160
		得点率(%)	50.7	50.7	53.3
	英語英文学科	満点	350	350	350
		最高点	303	268	292
		平均点	223.5	215.4	205.9
		最低点	181	183	167
		得点率(%)	51.7	52.3	47.7
法学部	法律学科	満点	300	300	300
		最高点	242	256	237
		平均点	170.3	163.7	165.1
		最低点	132	126	120
		得点率(%)	44.0	42.0	40.0

学部	学科		A日程	B日程	C日程
経済科学部	現代経済学科	満点	300	300	300
		最高点	270	240	226
		平均点	182.3	176.8	180.5
		最低点	157	150	150
		得点率(%)	52.3	50.0	50.0
	経済情報学科	満点	300	300	300
		最高点	239	252	202
		平均点	167.8	171.4	162.0
		最低点	141	143	143
		得点率(%)	47.0	47.7	47.7
人間環境学部	人間環境学科	満点	300	300	300
		最高点	252	247	249
		平均点	144.3	152.5	154.0
		最低点	98	120	124
		得点率(%)	32.7	40.0	41.3
健康科学部	心理学科	満点	300	300	300
		最高点	213	207	225
		平均点	174.3	168.6	166.9
		最低点	154	140	135
		得点率(%)	51.3	46.7	45.0
	健康栄養学科	満点	300	300	300
		最高点	251	217	249
		平均点	174.1	168.3	166.3
		最低点	132	138	121
		得点率(%)	44.0	46.0	40.3
国際コミュニケーション学部	国際政治学科	満点	350	350	350
		最高点	284	275	262
		平均点	195.1	196.1	194.4
		最低点	152	166	161
		得点率(%)	43.4	47.4	46.0
	地域行政学科	満点	300	300	300
		最高点	252	208	214
		平均点	162.5	163.7	155.5
		最低点	135	137	133
		得点率(%)	45.0	45.7	44.3

《一般選抜・前期日程》

出身県別志願者数・合格者数

志願者数(カッコ内は合格者数)
※出身高等学校の所在地による集計



《共通テスト利用選抜・前期日程》受験者数・合格者数

学部	学科	募集人員	受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
			男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	8	54	26	80	18	16	34	2.4
	経営学科	8	50	20	70	17	12	29	2.4
	合 計	16	104	46	150	35	28	63	2.4
人 文 学 部	社会学科	3	56	36	92	24	19	43	2.1
	教育学科	4	61	39	100	23	28	51	2.0
	英語英文学科	5	29	26	55	21	22	43	1.3
	合 計	12	146	101	247	68	69	137	1.8
法 学 部	法律学科	15	116	64	180	84	52	136	1.3
	合 計	15	116	64	180	84	52	136	1.3
経 済 科 学 部	現代経済学科	5	77	17	94	34	10	44	2.1
	経済情報学科	5	45	8	53	30	6	36	1.5
	合 計	10	122	25	147	64	16	80	1.8
人間環境学部	人間環境学科	2	36	5	41	24	4	28	1.5
	合 計	2	36	5	41	24	4	28	1.5
健 康 科 学 部	心理学科	3	24	26	50	17	22	39	1.3
	健康栄養学科	2	2	13	15	1	13	14	1.1
	合 計	5	26	39	65	18	35	53	1.2
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	4	26	26	52	13	21	34	1.5
	地域行政学科	4	34	9	43	12	4	16	2.7
	合 計	8	60	35	95	25	25	50	1.9
総 計		68	610	315	925	318	229	547	1.7

《共通テスト利用選抜・前期日程》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

学部	学科		
商 学 部	商学科	満点	500
		最高点	432
		平均点	373.8
		最低点	339
		得点率(%)	67.8
	経営学科	満点	500
		最高点	432
		平均点	369.5
		最低点	326
		得点率(%)	65.2
人 文 学 部	社会学科	満点	500
		最高点	454
		平均点	387.8
		最低点	350
		得点率(%)	70.0
	教育学科	満点	500
		最高点	468
		平均点	386.5
		最低点	347
		得点率(%)	69.4
	英語英文学科	満点	500
		最高点	468
		平均点	373.1
		最低点	304
		得点率(%)	60.8
法 学 部	法律学科	満点	500
		最高点	466
		平均点	365.9
		最低点	300
		得点率(%)	60.0

学部	学科		
経 済 科 学 部	現代経済学科	満点	600
		最高点	566
		平均点	455.9
		最低点	401
		得点率(%)	66.8
	経済情報学科	満点	600
		最高点	508
		平均点	395.7
		最低点	353
		得点率(%)	58.8
人間環境学部	人間環境学科	満点	500
		最高点	476
		平均点	308.9
		最低点	229
		得点率(%)	45.8
健 康 科 学 部	心理学科	満点	500
		最高点	439
		平均点	349.7
		最低点	264
		得点率(%)	52.8
	健康栄養学科	満点	500
		最高点	454
		平均点	351.9
		最低点	284
		得点率(%)	56.8
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	満点	500
		最高点	454
		平均点	378.8
		最低点	313
		得点率(%)	62.6
	地域行政学科	満点	500
		最高点	403
		平均点	360.3
		最低点	313
		得点率(%)	62.6

*最低点と得点率は、追加合格前の数値

DATA 2025

《一般選抜・後期日程》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	3	22	7	29	22	7	29	3	3	6	4.8
	経営学科	2	28	6	34	27	6	33	4	3	7	4.7
	合 計	5	50	13	63	49	13	62	7	6	13	4.8
人 文 学 部	社会学科	2	20	5	25	19	5	24	10	5	15	1.6
	教育学科	3	19	8	27	18	7	25	2	2	4	6.3
	英語英文学科	5	17	6	23	16	5	21	12	5	17	1.2
	合 計	10	56	19	75	53	17	70	24	12	36	1.9
法 学 部	法律学科	8	25	6	31	25	6	31	11	2	13	2.4
	合 計	8	25	6	31	25	6	31	11	2	13	2.4
経 済 科 学 部	現代経済学科	5	25	7	32	25	7	32	13	6	19	1.7
	経済情報学科	5	17	3	20	17	3	20	14	3	17	1.2
	合 計	10	42	10	52	42	10	52	27	9	36	1.4
人間環境学部	人間環境学科	3	29	9	38	29	9	38	27	9	36	1.1
	合 計	3	29	9	38	29	9	38	27	9	36	1.1
健 康 科 学 部	心理学科	3	5	5	10	5	4	9	4	3	7	1.3
	健康栄養学科	3	7	1	8	7	1	8	6	1	7	1.1
	合 計	6	12	6	18	12	5	17	10	4	14	1.2
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	2	24	5	29	24	5	29	18	5	23	1.3
	地域行政学科	2	19	7	26	19	7	26	11	7	18	1.4
	合 計	4	43	12	55	43	12	55	29	12	41	1.3
総 計		46	257	75	332	253	72	325	135	54	189	1.7

《一般選抜・後期日程》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

学部	学科		
商 学 部	商学科	満点	200
		最高点	152
		平均点	140.7
		最低点	136
		得点率(%)	68.0
	経営学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	143.7
人 文 学 部	社会学科	満点	250
		最高点	196
		平均点	156.9
		最低点	133
		得点率(%)	53.2
	教育学科	満点	250
		最高点	200
		平均点	190.5
		最低点	178
		得点率(%)	71.2
	英語英文学科	満点	250
		最高点	199
		平均点	148.5
		最低点	116
		得点率(%)	46.4
法 学 部	法律学科	満点	200
		最高点	147
		平均点	137.5
		最低点	128
		得点率(%)	64.0

学部	学科		
経 済 科 学 部	現代経済学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	132.5
		最低点	115
		得点率(%)	57.5
	経済情報学科	満点	200
		最高点	147
		平均点	117.4
人間環境学部	人間環境学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	117.5
		最低点	86
		得点率(%)	43.0
	心理学科	満点	200
		最高点	148
		平均点	123.7
健 康 科 学 部	健康栄養学科	満点	200
		最高点	126
		平均点	108.7
		最低点	87
		得点率(%)	43.5
	国際政治学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	120.7
		最低点	93
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	120.7
		最低点	93
		得点率(%)	46.5
	地域行政学科	満点	200
		最高点	150
		平均点	126.0
国際コミュニティ学 部	地域行政学科	最低点	105
		得点率(%)	52.5

*最低点と得点率は、追加合格前の数値

DATA 2025

《共通テスト利用選抜・後期日程》受験者数・合格者数

学部	学科	募集人員	受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
			男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	2	6	2	8	3	0	3	2.7
	経営学科	2	10	3	13	3	2	5	2.6
	合 計	4	16	5	21	6	2	8	2.6
人 文 学 部	社会学科	1	5	1	6	2	1	3	2.0
	教育学科	2	6	2	8	2	2	4	2.0
	英語英文学科	2	6	5	11	3	5	8	1.4
	合 計	5	17	8	25	7	8	15	1.7
法 学 部	法律学科	2	12	8	20	1	7	8	2.5
	合 計	2	12	8	20	1	7	8	2.5
経 済 科 学 部	現代経済学科	2	9	2	11	5	2	7	1.6
	経済情報学科	2	6	0	6	3	0	3	2.0
	合 計	4	15	2	17	8	2	10	1.7
人間環境学部	人間環境学科	1	4	2	6	1	2	3	2.0
	合 計	1	4	2	6	1	2	3	2.0
健 康 科 学 部	心理学科	2	2	3	5	1	2	3	1.7
	健康栄養学科	2	0	1	1	0	1	1	1.0
	合 計	4	2	4	6	1	3	4	1.5
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	2	5	3	8	2	3	5	1.6
	地域行政学科	2	6	1	7	2	1	3	2.3
	合 計	4	11	4	15	4	4	8	1.9
総 計		24	77	33	110	28	28	56	2.0

《共通テスト利用選抜・後期日程》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

学部	学科		
商 学 部	商学科	満点	400
		最高点	382
		平均点	328.0
		最低点	294
		得点率(%)	73.5
	経営学科	満点	400
		最高点	367
		平均点	325.6
		最低点	308
		得点率(%)	77.0
人 文 学 部	社会学科	満点	400
		最高点	339
		平均点	325.0
		最低点	316
		得点率(%)	79.0
	教育学科	満点	400
		最高点	346
		平均点	317.5
		最低点	290
		得点率(%)	72.5
	英語英文学科	満点	400
		最高点	346
		平均点	285.8
		最低点	218
		得点率(%)	54.5
法 学 部	法律学科	満点	400
		最高点	355
		平均点	333.1
		最低点	320
		得点率(%)	80.0

学部	学科		
経 済 科 学 部	現代経済学科	満点	400
		最高点	308
		平均点	286.3
		最低点	259
		得点率(%)	64.8
	経済情報学科	満点	400
		最高点	294
		平均点	268.3
		最低点	240
		得点率(%)	60.0
人間環境学部	人間環境学科	満点	400
		最高点	288
		平均点	256.0
		最低点	215
		得点率(%)	53.8
健 康 科 学 部	心理学科	満点	400
		最高点	345
		平均点	322.7
		最低点	294
		得点率(%)	73.5
	健康栄養学科	満点	400
		最高点	329
		平均点	329.0
		最低点	329
		得点率(%)	82.3
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	満点	400
		最高点	368
		平均点	306.6
		最低点	265
		得点率(%)	66.3
	地域行政学科	満点	400
		最高点	308
		平均点	289.0
		最低点	265
		得点率(%)	66.3

DATA 2025

《総合型選抜》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科・方式		募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	活動実績重視	19	14	11	25	14	11	25	10	8	18	1.4
		小論文重視		34	13	47	34	13	47	20	8	28	1.7
	経営学科	活動実績重視	15	23	3	26	23	3	26	17	2	19	1.4
		小論文重視		23	9	32	22	9	31	14	7	21	1.5
	合 計		34	94	36	130	93	36	129	61	25	86	1.5
人 文 学 部	社会学科		9	34	20	54	34	20	54	9	20	29	1.9
	教育学科		12	33	16	49	33	16	49	16	10	26	1.9
	英語英文学科	課題図書	15	10	19	29	10	19	29	8	16	24	1.2
		課題探究		2	4	6	2	4	6	2	4	6	1.0
	合 計		36	79	59	138	79	59	138	35	50	85	1.6
法 学 部	法律学科	ゼミナール	15	19	8	27	19	7	26	19	7	26	1.0
		スポーツ実績	5	9	1	10	9	1	10	8	1	9	1.1
		芸術・文化実績	5	3	0	3	3	0	3	3	0	3	1.0
	合 計		20	31	9	40	31	8	39	30	8	38	1.0
経 済 科 学 部	現代経済学科		11	46	4	50	45	4	49	24	2	26	1.9
	経済情報学科		11	14	3	17	14	3	17	8	3	11	1.5
	合 計		22	60	7	67	59	7	66	32	5	37	1.8
人間環境学部	人間環境学科	レポート	15	9	0	9	9	0	9	9	0	9	1.0
		プレゼンテーション		2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
		活動実績		2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
	合 計		15	13	0	13	13	0	13	13	0	13	1.0
健 康 科 学 部	心理学科		5	12	13	25	12	13	25	3	10	13	1.9
	健康栄養学科		15	7	24	31	7	24	31	5	21	26	1.2
	合 計		20	19	37	56	19	37	56	8	31	39	1.4
国際コミュニティ学	国際政治学科	課題図書	14	19	10	29	19	10	29	17	8	25	1.2
	地域行政学科	課題図書	14	25	8	33	25	8	33	19	6	25	1.3
	合 計		28	44	18	62	44	18	62	36	14	50	1.2
総 計			175	340	166	506	338	165	503	215	133	348	1.4

《学校推薦型選抜(公募・専願)》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科	方式	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	英語	12	7	8	15	7	8	15	5	5	10	1.5
		指定資格		1	1	2	1	1	2	1	1	2	1.0
		英語資格		5	0	5	5	0	5	5	0	5	1.0
		計	12	13	9	22	13	9	22	11	6	17	1.3
	経営学科	英語	10	4	2	6	4	2	6	3	1	4	1.5
		指定資格		2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
		英語資格		2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
		計	10	8	2	10	8	2	10	7	1	8	1.3
合 計		22	21	11	32	21	11	32	18	7	25	1.3	
人 文 学 部	社会学科		3	5	2	7	5	2	7	2	2	4	1.8
	教育学科		10	15	10	25	15	10	25	8	6	14	1.8
	英語英文学科		5	1	3	4	1	3	4	1	3	4	1.0
	合 計		18	21	15	36	21	15	36	11	11	22	1.6
法 学 部	法律学科	英語	5	2	1	3	2	1	3	2	1	3	1.0
		小論文	15	5	1	6	5	1	6	5	1	6	1.0
	合 計		20	7	2	9	7	2	9	7	2	9	1.0
経 済 科 学 部	現代経済学科	英語	10	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1.0
		小論文		11	1	12	11	1	12	11	1	12	1.0
		指定資格		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		英語資格	10	2	1	3	2	1	3	2	1	3	1.0
	計		10	14	2	16	14	2	16	14	2	16	1.0
	経済情報学科	英語	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		小論文		7	0	7	7	0	7	7	0	7	1.0
		指定資格		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1.0
		英語資格	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
計		10	8	0	8	8	0	8	8	0	8	1.0	
合 計		20	22	2	24	22	2	24	22	2	24	1.0	
人間環境学部	人間環境学科	指定資格	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合 計		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
健 康 科 学 部	心理学科		6	7	7	14	7	7	14	6	7	13	1.1
	健康栄養学科		5	2	6	8	2	5	7	1	5	6	1.2
	合 計		11	9	13	22	9	12	21	7	12	19	1.1
国際コミュニティ学	国際政治学科	英語	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		指定資格		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		課題探究		3	1	4	3	1	4	3	1	4	1.0
		計	10	3	1	4	3	1	4	3	1	4	1.0
	地域行政学科	英語	10	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
		指定資格		3	2	5	3	2	5	3	2	5	1.0
		課題探究		1	1	2	1	1	2	1	1	2	1.0
		計	10	6	3	9	6	3	9	6	3	9	1.0
合 計		20	9	4	13	9	4	13	9	4	13	1.0	
総 計			116	89	47	136	89	46	135	74	38	112	1.2

《学校推薦型選抜(公募・併願)》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率 (A/B)
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	10	25	15	40	24	15	39	17	11	28	1.4
	経営学科	10	36	12	48	35	12	47	25	10	35	1.3
	合 計	20	61	27	88	59	27	86	42	21	63	1.4
人 文 学 部	社会学科	2	14	16	30	14	15	29	6	11	17	1.7
	教育学科	5	20	12	32	20	11	31	9	4	13	2.4
	英語英文学科	5	14	24	38	13	24	37	8	18	26	1.4
	合 計	12	48	52	100	47	50	97	23	33	56	1.7
法 学 部	法律学科	15	19	22	41	19	22	41	15	21	36	1.1
	合 計	15	19	22	41	19	22	41	15	21	36	1.1
経 済 学 部	現代経済学科	3	9	2	11	9	2	11	8	2	10	1.1
	経済情報学科	3	12	4	16	12	4	16	9	4	13	1.2
	合 計	6	21	6	27	21	6	27	17	6	23	1.2
人間環境学部	人間環境学科	8	4	4	8	4	4	8	4	4	8	1.0
	合 計	8	4	4	8	4	4	8	4	4	8	1.0
健 康 学 部	心理学科	3	8	10	18	8	10	18	7	7	14	1.3
	健康栄養学科	5	0	18	18	0	18	18	0	17	17	1.1
	合 計	8	8	28	36	8	28	36	7	24	31	1.2
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	8	4	13	17	4	13	17	4	12	16	1.1
	地域行政学科	8	8	4	12	8	4	12	6	4	10	1.2
	合 計	16	12	17	29	12	17	29	10	16	26	1.1
総 計		85	173	156	329	170	154	324	118	125	243	1.3

アクセス

大学へのアクセス Access to the University



- JR 広島駅から**
- JR山陽本線・可部線 広島～横川【約5分】 → 広電バス(免許センター・五月が丘団地・ジ アウトレット広島行き) 横川駅前～広島修道大学キャンパス【約19分】
 - JR山陽本線・可部線 広島～新白鳥【約3分】 → アストラムライン 新白鳥～広域公園前(修道大学前)【約32分】
 - JR可部線 広島～大町【約20分】 → アストラムライン 大町～広域公園前(修道大学前)【約19分】
- 市内中心部から**
- 広電バス(免許センター・五月が丘団地・ジ アウトレット広島行き) 広島バスセンター～横川駅前～広島修道大学キャンパス【約26分】
 - アストラムライン 県庁前～広域公園前(修道大学前)【約36分】
- JR 横川駅から**
- 広電バス(免許センター・五月が丘団地・ジ アウトレット広島行き) 横川駅前～広島修道大学キャンパス【約19分】

- JR 西広島駅から**
- ボン・バス(五月が丘団地(修道大学南口)行き) 己斐(西広島)～五月が丘団地(修道大学南口)【約24分】
 - ※THE OUTLETS HIROSHIMAを経由するバスの場合【約32分】
- 広島空港から**
- 広島空港リムジンバス(広島バスセンター行き) アストラムライン 広島空港～中筋駅【約38分】 → 中筋～広域公園前(修道大学前)【約22分】
- 広島港から**
- 広電路面電車(①広島駅行き②横川駅行き) アストラムライン 広島港～本通【約30分】 → 本通～広域公園前(修道大学前)【約37分】
- マイカー利用**
- 山陽自動車道五日市ICを降りて沼田方面へ向かってすぐ

周辺スポット Nearby Spots



④ THE OUTLETS HIROSHIMA
中四国最大級のアウトレットモールが本学の近くにありま。ショッピングや食事、映画などを楽しむことができます。



⑤ MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島
広島東洋カープの本拠地球場。独特な座席やおいしいグルメなど、観戦以外にも楽しみがたくさんあります！



⑥ 平和記念公園
「原爆ドーム」など平和の象徴となっています。広島修道大学では、「広島から平和を発信」をテーマに学んでいます。



⑦ ひろしま美術館
フランス印象派を中心としたヨーロッパ近代美術などを展示。芸術的感性を磨く場として学生に活用されています。



⑧ エディオンピースウイング広島
サンフレッチェ広島の新たな本拠地となるサッカースタジアム。ピッチと座席の距離が近く、大迫力で試合を観戦することができます。



⑨ minamoa (広島駅)
広島駅直結の商業施設。地下1階から地上9階のフロアに、中四国初登場のブランドをはじめ多彩な約220ショップが出演しています。



UNIVERSITY
ACCREDITED
2019.4-2026.3

本学は大学基準
協会から適合認定
を受けています



Hiroshima Shudo
University

広島修道大学 入学センター

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

TEL.082-830-1100

ホームページ <https://www.shudo-u.ac.jp>

入試情報サイト <https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>



携帯電話からもこのQRコードで
アクセス可能です。

※対応できない機種もありますのでご注意ください。
